千葉市少年自然の家
令和６年度　事業報告書

（年度報告書）

指定管理者

千葉ＹＭＣＡ・伊藤忠ＵＣグループ

～ 目　　次 ～

１．　市民の平等利用の確保・施設の適正管理
１．１　市民の平等利用の確保　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.1
（１）利用受付業務
（２）使用の許可及び制限等

１．２　関係法令等の遵守　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.8
１．２．１　個人情報の取り扱い及び個人情報漏えい防止
（１）個人情報の取り扱い
（２）個人情報保護研修
１．２．２　市民に対する情報提供及び情報公開の取扱い
１．２．３　行政手続の明確化や透明化の取扱い
１．２．４　適正な労働条件の確保

１．３　リスク管理・緊急時対応　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.9
１．３．１　災害、火災、盗難等の事故・事件の防止対策および野生生物対策
（１）緊急時対応記録
（２）感染症への対応
１．３．２　避難所運営に関する長柄町との連携
１．３．３　利用者の怪我や体調不良等への対策
１．３．４　火災・盗難等の事故発生時や災害発生時、需要変動、第三者への賠償

１．４　その他　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.18

２．　施設の管理体制
２．１　組織体制
２．１．１　管理運営の執行体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.23
（１）全般
（２）従事者一覧
（３）人員配置
（４）諸会議
（５）管理運営業務の再委託
２．１．２　専門スタッフの配置　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.27
（１）施設維持管理業務における資格者の配置
（２）運営業務における資格者の配置
２．１．３　スタッフの能力向上　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.27
（１）基本研修
（２）専門スキルプラスワン研修
（３）リーダー会議

２．２　施設の維持管理
２．２．１　施設・設備の保守管理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.30
（１）建築物【外部】
（２）建築物【内部】
（３）建築物【ログハウス】

（４）建築設備
（５）外構施設
（６）外構植栽
２．２．２　備品の管理・清掃・警備等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.42
（１）備品の調達・管理
（２）清掃業務
（３）警備業務

３．　施設の効用の発揮
３．１　幅広い施設利用の確保
３．１．１　稼働状況・入退所・休所　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.47
（１）宿泊室稼働状況
（２）時間外の入退所
（３）休所
３．１．２　利用料金・減免　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.49
（１）利用人数
（２）減免対象者数
（３）利用料金
（４）目的別利用人数　団体・家族数
（５）目的別利用人数
３．１．３　利用促進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.52
（１）プレーパークエリア
（２）キャンプサイトにおける野外宿泊体験活動
（３）高校生以上の活動を目的とする利用の促進
（４）その他
（５）ボランティアとの協働
（６）広報活動

３．２　利用者サービスの充実
３．２．１　利用者への支援　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.54
（１）利用受付業務
ａ．使用許可等件数
ｂ．使用許可件数内訳　令和６年度の使用許可件数
ｃ．使用許可件数内訳　令和７年度の使用許可件数
ｄ．使用取消件数内訳　令和６年度の使用取消件数
ｅ．使用取消件数内訳　令和７年度の使用取消件数
（２）食事及び食材の提供業務
（３）生活用品、活動プログラムに使用する消耗品等の提供
３．２．２　利用者意見聴取・自己モニタリング　・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.59
（１）利用者アンケート
（２）事業運営協議会
（３）自己モニタリング（セルフモニタリング）

３．３　施設における事業の充実
３．３．１　事業の効果的な実施　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.61
（１）活動プログラム提供業務
（２）活動プログラム開発業務
（３）新規開発及び改良プログラム
（４）活動プログラム環境整備
（５）展示施設の運営
（６）主催事業
３．３．２　自主事業　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.78
（１）特別イベント実施事業
（２）特別講座運営事業

４．　その他　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.80
４．１　市内業者の育成
４．２　市内・地元雇用への配慮
４．３　障害者雇用の確保
４．４　施設スタッフの雇用の安定化への配慮
４．５　ボランティアスタッフとの協働

５．　収支決算書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.83
１　令和６年度　収支決算書（総括表）
２　管理運営業務の収支内訳書（食堂除く）
３　管理運営業務の収支内訳書（食堂）
４　自主事業の収支内訳書

【添付資料１】令和６年度　維持管理業務年間実績表
【添付資料２】利用者数
【添付資料３】減免対象者数
【添付資料４】利用料金収入
【添付資料５】令和５年度　年間アンケート集計結果
【添付資料６】2.2 施設の維持管理　①計画修繕
【添付資料７】2.2 施設の維持管理　②個別修繕

１．　市民の平等利用の確保・施設の適正管理

１．１　市民の平等利用の確保

千葉市少年自然の家の指定管理者として、市民へのサービスの向上と当施設の運営に要する管理経費の縮減を図り、公共施設の管理運営に求められる基本的な要件を通して、施設の運営、維持管理を行った。

（１）利用受付業務

【令和6年度 利用者予約受付業務の実施】

・令和6年度の利用受付に関する事柄をホームページへ掲載し、利用者へ情報の提供を行った。
・電話による利用申し込みの受付（仮押さえ）、郵送・FAX・メール・直接来所による受付を実施した。また、当施設の使用に関する問い合わせやプログラムの相談、現在の感染症対応（インフルエンザやコロナウイルス、ウイルス性胃腸炎への対応等）の説明に随時対応した。
・来所された方や使用を予定する方からの電話・メール等で、当施設の使用に関する問い合わせやプログラム相談、感染症対応の状況、利用における制限、利用上の諸注意等への説明に随時対応した。
・当施設の使用における情報は、ホームページやSNSを使用して利用者にタイムリーに提供した。
・千葉市教育委員会ならびにこども未来局健全育成課と連携し、市内学校の利用日程の調整に協力した。（千葉市立小学校、教育センター、養護教育センター等）
・令和6年度に使用を希望する千葉市外小中学校、団体、千葉市家族の受付を行った。
・令和6年度に利用する団体と市外学校に向け、施設を有効に活用するための団体説明会を実施した。
・令和6年度に利用した少年団体・家族、団体説明会へ参加した団体引率者へ、令和7年度の予約受付に関する情報を提供した。
・令和6年度に千葉市少年自然の家を利用した少年団体・家族、団体説明会へ参加した団体引率者へ令和7年度の予約受付に関する情報を提供した。
・学校の利用期間毎に担当スタッフを配置し、各校へ時季に合わせたプログラム提案や活動に伴う施設の調整を円滑に進めた。また、施設の情報や諸案内、注意事項等を円滑にし、利用者の安全に配慮した運営を行った。
・土日祝日、学校の長期休業期間に利用する全団体の活動に伴い、使用する施設の調整やプログラムの提案等の対応を行った。

【令和７年度 利用者予約受付業務の実施】

・次年度（令和7年度）の受付に関する事柄をホームページへ掲載し、利用者へ情報の提供を行った。
・千葉市教育委員会並びにこども未来局健全育成課と連携し、市立学校の令和7年度の利用について日程の調整作業に協力した。（千葉市立小学校、教育センター、養護教育センター等）
・10/1より、令和7年度に使用を希望する千葉市内に存する少年団体、千葉市外小中学校、千葉市に居住する家族の受付を行った。（10/1～3：毎日抽選。10/4～：先着順で受付）
・千葉市立学校における長期休業期間中の受付は10/1～11/30に行い、12/1～5の間で利用調整を実施した。また、調整期間中は該当期間の受付を一時休止とし、12/7より受付を再開した。
・1/4より、令和7年度に使用を希望する千葉市内に存する大人を中心とした団体、家族の受付を行った。
・3/1より、令和7年度に使用を希望する千葉市外の団体、家族の受付を行った。
・9月以降の利用者やお問い合わせの連絡があった利用者へ、令和7年度の利用に関する情報を提供した。
・9月以降に実施した団体説明会にて、市外学校と団体の引率者に向けて令和7年度の利用について情報

提供を行った。

・1月以降に実施した団体説明会では、市外学校と団体の引率者に向けて令和7年度の使用説明会を兼ねた説明内容とし、使用における施設の訪問回数を削減し、利用者の利便性の向上を図った。

月	特記事項
4月	・天候の急変(雷や突風)や大雨等の予報が出て注意を要する日程では、利用者へ注意喚起を強化した。(受付時、所内放送等) ・天候に合わせて防災と安全対策を強化し、スタッフ体制を整え利用者の安全に留意した運営に努めた。 ・所内のナラ枯れ等による枯れ木について、利用者の活動範囲の状況確認と対象木の伐採を順次すすめている。また、利用者の安全確保を最優先とした対応と利用者への注意喚起を強化し、安全対策に努めた。 ・強風後の枝折れや倒木、飛散物等の所内点検を強化し、利用者の安全に配慮した運営をおこなった。 ・ウルシ類樹木の伐採等を適宜実施し、状況により利用者へ個別説明を行い、安全に配慮した施設運営に努めた。 ・利用者の活動や天候、道路状況等に合わせて、自然の家の入退所時間(条例上9:00～16:00)の柔軟な対応を継続した。 ・自主事業「キャンプサイト(キャンプ場)」を利用する大人が主体の利用者へ利用料金半額キャンペーンを継続した。 また、キャンプサイトは荒天時等の当日利用キャンセルを可能とし、利用者の利便性に配慮した運営をおこなった。 ・閑散期対応として、1/15～4/15間の大人が主体の利用料金を半額とするキャンペーンを実施した。また、「閑散期(1/15～4/15)対策チラシ:大人主体の利用　料金半額」を作成、市内主要公共施設(サークル等の活動施設である公民館等)と公共施設へ配布し、広報を強化した。 ・学校や団体が使用しない空いた施設を活用し、家族利用に向けたプログラムを継続して展開した。 ・ゴールデンウィークに一般利用者に向けてフリープログラムやクラフトプログラムを提供する専用ブースをサービスセンター前に開設してスタッフを常駐させ、利用者へのサービス向上とタイムリーな対応が可能となる体制を取った。 サービスセンター棟:シネマ上映、卓球スペース、テーブルゲームセンター 集いの広場ブース展開:手作り工房(クラフト教室)、ザリガニ釣り、フリープログラム プレイホール棟:スポーツアワー(バドミントン・卓球:プレイホール開放) いこいの広場:スラックライン、バドミントン ・キャンプサイト(テント泊)利用時の夜間緊急時避難スペースとして、レクリエーションルーム等の屋内施設を夜間開放した。(継続) ・前年度 12/24～イノシシの侵入形跡があったため施設内安全点検を強化し、施設側の対策と利用者の対応について情報の提供に努めた。(全利用者へ入所時と各ミーティング時に現況の説明を実施、スタッフによる巡回(適宜)、外柵の点検、利用者貸出用の獣除け鈴継続) ・4/3　千葉「市内」学校プログラム相談会、プログラム体験会(対象:千葉市学校の引率教員) プログラム相談会～施設見学会10:00～12:00、プログラム体験会13:00～15:30、個別相談15:30～17:30 ・4/12 15:00～17:00　山狩りを実施(15 名) 実施場所:自然環境学習センター裏、野外炊飯場 B～あゆみ橋～遊歩道～宿泊棟林間、あゆみ橋下の自然環境保全区 ・1/1 に発生した能登半島地震、2/26 頃からの千葉県東方沖群発地震を例とし、自然の家における地震時の緊急対応についてのスタッフ目合わせを実施し、防災面から見た施設の安全点検を随時実施し、緊急時のスタッフ体制～対応の強化を継続 ・4/12 千葉市教育センター千葉市教員初任者研修へ協力(活動プログラムの施設調整、PA指導スタッフ配置、運営補助) ・使用団体説明会(対象:一般団体引率者、千葉市外学校の引率教員)　4/6 44名、4/14　39名 ・千葉「市外」学校説明会(対象:千葉市外学校の引率教員) 4/3　利用説明会10:00～11:30、プログラム体験会13:00～15:30、個別相談15:30～17:30 ・都合により説明会に参加ができなかった団体へ事前に説明資料を送付し、利用当日に個別で説明会に準じた案内を実施した。
5月	・天候の急変(雷や突風)や大雨等の予報が出て注意を要する日程では、利用者へ注意喚起を強化した。(受付時、所内放送等) ・天候に合わせて防災と安全対策を強化し、スタッフ体制を整え利用者の安全に留意した運営に努めた。 ・所内のナラ枯れ等による枯れ木について、利用者の活動範囲の状況確認と対象木の伐採を順次すすめている。また、利用者の安全確保を最優先とした対応と利用者への注意喚起を強化し、継続して安全対策に努めた。 ・強風後の枝折れや倒木、飛散物等の所内点検を強化し、利用者の安全に配慮した運営をおこなった。 ・ウルシ類樹木の伐採等を適宜実施し、状況により利用者へ個別説明を行い、安全に配慮した施設運営に努めた。 ・利用者の活動や天候、道路状況等に合わせて、自然の家の入退所時間(条例上9:00～16:00)の柔軟な対応を継続した。 ・自主事業「キャンプサイト(キャンプ場)」を利用する大人が主体の利用者へ利用料金半額キャンペーンを継続した。 また、キャンプサイトは荒天時等の当日利用キャンセルを可能とし、利用者の利便性に配慮した運営をおこなった。 ・学校や団体が使用しない空いた施設を活用し、家族利用に向けたプログラムを継続して展開した。 ・ゴールデンウィーク中の一般利用者に向けて、フリープログラムやクラフトプログラムを提供する専用ブースをサービスセンター前に開設してスタッフを常駐させ、利用者へのサービス向上とタイムリーな対応が可能となる体制を取った。 サービスセンター棟:シネマ上映、卓球スペース、テーブルゲームセンター 集いの広場ブース展開:手作り工房(クラフト教室)、ザリガニ釣り、フリープログラム プレイホール棟:スポーツアワー(バドミントン・卓球:プレイホール開放) いこいの広場:スラックライン、バドミントン

	・キャンプサイト(テント泊)利用時の夜間緊急時避難スペースとして、レクリエーションルーム等の屋内施設を夜間開放した。(継続) ・前年度 12/24～イノシシの侵入形跡があった件について、3 月以降に所内でのイノシシの活動痕跡が見られなくなったが、念のため施設内安全点検の強化を継続し、施設側の対策と利用者の対応について情報の提供に努めた。(全利用者へ入所時と各ミーティング時に現況の説明を実施、スタッフによる巡回(適宜)、外柵の点検、利用者貸出用の獣除け鈴継続) ・1/1 に発生した能登半島地震、2/26 頃からの千葉県東方沖群発地震を例とし、自然の家における地震時の緊急対応についてのスタッフ目合わせを実施し、防災面から見た施設の安全点検を随時実施し、緊急時のスタッフ体制～対応の強化を継続 ・使用団体説明会(対象:一般団体引率者、千葉市外学校の引率教員) 5/6 36名、5/12 45名 ・都合により説明会に参加ができなかった団体へ事前に説明資料を送付し、利用当日に個別で説明会に準じた案内を実施した。 ・夜間救急車対応 2件(別途報告書あり)
6月	・天候の急変(雷や突風)や大雨等の予報が出て注意を要する日程では、利用者へ注意喚起を強化した。(雷注意報含む:受付時、所内放送、団体代表者ミーティングほか) ・天候に合わせて防災と安全対策を強化し、スタッフ体制を整え利用者の安全に留意した運営に努めた。 ・所内のナラ枯れ等による枯れ木について、利用者の活動範囲の状況確認と対象木の伐採を順次すすめている。また、利用者の安全確保を最優先とした対応と利用者への注意喚起を強化し、継続して安全対策に努めた。 ・強風後の枝折れや倒木、飛散物等の所内点検を強化し、利用者の安全に配慮した運営をおこなった。 ・ウルシ類樹木の伐採等を適宜実施し、状況により利用者へ個別説明を行い、安全に配慮した施設運営に努めた。 ・利用者の活動や天候、道路状況等に合わせて、自然の家の入退所時間(条例上9:00～16:00)の柔軟な対応を継続した。 ・自主事業「キャンプサイト(キャンプ場)」を利用する大人が主体の利用者へ利用料金半額キャンペーンを継続した。 また、キャンプサイトは荒天時等の当日利用キャンセルを可能とし、利用者の利便性に配慮した運営をおこなった。 ・学校や団体が使用しない空いた施設を活用し、家族利用に向けたプログラムを継続して展開した。 ・キャンプサイト(テント泊)利用時の夜間緊急時避難スペースとして、レクリエーションルーム等の屋内施設を夜間開放した。(継続) ・前年度 12/24～イノシシの侵入形跡があった件について、念のため施設内安全点検の強化を継続し、施設側の対策と利用者の対応について情報の提供に努めた。(全利用者へ入所時と各ミーティング時に現況の説明を実施、スタッフによる巡回(適宜)、利用者貸出用の獣除け鈴継続) ・自然の家における地震時の緊急対応について、利用者への情報提供を強化し、防災面から見た施設の安全点検を随時実施、緊急時のスタッフ体制～対応の強化を継続 ・6/9 千葉「市内」学校プログラム相談会、プログラム体験会(対象:千葉市学校の引率教員) プログラム相談会～施設見学会10:00～12:00、プログラム体験会13:00～15:30、個別相談15:30～17:30 ・千葉「市外」学校説明会(対象:千葉市外学校の引率教員) 6/9 利用説明会10:00～11:30、プログラム体験会13:00～15:30、個別相談15:30～17:30 ・使用団体説明会(対象:一般団体引率者、千葉市外学校の引率教員) 6/2 116名、6/8 51名、6/22 45名 ・都合により説明会に参加ができなかった団体へ事前に説明資料を送付し、利用当日に個別で説明会に準じた案内を実施した。 ・主催事業・自主事業における写真・映像等の撮影にあたり、撮影から使用についてのルールを設け、管理を徹底した。
7月	・天候の急変(雷や突風)や大雨等の予報が出て注意を要する日程では、利用者へ注意喚起を強化した。(雷注意報含む:受付時、所内放送、団体代表者ミーティングほか) ・天候に合わせて防災と安全対策を強化し、スタッフ体制を整え利用者の安全に留意した運営に努めた。 ・所内のナラ枯れ等による枯れ木について、利用者の活動範囲の状況確認と対象木の伐採を順次すすめている。また、利用者の安全確保を最優先とした対応と利用者への注意喚起を強化し、継続して安全対策に努めた。 ・強風後の枝折れや倒木、飛散物等の所内点検を強化し、利用者の安全に配慮した運営を行った。 ・ウルシ類樹木の伐採等を適宜実施し、状況により利用者へ個別説明を行い、安全に配慮した施設運営に努めた。 ・利用者の活動や天候、道路状況等に合わせて、自然の家の入退所時間(条例上9:00～16:00)の柔軟な対応を継続した。 ・自主事業「キャンプサイト(キャンプ場)」を利用する大人が主体の利用者へ利用料金半額キャンペーンを継続した。 また、キャンプサイトは荒天時等の当日利用キャンセルを可能とし、利用者の利便性に配慮した運営を行った。 ・学校や団体が使用しない空いた施設を活用し、家族利用に向けたプログラムを継続して展開した。 ・キャンプサイト(テント泊)利用時の夜間緊急時避難スペースとして、レクリエーションルーム等の屋内施設を夜間開放した。(継続) ・7/5 所内で利用者がイノシシを 2 頭ほど現認、緊急施設内安全点検を実施し、その後スタッフにより 1 頭現認した。以降の全利用者へ施設側の対策と情報を提供し、対応について案内を強化した。 また、田畑周辺へイノシシの活動跡と思われる掘り返し等を散見するようになった。(全利用者へ入所時と各ミーティング時に現況の説明を実施、スタッフによる巡回(適宜毎日実施)、利用者貸出用の獣除け鈴継続) ・自然の家における地震時の緊急対応について、利用者への情報提供を強化し、防災面から見た施設の安全点検を随時実施、緊急時のスタッフ体制～対応の強化を継続 ・使用団体説明会(対象:一般団体引率者、千葉市外学校の引率教員) 7/7 33名、7/13 25名 ・7/19令和5年度第2回事業運営協議会 実施 ・7/24～ICCPJ(台湾からの期間ボランティア)1名 ・都合により説明会に参加ができなかった団体へ事前に説明資料を送付し、利用当日に個別で説明会に準じた案内を実施した。 ・主催事業・自主事業における写真・映像等の撮影にあたり、撮影から使用についてのルールを設け、管理を徹底した。

	・ホームページに掲載している「入室オリエンテーション動画」を更新した。
8月	・天候の急変（雷や突風）や大雨等の予報が出て注意を要する日程では、利用者へ注意喚起を強化した。（雷注意報含む：受付時、所内放送、団体代表者ミーティングほか） ・天候に合わせて防災と安全対策を強化し、スタッフ体制を整え利用者の安全に留意した運営に努めた。 ・8/8　宮崎県日向灘を震源とする地震により発表された「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）8/8～15」への対応として、地震時の自然の家における緊急対応について、利用者への情報提供を強化し、防災面から見た施設の安全点検を随時実施、緊急時のスタッフ体制～対応の強化を継続した。 ・台風対応：気象庁より発表される台風の予報を元に、対象となる全利用者に台風対応に関する説明と手続き、利用者の安全を最優先にプログラムの再調整やその他要望への対応を行った。 台風7号（8/16-17に係る日程）： 8/11より対象とする日程の全利用者に連絡。 日程短縮（4団体、1家族）、利用全キャンセル（3団体、2家族）、プログラム変更～再調整（1団体） 台風10号（8/27～9/4に係る日程： 8/23より対象とする日程の全利用者に連絡。迷走台風のため長期間の対応となった。 日程短縮（2団体）、利用全キャンセル（4団体、1家族）、プログラム変更～再調整（3団体）、 主催事業キャンセル（3家族） ・所内のナラ枯れ等による枯れ木について、利用者の活動範囲の状況確認と対象木の伐採を順次すすめている。また、利用者の安全確保を最優先とした対応と利用者への注意喚起を強化し、継続して安全対策に努めた。 ・強風後の枝折れや倒木、飛散物等の所内点検を強化し、利用者の安全に配慮した運営を行った。 ・ウルシ類樹木の伐採等を適宜実施し、状況により利用者へ個別説明を行い、安全に配慮した施設運営に努めた。 ・利用者の活動や天候、道路状況等に合わせて、自然の家の入退所時間（条例上9：00～16：00）の柔軟な対応を継続した。 ・自主事業「キャンプサイト（キャンプ場）」を利用する大人が主体の利用者へ利用料金半額キャンペーンを継続した。 また、キャンプサイトは荒天時等の当日利用キャンセルを可能とし、利用者の利便性に配慮した運営を行った。 ・団体が使用しない空いた施設を活用し、家族利用に向けたプログラムを継続して展開した。 ・キャンプサイト（テント泊）利用時の夜間緊急時避難スペースとして、レクリエーションルーム等の屋内施設を夜間開放した。（継続） ・7/5 所内で利用者がイノシシを 2 頭ほど現認以降、全利用者へ施設側のイノシシ対策と情報を提供し、対応についての説明強化を継続した。 ・田畑周辺へイノシシの活動跡と思われる掘り返し等が顕著となり、8/6 自然の家内の田んぼが荒らされる被害が出た、その後、田んぼの被害が徐々に拡大し、今年度の稲刈りプログラムの提供は困難となった。（主催ファミリーキャンプ・ワンデー農業田んぼ壊滅） ・イノシシの檻罠を獣道付近へ移動し再設置、獣道周辺にくくり罠の新規設置 ・イノシシ侵入に関し、全利用者へ入所時と各ミーティング時に現況の説明を実施、スタッフによる巡回（適宜毎日実施）、利用者貸出用の獣除け鈴の使用推奨を継続） ・8/19　千葉「市内」学校プログラム相談会、プログラム体験会（対象：千葉市学校の引率教員） プログラム相談会～施設見学会10：00～12：00、プログラム体験会13：00～15：30、個別相談15：30～17：30 ・8/19　千葉「市外」学校説明会（対象：千葉市外学校の引率教員） 利用説明会10：00～11：30、プログラム体験会13：00～15：30、個別相談15：30～17：30 ・令和7年度以降に当自然の家の利用を検討する市外学校に向けた施設見学会を実施した。　8/5　3名、8/27　2名 ・8/2 レストラン森の木秋メニュー試食会　実施 ・7/24～8/24 ICCPJ（台湾からの期間ボランティア）1名 ・都合により説明会に参加ができなかった団体へ事前に説明資料を送付し、利用当日に個別で説明会に準じた案内を実施した。 ・主催事業・自主事業における写真・映像等の撮影にあたり、撮影から使用についてのルールを設け、管理を徹底した。 ・ホームページに掲載している「入室オリエンテーション動画」を更新した。（イノシシ対応を追加）
9月	・天候の急変（雷や突風）や大雨等の予報が出て注意を要する日程では、利用者へ注意喚起を強化した。（雷注意報含む：受付時、所内放送、団体代表者ミーティングほか） ・天候に合わせて防災と安全対策を強化し、スタッフ体制を整え利用者の安全に留意した運営に努めた。 ・台風対応：気象庁より発表される台風の予報を元に、対象となる全利用者に台風対応に関する説明と手続き、利用者の安全を最優先にプログラムの再調整やその他要望への対応を行った。 台風10号（8/27～9/4に係る日程： 8/23より対象とする日程の全利用者に連絡。迷走台風のため長期間の対応となった。 ・所内のナラ枯れ等による枯れ木について、利用者の活動範囲の状況確認と対象木の伐採を順次すすめている。また、利用者の安全確保を最優先とした対応と利用者への注意喚起を強化し、継続して安全対策に努めた。 ・強風後の枝折れや倒木、飛散物等の所内点検を強化し、利用者の安全に配慮した運営を行った。 ・ウルシ類樹木の伐採等を適宜実施し、状況により利用者へ個別説明を行い、安全に配慮した施設運営に努めた。 ・利用者の活動や天候、道路状況等に合わせて、自然の家の入退所時間（条例上9：00～16：00）の柔軟な対応を継続した。 ・自主事業「キャンプサイト（キャンプ場）」を利用する大人が主体の利用者へ利用料金半額キャンペーンを継続した。 また、キャンプサイトは荒天時等の当日利用キャンセルを可能とし、利用者の利便性に配慮した運営を行った。 ・団体が使用しない空いた施設を活用し、家族利用に向けたプログラムを継続して展開した。 ・キャンプサイト（テント泊）利用時の夜間緊急時避難スペースとして、レクリエーションルーム等の屋内施設を夜間開放した。（継続） ・7/5 所内で利用者がイノシシを 2 頭ほど現認以降、全利用者へ施設側のイノシシ対策と情報を提供し、対応についての説明強化を継続した。複数頭イノシシが所内に侵入していると思われることから、施設の安全点検を強化した。

	・8 月以降、田畑周辺へイノシシの活動跡と思われる掘り返し等が顕著となった。また、9 月に入り所内遊歩道等の建物集積ゾーン近辺まで活動跡が見られるようになってきた。新たな獣道等散見される。 ・イノシシ捕獲罠の点検を毎日実施した。(獣道付近の檻罠、獣道周辺にくくり罠の状況確認) ・イノシシ侵入に関し、全利用者へ入所時と各ミーティング時に現況の説明を実施、スタッフによる巡回(適宜毎日実施)、利用者貸出用の獣除け鈴の使用推奨を継続、監視カメラの稼働継続。 ・都合により説明会に参加ができなかった団体へ事前に説明資料を送付し、利用当日に個別で説明会に準じた案内を実施した。 ・主催事業・自主事業における写真・映像等の撮影にあたり、撮影から使用についてのルールを設け、管理を徹底した。 ・9/13クリーンデーを実施(所外:太陽建設側町道脇の除草作業　14:00～16:00) ・9/17基本研修「令和6年度第1回　消防訓練」を実施　15:00～16:30 ・9/21千葉市事業「青少年の日フェスタ」出店 ・9/23キャンプサイトC～D付近クヌギの樹液にスズメバチが群がっていることを確認。以降、利用者の安全確保のため対象樹木の周辺を立ち入り禁止とし、トラップと毒餌を設置。キャンプサイトC～Eを当面の間売り止めとする。 ・9/27運営委員会／モニタリング
10月	・天候の急変(雷や突風)や大雨等の予報が出て注意を要する日程では、利用者へ注意喚起を強化した。(雷注意報含む:受付時、所内放送、団体代表者ミーティングほか) ・天候に合わせて防災と安全対策を強化し、スタッフ体制を整え利用者の安全に留意した運営に努めた。 ・10月初～中旬は比較的高温となる日が多かったため、熱中症への対策として屋内施設を事前に割り振り、無理のない活動となるよう利用者の健康状態に配慮した施設調整を継続した。 ・所内のナラ枯れ等による枯れ木について、利用者の活動範囲の状況確認と対象木の伐採を順次すすめている。また、利用者の安全確保を最優先とした対応と利用者への注意喚起を強化し、継続して安全対策に努めた。 ・コナラやクヌギ等の一部樹木にスズメバチが群がっている状況があり、利用者の安全確保と注意喚起に努めた。林間の活動を希望する団体へ、状況の説明と安全を確保した活動となるよう案内を強化した。 ①キャンプサイトC-Dサイト間のクヌギ(C/D/Eサイト売り止め) ②外周遊歩道(宿泊棟～秋元牧場方面)脇のクヌギ:注意喚起の掲示、トラップ ・強風後の枝折れや倒木、飛散物等の所内点検を強化し、利用者の安全に配慮した運営を行った。 ・ウルシ類樹木の伐採等を適宜実施し、状況により利用者へ個別説明を行い、安全に配慮した施設運営に努めた。 ・利用者の活動や天候、道路状況等に合わせて、自然の家の入退所時間(条例上9:00～16:00)の柔軟な対応を継続した。 ・自主事業「キャンプサイト(キャンプ場)」を利用する大人が主体の利用者へ利用料金半額キャンペーンを継続した。 また、キャンプサイトは荒天時等の当日利用キャンセルを可能とし、利用者の利便性に配慮した運営を行った。 ・団体が使用しない空いた施設を活用し、家族利用に向けたプログラムを継続して展開した。 ・キャンプサイト(テント泊)利用時の夜間緊急時避難スペースとして、レクリエーションルーム等の屋内施設を夜間開放した。(継続) ・所内でスタッフがイノシシを 5 頭ほど現認、全利用者へ施設側のイノシシ対策と情報提供を強化し、対応についての説明を継続した。また、施設や遊歩道等の安全点検を強化した。 ・8 月以降、田畑周辺へイノシシの活動跡と思われる掘り返し等が顕著となった。また、10 月に入り所内遊歩道等の建物集積ゾーンまで活動跡が見られるようになってきた。新たな獣道等散見されている。 ・イノシシ捕獲罠の点検を毎日実施した。(獣道付近の檻罠、獣道周辺にくくり罠の状況確認) ・イノシシ侵入に関し、全利用者へ入所時と各ミーティング時に現況の説明を実施、スタッフによる巡回(適宜毎日実施)、利用者貸出用の獣除け鈴の使用推奨を継続、監視カメラの稼働継続。 ・イノシシ対策として、所内遊歩道周辺の藪の刈り込み作業を継続して行った。 ・都合により説明会に参加ができなかった団体へ事前に説明資料を送付し、利用当日に個別で説明会に準じた案内を実施した。 ・主催事業・自主事業における写真・映像等の撮影にあたり、撮影から使用についてのルールを設け、管理を徹底した。 ・10/11クリーンデーを実施(所外:太陽建設側町道脇の除草作業　14:00～16:00) ・10/13千葉市事業「科学フェスタ」出店
11月	・天候の急変(雷や突風)や大雨、強風等の予報が出て注意を要する日程では、利用者へ注意喚起を強化した。(雷注意報含む:受付時、所内放送、団体代表者ミーティングほか) ・天候に合わせて防災と安全対策を強化し、スタッフ体制を整え利用者の安全に留意した運営に努めた。 ・所内のナラ枯れ等による枯れ木について、利用者の活動範囲の状況確認と対象木の伐採を順次すすめている。また、利用者の安全確保を最優先とした対応と利用者への注意喚起を強化し、継続して安全対策に努めた。 ・強風後の枝折れや倒木、飛散物等の所内点検を強化し、利用者の安全に配慮した運営を行った。 ・ウルシ類樹木の伐採等を適宜実施し、状況により利用者へ個別説明を行い、安全に配慮した施設運営に努めた。 ・利用者の活動や天候、道路状況等に合わせて、自然の家の入退所時間(条例上9:00～16:00)の柔軟な対応を継続した。 ・自主事業「キャンプサイト(キャンプ場)」を利用する大人が主体の利用者へ利用料金半額キャンペーンを継続した。 また、キャンプサイトは荒天時等の当日利用キャンセルを可能とし、利用者の利便性に配慮した運営を行った。 ・団体が使用しない空いた施設を活用し、家族利用に向けたプログラムを継続して展開した。 ・キャンプサイト(テント泊)利用時の夜間緊急時避難スペースとして、レクリエーションルーム等の屋内施設を夜間開放した。(継続) ・所内でスタッフがイノシシを 5 頭ほど現認、全利用者へ施設側のイノシシ対策と情報提供を強化し、対応についての説明を継続した。また、施設や遊歩道等の安全点検を強化した。 ・イノシシ捕獲罠の点検を毎日実施した。(獣道付近の檻罠、獣道周辺にくくり罠の状況確認を継続) ・イノシシ侵入に関し、全利用者へ入所時と各ミーティング時に現況の説明を実施、スタッフによる巡回(適宜毎日実施)、利用者貸出用の獣除け鈴の使用推奨を継続、監視カメラの稼働継続。

	・イノシシ対策として、所内遊歩道周辺の藪の刈り込み作業を継続して行った。 ・都合により説明会に参加ができなかった団体へ事前に説明資料を送付し、利用当日に個別で説明会に準じた案内を実施した。 ・主催事業・自主事業における写真・映像等の撮影にあたり、撮影から使用についてのルールを設け、管理を徹底した。 ・11/3長柄町事業「長柄農林商工まつり」出店
12月	・天候の急変(雷や突風)や、強風等の予報が出て注意を要する日程では、利用者へ注意喚起を強化した。(雷注意報含む:受付時、所内放送、団体代表者ミーティングほか) ・天候に合わせて防災と安全対策を強化し、スタッフ体制を整え利用者の安全に留意した運営に努めた。 ・所内のナラ枯れ等による枯れ木について、利用者の活動範囲の状況確認と対象木の伐採を順次すすめている。また、利用者の安全確保を最優先とした対応と利用者への注意喚起を強化し、継続して安全対策に努めた。 ・強風後の枝折れや倒木、飛散物等の所内点検を強化し、利用者の安全に配慮した運営を行った。 ・利用者の活動や天候、道路状況等に合わせて、自然の家の入退所時間(条例上9:00～16:00)の柔軟な対応を継続した。 ・自主事業「キャンプサイト(キャンプ場)」を利用する大人が主体の利用者へ利用料金半額キャンペーンを継続した。 また、キャンプサイトは荒天時等の当日利用キャンセルを可能とし、利用者の利便性に配慮した運営を行った。 ・キャンプサイト(テント泊)利用時の夜間緊急時避難スペースとして、レクリエーションルーム等の屋内施設を夜間開放した。(継続) ・団体が使用しない空いた施設を活用し、家族利用に向けたプログラムを継続して展開した。 シネマ上映、スポーツアワー(バドミントン・卓球スペース)、ボッチャ・室内モルックコーナー、テーブルゲーム等 ・所内でスタッフがイノシシを5頭ほど現認、全利用者へ施設側のイノシシ対策と情報提供を強化し、対応についての説明を継続した。また、施設や遊歩道等の安全点検を強化した。 ・イノシシ捕獲罠の点検を毎日実施した。(獣道付近の檻罠、獣道周辺にくくり罠の状況確認を継続) ・イノシシ侵入に関し、全利用者へ入所時と各ミーティング時に現況の説明を実施、スタッフによる巡回(適宜毎日実施)、利用者貸出用の獣除け鈴の使用推奨を継続、監視カメラの稼働継続。 ・イノシシ対策として、所内遊歩道周辺の藪の刈り込み作業を継続して行った。 ・都合により説明会に参加ができなかった団体へ事前に説明資料を送付し、利用当日に個別で説明会に準じた案内を実施した。 ・主催事業・自主事業における写真・映像等の撮影にあたり、撮影から使用についてのルールを設け、管理を徹底した。 ・「閑散期(1/15～4/15)対策チラシ:大人主体の利用　料金半額」を市内主要公共施設(サークル等の活動施設である公民館等)と隣の大学へ配布した。また、インターネット上の情報サイト等への掲載も行い、閑散期の利用者の獲得に努めた。
1月	・天候の急変(雷や突風)や、強風、降雪等の予報が出て注意を要する日程では、利用者へ注意喚起を強化した。(雷注意報含む:受付時、所内放送、団体代表者ミーティングほか) ・天候に合わせて防災と安全対策を強化し、スタッフ体制を整え利用者の安全に留意した運営に努めた。 ・所内のナラ枯れ等による枯れ木について、利用者の活動範囲の状況確認と対象木の伐採を順次すすめている。また、利用者の安全確保を最優先とした対応と利用者への注意喚起を強化し、継続して安全対策に努めた。 ・強風後の枝折れや倒木、飛散物等の所内点検を強化し、利用者の安全に配慮した運営を行った。 ・利用者の活動や天候、道路状況等に合わせて、自然の家の入退所時間(条例上9:00～16:00)の柔軟な対応を継続した。 ・自主事業「キャンプサイト(キャンプ場)」を利用する大人が主体の利用者へ利用料金半額キャンペーンを継続した。 また、キャンプサイトは荒天時等の当日利用キャンセルを可能とし、利用者の利便性に配慮した運営を行った。 ・キャンプサイト(テント泊)利用時の夜間緊急時避難スペースとして、レクリエーションルーム等の屋内施設を夜間開放した。(継続) ・団体が使用しない空いた施設を活用し、家族利用に向けたプログラムを継続して展開した。 シネマ上映、スポーツアワー(バドミントン・卓球スペース)、ボッチャ・室内モルックコーナー、テーブルゲーム等 ・施設側のイノシシ対策と情報提供を強化し、利用者の対応について説明を継続した。また、施設内外の安全点検を強化した。 ・イノシシ捕獲罠の点検を毎日実施した。(獣道付近の檻罠、獣道周辺にくくり罠の状況確認を継続) ・イノシシ侵入に関し、全利用者へ入所時と各ミーティング時に現況の説明を実施、スタッフによる巡回(適宜毎日実施)、利用者貸出用の獣除け鈴の使用推奨を継続、監視カメラの稼働継続。 ・イノシシ対策として、所内遊歩道周辺の藪の刈り込み作業を継続して行った。 ・都合により説明会に参加ができなかった団体へ事前に説明資料を送付し、利用当日に個別で説明会に準じた案内を実施した。 ・主催事業・自主事業における写真・映像等の撮影にあたり、撮影から使用についてのルールを設け、管理を徹底した。 ・「閑散期(1/15～4/15)対策開始:大人主体の利用　料金半額」 閑散期の利用者の獲得に努めた。 ・「おかえりなさいキャンペーン」開始:今年成人を迎えた20才を主対象とし、大人利用の割引サービス開始
2月	・天候の急変(雷や突風)や、強風、降雪等の予報が出て注意を要する日程では、利用者へ注意喚起を強化した。(雷注意報含む:受付時、所内放送、団体代表者ミーティングほか) ・天候に合わせて防災と安全対策を強化し、スタッフ体制を整え利用者の安全に留意した運営に努めた。 ・所内のナラ枯れ等による枯れ木について、利用者の活動範囲の状況確認と対象木の伐採を順次すすめている。また、利用者の安全確保を最優先とした対応と利用者への注意喚起を強化し、継続して安全対策に努めた。 ・強風後の枝折れや倒木、飛散物等の所内点検を強化し、利用者の安全に配慮した運営を行った。 ・利用者の活動や天候、道路状況等に合わせて、自然の家の入退所時間(条例上9:00～16:00)の柔軟な対応を継続した。 ・自主事業「キャンプサイト(キャンプ場)」を利用する大人が主体の利用者へ利用料金半額キャンペーンを継続した。 また、キャンプサイトは荒天時等の当日利用キャンセルを可能とし、利用者の利便性に配慮した運営を行った。

	・キャンプサイト(テント泊)利用時の夜間緊急時避難スペースとして、レクリエーションルーム等の屋内施設を夜間開放した。(継続) ・団体が使用しない空いた施設を活用し、家族利用に向けたプログラムを継続して展開した。 シネマ上映、スポーツアワー(バドミントン・卓球スペース)、ボッチャ・室内モルックコーナー、テーブルゲーム等 ・施設側のイノシシ対策と情報提供を強化し、利用者の対応について説明を継続した。また、施設内外の安全点検を強化した。 ・イノシシ捕獲罠の点検を毎日実施した。(獣道付近の檻罠、獣道周辺にくくり罠の状況確認を継続) ・イノシシ侵入に関し、全利用者へ入所時と各ミーティング時に現況の説明を実施、スタッフによる巡回(適宜毎日実施)、利用者貸出用の獣除け鈴の使用推奨を継続、監視カメラの稼働継続。 (2月度の所内におけるイノシシの目撃情報は無かった) ・イノシシ対策として、所内遊歩道周辺の藪の刈り込み作業を継続して行った。 ・都合により説明会に参加ができなかった団体へ事前に説明資料を送付し、利用当日に個別で説明会に準じた案内を実施した。 ・主催事業・自主事業における写真・映像等の撮影にあたり、撮影から使用についてのルールを設け、管理を徹底した。 ・「閑散期(1/15～4/15)対策開始:大人主体の利用 料金半額」 閑散期の利用者の獲得に努めた。 ・「おかえりなさいキャンペーン」開始:今年成人を迎えた20才を主対象とし、大人利用の割引サービス開始 ・2/3 レストラン森の木(トラスティフィード)春メニュー試食会 ・2/13 指定管理者研修 参加(Zoom:オンライン3名) ・2/14 クリーンデーの実施(外周遊歩道(町道)の清掃作業 ・2/18 食物アレルギー対応研修、個人情報保護研修 実施
3月	・天候の急変(雷や突風)や、強風、降雪等の予報が出て注意を要する日程では、利用者へ注意喚起を強化した。(雷注意報含む:受付時、所内放送、団体代表者ミーティングほか) ・天候に合わせて防災と安全対策を強化し、スタッフ体制を整え利用者の安全に留意した運営に努めた。 ・所内のナラ枯れ等による枯れ木について、利用者の活動範囲の状況確認と対象木の伐採を順次すすめている。また、利用者の安全確保を最優先とした対応と利用者への注意喚起を強化し、継続して安全対策に努めた。 ・強風後の枝折れや倒木、飛散物等の所内点検を強化し、利用者の安全に配慮した運営を行った。 ・利用者の活動や天候、道路状況等に合わせて、自然の家の入退所時間(条例上9:00～16:00)の柔軟な対応を継続した。 ・自主事業「キャンプサイト(キャンプ場)」を利用する大人が主体の利用者へ利用料金半額キャンペーンを継続した。 また、キャンプサイトは荒天時等の当日利用キャンセルを可能とし、利用者の利便性に配慮した運営を行った。 ・キャンプサイト(テント泊)利用時の夜間緊急時避難スペースとして、レクリエーションルーム等の屋内施設を夜間開放した。(継続) ・団体が使用しない空いた施設を活用し、家族利用に向けたプログラムを継続して展開した。 シネマ上映、スポーツアワー(バドミントン・卓球スペース)、ボッチャ・室内モルックコーナー、テーブルゲーム等 ・施設側のイノシシ対策と情報提供を強化し、利用者の対応について説明を継続した。また、施設内外の安全点検を強化した。 ・イノシシ捕獲罠の点検を毎日実施した。(獣道付近の檻罠、獣道周辺にくくり罠の状況確認を継続) ・イノシシ侵入に関し、全利用者へ入所時と各ミーティング時に現況の説明を実施、スタッフによる巡回(適宜毎日実施)、利用者貸出用の獣除け鈴の使用推奨を継続、監視カメラの稼働継続。 (3月度の所内におけるイノシシの目撃情報は無かった) ・イノシシ対策として、所内遊歩道周辺の藪の刈り込み作業を継続して行った。 ・都合により説明会に参加ができなかった団体へ事前に説明資料を送付し、利用当日に個別で説明会に準じた案内を実施した。 ・主催事業・自主事業における写真・映像等の撮影にあたり、撮影から使用についてのルールを設け、管理を徹底した。 ・「閑散期(1/15～4/15)対策開始:大人主体の利用 料金半額」 閑散期の利用者の獲得に努めた。 ・「おかえりなさいキャンペーン」開始:今年成人を迎えた20才を主対象とし、大人利用の割引サービス継続 ・令和7年度に利用を希望する団体、家族に向け、利用ガイドやHPにて情報提供を行った。 ・令和7年度に利用を希望する千葉市内学校に向け、千葉市教育センター内部HPの自然の家情報の更新を行った。 ・令和7年度に利用を希望する千葉市外学校に向け、利用ガイドや活動プログラム、施設情報等を収録したDVDを全校へ配布した。 ・基本研修「普通救命講習3/3」、「接客接遇・マナー研修3/7」、「消防訓練・避難訓練3/14」 ・3/9 ボランティアサンクスデー ・3/13 三社会 ・3/12 令和6年度 事業運営協議会開催 ・3/17 運営委員会、モニタリング

（２）使用の許可及び制限等

・予約や利用当日までの使用手続きや市民の目線に立った使用における利便性の向上を図るとともに、申請の許可、変更、使用の取消し等の問い合わせに適切に対応した。

指定管理者が行った処分の件数

処分の種別	処分根拠	件数
使用の許可	千葉市少年自然の家設置管理条例 第10条	令和6年度　994件 令和7年度　364件
使用の不許可	千葉市少年自然の家設置管理条例 第11条	0件

１．２　関係法令等の遵守

１．２．１　個人情報の保護の取扱い、個人情報の漏えい防止

（１）個人情報の取り扱い

・利用者の個人情報は、「個人情報保護法」、「千葉市個人情報保護条例」及び「千葉市指定管理者等個人情報保護規定」等関係法規の適用規定を遵守し、適切な管理運営に努めた。

（２）個人情報保護研修

・施設の運営にあたり個人情報の保護に関係する各種法令や国、県、市の指示、要請、その他の情報に則った施設運営に努めた。

１．２．２　市民に対する情報提供及び情報公開の取扱い

・千葉市の公共施設の管理者として、当所の情報の提供や市民の行政文書の公開を請求する権利を十分に尊重し、情報公開を適正に行えるよう運営を行った。

令和６年度の情報公開の実施の申し出は無かった。

１．２．３　行政手続の明確化や透明化の取扱い

・指定管理者として千葉市少年自然の家を運営するにあたって知っておくべき行政法の知識等の研修として、千葉市主催の「千葉市指定管理者研修会」に参加した。

・使用時間、使用者の範囲、使用許可・不許可、使用制限等、入所制限、利用料金徴収の判断等は、条例・規則等に基づき厳格に実施した。また、利用料金の減免、割引、返還についても条例・規則に則り適切に実施し、利用者から誤解を招くことのないように周知を図った。

・規則に基づいた対応を全スタッフが実施できるように、「事業運営マニュアル」を全スタッフに配布し、構成企業全体会やスタッフミーティング、研修会にて情報の共有と共通理解を図った。

構成企業全体会　4月 書面開催　千葉YMCA、伊藤忠UC、トラスティフード、セイビ 全スタッフ

・利用料金表、所内での遵守事項については利用ガイドにまとめて利用者に情報提供を行った。また、利用上の諸注意等は、ホームページ、サービスセンター掲示板、所内の該当する箇所等に情報を掲載し、よりわかりやすい案内に努めた。

・千葉市少年自然の家 指定管理者情報公開規程、情報公開処理要領、審査基準、標準処理期間および処分基準をホームページに掲載した。

１．２．４　適正な労働条件の確保

・「マルチジョブシステム」により縦割りの組織ではなく横断的組織を構築し、千葉市少年自然の家全体が一つのチームとして機能していくように運営した。

・「事業運営マニュアル」に基づき、更なる業務のマニュアル化、研修等の充実を図り、それを基にスタッフが各分野の業務を理解し、自らの担当のみにこだわらない柔軟な姿勢を持つことにより、人員配置の効率化・スリム化を図った。

１．３　リスク管理・緊急時対応

・利用者の健康と安全（人命）を第一に考えた施設の運営に努めた。

・緊急時の状況報告や連絡、指示系統を明確にした緊急時体制を整備し、感染症の発生や自然災害等への備えとした。

・火災・地震・人身事故・台風襲来・不審者対応等、緊急事態発生時の対応については、「事業運営マニュアル」にある「緊急時対応マニュアル」に即して行動を行った。

・事業運営マニュアルは、適時情報の追加と修正を行い、３月に改訂（4/1発行扱い）を行った。

１．３．１　災害、火災、盗難等の事故・事件の防止対策および野生生物対策

（１）緊急時対応記録（地震、台風、不審者、野生生物等）

	実施日	内　容	運営マニュアルの改定
地震	4～7 月	・前年度 1/1 に発生した能登半島地震、2/26 頃からの千葉県東方沖群発地震を例とし、自然の家における地震時の緊急対応についてのスタッフ目合わせを実施し、防災面から見た施設の安全点検を随時実施、緊急時スタッフ体制～対応の強化を継続	無
	8 月	・8/8　宮崎県日向灘を震源とする地震により発表された「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）8/8～15」への対応として、地震時の自然の家における緊急対応について、利用者への情報提供を強化し、防災面から見た施設の安全点検を随時実施、緊急時のスタッフ体制～対応の強化を継続した。	無
台風	5/26～	・台風 1 号への台風特別対応を実施（対象:5/31 に係る日程の利用者）	無
	8～10 月	・台風対応:気象庁より発表される台風の予報を元に、対象となる全利用者に台風対応に関する説明と手続き、利用者の安全を最優先にプログラムの再調整やその他要望への対応を行った。 ＜台風 7 号＞ ・8/16-17に係る日程:8/11より対象とする日程の全利用者に連絡。日程短縮（4団体、1家族）、利用全キャンセル（3団体、2家族）、プログラム変更～再調整（1団体） ・緊急時勤務体制:宿直者3名追加、事務受付対応6:50～21:00へ延長対応 ・8/16 停電 2 回あり ＜台風 10 号＞ ・8/27～9/4 に係る日程:8/23 より対象とする日程の全利用者に連絡。迷走台風のため長期間の対応となった。日程短縮（2 団体）、利用全キャンセル（4 団体、1 家族）、プログラム変更～再調整（3 団体）、主催事業キャンセル（3 家族）	無
火災		・9/17 基本研修「令和 6 年度第 1 回　消防訓練」 15:00～16:30 ・3/7 基本研修「令和 6 年度第 2 回　消防訓練」 15:00～16:20	無
盗難・不審者		特になし	
野生生物	4～11 月	・前年度より継続:所内へイノシシの侵入痕跡が見つかったため、スタッフによる所内の安全点検と、利用者へ注意喚起を強化した。所内でイノシシの目撃があり、全ての利用者への状況の説明と適宜声掛けを継続。また、所内外でハイキング等をおこなう団体や家族へイノシシに関する情報提供をおこなった。 ・4/12 15:00～17:00　山狩りを実施（15 名） 実施場所:自然環境学習センター裏、あゆみ橋～遊歩道～宿泊棟林間、あゆみ橋下の自然環境保全区、あゆみ橋～野外炊飯場 B 林間 ＜以下のイノシシ対策を継続＞ ・全利用者へ入所時と各ミーティング時に現況の説明を実施 ・運営/維持管理スタッフによる施設内巡回（4～7 月:適宜、8 月～11 月:3 回/日） ・自然の家外周柵の点検 ・利用者貸出用の獣除け鈴準備（サービスセンターにて無料貸し出し）	無

		・長柄町による箱罠の設置（ふるさと田んぼゾーン） ・利用者への情報提供として、ブヨ対策として虫除けの携行を推奨した。 ・爬虫類（主にマムシ・ヤマカガシ等の毒蛇）に関する注意喚起を適宜実施した。 ・キョン、イノシシに関する地域の情報収集を行い、利用者への施設情報の案内に活かした。 ・カラスによる生ごみ散乱被害への対策として、利用者へ生ごみ処理を徹底するよう案内を強化した。 ・蜂類の活動期間となり、アシナガバチやスズメバチの駆除を随時実施した。	
	9～10 月	・キャンプサイト C～D 付近クヌギの樹液にスズメバチが群がっていることを確認。以降、利用者の安全確保のため対象樹木の周辺を立ち入り禁止とし、トラップと毒餌を設置。キャンプサイト C～E を当面の間売り止めとする。	無
	12～3 月	・継続：イノシシ所内侵入～田畑被害の拡大への対応として、スタッフによる所内の安全点検と、利用者へ注意喚起を継続した。所内外でハイキング等をおこなう団体や家族へイノシシに関する情報提供をおこなった。 ＜以下の対策を継続＞ ・全利用者へ入所時と各ミーティング時に現況の説明を実施 ・運営/維持管理スタッフによる施設内巡回（毎日適宜実施） ・利用者貸出用の獣除け鈴準備（サービスセンターにて無料貸し出し） ・長柄町による箱罠：ふるさと田んぼゾーンへ設置継続 イノシシ捕獲罠の点検を毎日実施した。（獣道付近の箱罠、獣道周辺にくくり罠の状況確認） ・所内遊歩道に沿って、藪の刈り込み作業を順次進めている。 ・キョン、イノシシに関する地域の情報収集を行い、利用者への施設情報の案内に活かした。 ・カラスによる生ごみ散乱被害への対策として、利用者へ生ごみ処理を徹底するよう案内強化を継続した。	
感染症	4～5 月	・通常の感染症対応（インフルエンザ、胃腸炎等の感染症全般）の徹底を継続した。当面の間は消毒液の設置等のコロナ禍の感染症対応を一部継続している。	無
	6 月	・千葉県内のコロナウイルス感染者数の増加に伴い、通常の感染症対応（インフルエンザ、胃腸炎等の感染症全般）の徹底を継続した。 （6/24-30 定点把握、新型コロナ感染状況 9.17 人：1 医療機関あたり）	無
	7～8 月	・千葉県内のコロナウイルス感染者数の増加に伴い、通常の感染症対応（インフルエンザ、胃腸炎等の感染症全般）の徹底を継続した。 （厚労省：第 11 波 KP.3 株の流行　令和 6 年 7 月～）	無
	9～3 月	・通常の感染症対応（インフルエンザ、胃腸炎等の感染症全般）の徹底を継続	無
その他	4 月	・大気が不安定となることにより、雷・突風・大雨への注意を要する日程では、利用者へ注意喚起の案内を強化した。（受付時の情報提供、所内放送等の注意喚起） ・キャンプサイト（テント泊）利用時の夜間緊急時避難スペースとして、レクリエーションルーム等の屋内施設の開放を継続（天候の急変、低温時等） ・利用者の健康状態に配慮したプログラムと施設調整に努めた。また、状況により当日のプログラム調整へ柔軟に対応した。（晴雨プログラムの事前調整を徹底） ・天候や団体参加者の健康状態に合わせ、利用当日の活動施設の変更やプログラムの再調整に柔軟に対応した。 ・スギ・ヒノキ花粉の飛散が多い地域なため、利用者へ花粉対策の案内を強化した。～5 月 ＜花粉対策への案内強化内容：黄砂含む＞ 学校説明会、団体説明会の説明事項追加 利用者受入れ時（団体・家族）案内追加 ニュース等で花粉・黄砂に関する情報があった場合は、利用者へ情報提供を実施	無
	5～3 月	・大気が不安定となることにより、雷・突風・大雨への注意を要する日程では、利用者へ注意喚起の案内を強化した。（受付時の情報提供、所内放送等の注意喚起） ・キャンプサイト（テント泊）利用時の夜間緊急時避難スペースとして、レクリエーションルーム等の屋内施設の開放を継続（天候の急変、低温時等） ・利用者の健康状態に配慮したプログラムと施設調整に努めた。また、状況により当日のプログラム調整へ柔軟に対応した。（晴雨プログラムの事前調整を徹底） ・天候や団体参加者の健康状態に合わせ、利用当日の活動施設の変更やプログラムの再調整に柔軟に対応した。	無

（２）感染症への対応

通常の感染症対策（インフルエンザ、胃腸炎等）の徹底に関して利用者へ案内し、感染症の拡大防止や予防に努めた施設運営を行った。また、感染症（インフルエンザ・コロナウイルス、ウイルス性胃腸炎等）の流行が顕著となる時期は、案内内容を変更して強化し、施設内での感染症まん延の防止に努めた。

１．３．２　避難所運営に関する長柄町との連携

・長柄町防災無線を使用し、長柄町の防災に関する情報の収集を継続して実施した。

・災害時等の速やかな避難所開設に向け、長柄町の備蓄倉庫の鍵を自然の家で保管し、緊急時対応に備えた。

１．３．３　利用者の怪我や体調不良等への対策

・利用者の怪我や体調不良者の対応記録

対応日	対象	内容	対応	救急車
4/10	生徒	嘔吐	食べ過ぎにより 12:40 食堂で嘔吐した。体温 36.9℃その他異常なし	無
4/15	児童	発熱	15:30PA の時に不調を訴え 38.0℃。水分を摂って休む。17:00 保護者に連絡し、保健室にて頭を冷やしながら休む。19:45 父親迎えにより帰宅	無
4/15	児童	発熱	13:00 発熱 37.3℃が確認されたので氷嚢で頭と首を冷やし水分補給をさせて様子を見る。15:00、38.5 度の発熱があり、保護者に連絡するも、母親は県外におり、迎えが遅くなる。だんらん B にて就寝。翌朝、通院し溶連菌感染症と判明	無
4/16	児童	発熱	6:30 健康観察で 37.8℃、7:00 に 38.2℃。昨夜は特に問題なく、朝からだるいとのこと。8:45 父親の迎えにて帰宅	無
4/16	児童	嘔吐	少し気持ちが悪く、頭痛あり、帰宅せずに休憩後に活動へ合流	無
4/17	児童	捻挫	16:20 階段で足を踏み外し足首を捻った。16:40 ちはら台整形外科に学校職員が送りそこで保護者と合流。19:40 処置後、保護者と帰宅	無
4/17	児童	頭痛・発熱	17:00 ｸﾗｲﾐﾝｸﾞｳｫｰﾙ終了後、頭痛を訴えた。検温 37.4℃、保護者に連絡し迎えに来てもらい帰宅	無
4/18	養護教諭	発熱	13:00 体調が優れず検温 37.9℃　病院で検査、コロナ陽性と判明、帰宅	無
4/18	児童	発熱	15:00 CW 中腹痛と胸の痛みを訴え、検温 37.6℃。部屋に移動し休養。16:30 検温 37.7℃、保護者に連絡し迎えを依頼。18:15 帰宅	無
4/18	児童	発熱	20:30 健康観察の検温で 37.6、その後 37.7℃、保護者に症状を伝え迎えを依頼するが、飲酒をしており迎えに来られない。養護教諭の部屋で朝まで過ごし、翌日 6:20 両親の迎えにより帰宅	無
4/18	児童	吐き気、体調不良	20:00 吐き気を訴え、22:00 母の迎えにより帰宅	無
4/18	児童	発熱	14:10 体調不良を訴え検温 38.2℃。保健室で寝かせ 15:28 検温 38.6℃、17:45 39.1℃お茶を飲ませる。18:00 過ぎ母親と連絡がつき 20:00 母迎えにより帰宅	無
4/19	児童	発熱	7:00 朝の健康観察の際頭痛を訴えた（37.5℃）　帰宅	無
4/19	児童	嘔吐	13:30 食べ過ぎにより食堂のトイレで嘔吐	無
4/22	児童	打撲	21:50　二段ベッドにあたり腰を打撲した。氷嚢を渡す。活動を継続	無
4/24	児童	発熱	17:00 発熱し、ベッドに寝かしつけ安静にさせる。4/25　7:55 保護者迎えにより帰宅	無
4/25	児童	発熱	13:00　気持ちが悪いとの訴えがあり部屋で休養させる。寝不足・検温 36.6℃18:30　発熱 39.3℃となり保護者に連絡、20:05 保護者迎えにより帰宅	無
4/25	児童	嘔吐	13:30　リフレッシュセンター食堂男子トイレで嘔吐。食べ過ぎによるものと見られる。体調不良なし	無
4/25	児童	打撲	ベッドの角に後頭部をぶつけたと 16:00 教頭が本人から申告を受けた。教頭が受診を判断、医療機関を受診。母と兄には連絡が取れなかったが姉に伝わり、姉から母に受診させることを伝えた。16:50 教務主任・養護教諭・本人が出発。受診後に活動へ合流	無
4/26	児童	頭痛	２日前より頭痛があった。頭痛を訴え保護者迎えにより帰宅	無
4/26	児童	発熱	発熱 38.0℃　別室にて休養。帰宅	無
4/26	児童	発熱	発熱 37.2℃　保護者迎えにより帰宅	無

5/3	児童	嘔吐	ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰのｴﾚﾍﾞｰﾀ脇で、車酔いにて嘔吐。体温正常。	無
5/4	大人	裂傷	22:00 サービスセンター外階段を降りてくる途中階段で転倒。左顔面から出血。救急車対応（詳細は、別途報告書参照）	有
5/8	児童	打撲	14:30 集いの広場で走っている時、バランスを崩して転倒した。倒れた際、左手首を捻り地面に強打して負傷した。部位を固定し1週間様子見	無

5/9	児童	捻挫	10:00 ボルダリング中、うまく掴むことができず垂直落下、右足首を痛める。12:00 湿布を貼り様子を見たが歩行困難な状況になり車椅子での移動。15:15 保護者に連絡し迎えを依頼。18:30 父親迎えにより帰宅。	無
5/9	児童	発熱	20:30 夜の健康観察の検温で発熱が判明。39.0℃だんらん C で休養。保護者に連絡し、一晩様子見、24:00 39.0℃、翌朝 6:30 39.0℃保護者連絡。9:10 母親迎えにより帰宅。	無
5/10	児童	発熱	20:45 健康観察で 38.0℃の熱があった。保護者に連絡し、一晩様子見。別室で休養。翌朝 6:30、37.7℃保護者連絡。10:00 保護者の迎え帰宅。	無
5/10	児童	嘔吐	8:27 食堂で嘔吐。発熱なし(体温 36.6℃)、食欲あり、腹痛異常なし、通便普通、活動継続。	無
5/17	園児	発熱	16:30 微熱 37.3℃があるとﾐｰﾃｨﾝｸﾞ時に報告あり。17:30 38.3℃保護者に連絡、19:30 保護者迎えにより帰宅。	無
5/17	大人	怪我	21:00 頃ログハウス泊の利用者から転倒して怪我をしたため救急車を呼んだと内線電話がかかる。直後、ログハウスに救急車が到着。職員が状況確認をしたところ、キャンプセンター駐車場の車止めにつまずき転倒したとのこと。(救急車対応のため、詳細は別途報告書参照)	有
5/20	児童	嘔吐	21:59 男児 1 名帰宅。夕食後 2 度嘔吐。1 回目宿泊棟 1 階男子トイレ。2 回目は 1 階ラウンジ。発熱などの症状はないが大事を取った。	無
5/20	児童	発熱	入浴後 37.5℃、心理的な不安もあるようで 23:10 帰宅。	無
5/20	児童	発熱	入浴後 37.5℃、心理的な不安もあるようで 23:15 帰宅。	無
5/23	児童	ジンマシン	ジンマシンの症状が出て、保護者迎えにより帰宅。	無
5/28	児童	発熱	16:00 体調不良を訴え発熱(38.5℃)のど痛・頭痛。16:20 宿泊棟 104 で休養、入眠。16:50 保護者に連絡、18:20 保護者迎えにより帰宅。	無
5/28	児童	発熱	体調不良を訴え検温 38.2℃。18:30 宿泊棟 104 で休養、保護者に連絡。20:15 保護者迎えにより帰宅。	無
5/28	児童	嘔吐	13:15 食べすぎによる嘔吐。活動継続	無
5/30	児童	打撲	13:20 遊んでいてベッドに倒れた際に左目を強打。本人はどこにぶつけたかは覚えていない。痛みが引かないため 14:50 伊藤医院(眼科)へ教務主任が連れて行き受診。左目上部打撲の診断、その後、活動を継続した。	無
5/30	児童	嘔吐	22:00 特に体調が悪いわけではないが、嘔吐。(休養のみ帰宅せず)	無

6/1	児童	嘔吐	21:00 本人はいたって元気、平熱・腹痛・風邪症状なしだが、浴室で嘔吐	無
6/4	児童	発熱	19:20 都賀の台小養護教諭から内線電話があり、児童が微熱(37.0℃)があるため保護者迎えを頼んだと連絡があった。20:45 母親の迎えにて帰宅。明日の様子を診て、明日の行動を判断することとなった。	無
6/4	教師	やけど	キャンプファイア中に、他の子が持つトーチから垂れた灯油の燃えカスが手について右手人差し指第 2 関節付近をやけどした。流水で 30 分ほど冷やし、その後氷を入れた氷嚢で冷やす。中央消防署指揮情報係に連絡し、当番医を紹介される。公立長生病院で受診するため 21:00 校長の車で向かった。	無
6/4	児童	発熱	夜中 24:00 発熱のため、保護者に連絡、迎えにより翌 1:00 帰宅	無
6/5	児童	擦禍痕	11:55 クライミングウォールのﾄｯﾌﾟﾛｰﾌﾟ降下中にヘルメットがウォールの突起に引っ掛かり首の下(あごの下)をヘルメットの留め具が食い込んだ。咄嗟に指導者が児童を持ち上げ床までおろした。首に擦過痕が数か所残った。12:40 保護者に連絡を取り、塩田記念病院で診察を受けた。特に問題なし	無
6/6	児童	嘔吐	本人は至って元気、腹痛等の異状はないが嘔吐	無
6/7	児童	骨折	当所に来る前に怪我をしていた。教師が大丈夫かと確認したところ本人大丈夫ですということでこの林間学校に参加していたが、プログラム参加途中に痛みが増し、病院で診断すると骨折していることがわかった。21:15 保護者迎えにより帰宅	無
6/8	児童	嘔吐	食べ過ぎで嘔吐した。平熱その他異常なし	無
6/10	児童	低血糖	あやめ台小　児童保護者　健康観察のため 21:00 来所、21:30 に投薬の必要が確認されたので、一度自宅へ薬を取りに戻り、2 時間後に再来所し 0:00 に対処したいと申し出有、出発。その後校長より、児童を一度連れ帰って投薬するように指示したと申し出有、再び保護者来所、22:30 児童を引き連れ退所、翌早朝来所(7:00)	無
6/11	児童	発熱	夕方帰宅	無
6/11	児童	不安	21:00 気持ちが悪くて寝られないと訴え泣き始めた。体調について話を聞くが「帰りたい」と言うので 21:21 保護者に連絡、22:00 保護者迎えにより帰宅	無
6/13	児童	発熱	元々心臓に疾患がある児童、37.4℃の熱があるため 14:00 母とともに帰宅	無
6/13	児童	嘔吐	21:05 女児 1 名(M さん)体調不良にて帰宅。キャンプファイア中、嘔吐(エチケット袋内)	無
6/13	児童	発熱・嘔吐	21:40 体調不良のため帰宅。軽い喉の痛みと嘔吐。熱はなし	無

6/13	児童	嘔吐	21:30 レクルームトイレ前で嘔吐。軽い過呼吸によるものと考えられる。継続参加	無
6/13	児童	過呼吸	レクルームでのスタンツ発表会中に、体調不良を訴える。体に力が入らない、震える(痙攣？)、吐き気、寒気などの症状。21:06、学校先生により救急車要請。21:19 救急車到着(到着時体温 37.4℃)。21:36 こども病院へ搬送、教頭先生付き添い。23:00 頃、特別問題なしと報告あり(緊張による過呼吸？詳細は救急応急手当記録参照)。児童は帰宅、教頭先生は自家用車を取りに戻ったあと帰宅。翌朝 7:00 父親に送られて再来所、活動に合流した。	有
6/17	児童	嘔吐、頭痛	19:55 宿泊棟 211 の机前で嘔吐した。熱はないが頭痛あり。	無
6/18	児童	嘔吐、頭痛	18:00 食堂のトイレにて嘔吐した。熱はないが頭痛あり。	無
6/18	児童	嘔吐	21:30 宿泊棟 308 で嘔吐した。ホームシック気味であり席など風邪の症状もある。体温 36.8℃、様子を見る。	無
6/20	児童	発熱,せき	6:00 検温すると 40.0℃、咳の症状もあり、ひえピタを貼り保健室としての 104 で隔離し、休養させる。6:30 校長が家庭に連絡し、お迎えを依頼。その後保健室で休養。9:53 父親迎えにより帰宅。	無
6/21	児童	嘔吐	21:10 宿泊棟の3階ラウンジにて嘔吐、本人は元気であり食べ過ぎによるものと考えられる。	無
6/24	児童	咽頭痛・発熱	10:10 悪心、咽頭痛があったので検温 36.9℃。オリエンテーリングと泥んこ遊びをしないで休養した。16:00 休養中 38.2℃の発熱があったため保護者に連絡、保護者からは様子を見てほしいとの要望があった。18:00、38.8℃の発熱があったため保護者に連絡し迎えを依頼。21:30 保護者に引き渡した。	無
6/25	児童	咽頭痛・発熱	7:00 咽頭痛・発熱 37.6℃、8:30 発熱 38.4℃のため保護者に連絡。11:00 保護者に引き渡した。	無
6/25	児童	ジンマシン・発熱	21:00 顔・手・足・首にジンマシンが出た。発熱 37.6℃保護者に連絡。23:00 保護者に引き渡した。	無
6/26	児童	腹痛	7:00 腹痛・悪心を訴えた。顔色も悪いため休養させた。8:15 回復しないため保護者に連絡、10:30 保護者に引き渡した。	無
6/26	児童	嘔吐	体がだるく微熱 37.2℃もあった。クラフト室にて嘔吐した。	無
6/27	児童	嘔吐	21:40 宿泊棟男子トイレにて嘔吐。寒気がする症状であるが、他は異常なし。	無
6/28	児童	骨折	17:50 食堂にて転倒し、右手小指を床に打ち付け負傷した。すぐに冷却した。19:30 テーピング冷却、20:30 保護者に連絡し翌日迎えに来てもらう。保護者に引き渡し、病院を受診、小指にヒビが入っていた。	無
6/30	児童	嘔吐	8:00 食堂にて嘔吐した。体温平常 36.5℃その他異常なし。	無
6/30	児童	嘔吐	9:00 宿泊棟にて嘔吐した。体温平常 36.5℃その他異常なし。	無
6/30	児童	熱中症	8:00 疲れている様子があったので、休むかと声をかけた。朝ご飯は食べたが、しんどいと言うので 9:30 保健室で休養した。9:40 保護者に迎えを依頼、11:00 保護者に引き渡したら本人も笑顔が戻った。	無

7/3	児童	発熱	6:40 38.2℃発熱 9:20 保護者迎えにより帰宅	無
7/3	児童	頭痛	全日夕方より体調不良 7/3 9:20 保護者迎えにより帰宅	無
7/3	児童	嘔吐	12:30 食堂にて嘔吐(車酔い)	無
7/4	児童	発熱	7/4 朝食後検温 38.0℃ 10:25 保護者迎えにより帰宅	無
7/5	児童	頭痛、発熱	13:20 頭痛～17:45 発熱 37.8℃ 18:30 保護者迎えにより帰宅	無
7/6	児童	嘔吐	8:05 食堂にて嘔吐、ジュースの飲み過ぎとのこと 体温等異常なし	無
7/11	児童	嘔吐	12:35 嘔吐 体温 36.9℃、風邪等の症状はなし	無
7/11	児童	突き指	19:30 活動で負傷 20:15 痛みを訴え養護教諭が応急処置(副え木固定、冷却) 21:38 病院:「突き指」と診断 21:55 保護者迎えにより帰宅 翌朝再合流	無
7/12	園児	嘔吐	17:45 食堂にて嘔吐 20:15 保護者迎えにより帰宅	無
7/12	園児	嘔吐、発熱	20:00 発熱 38℃保健室で静養中に嘔吐 21:00 保護者迎えにより帰宅	無
7/18	園児	嘔吐	12:05 食堂にて嘔吐 38.3℃ 保護者迎えにより帰宅	無
7/18	園児	嘔吐	12:30 食堂にて嘔吐 咳などの風邪の症状やだるさはなく活動合流	無
7/21	児童	嘔吐	13:15 食堂にて嘔吐 体調に異常はなく、活動合流	無
7/22	児童	発熱	17:30 37.3℃ 18:00 37.5℃ 20:45 保護者迎えにより帰宅	無
7/26	生徒	やけど	10:30 クラフト室 焼印で火傷 11:50 団体で応急処置	無
7/26	児童	嘔吐	9:25 視聴覚室前で嘔吐 体調に異常はなく、活動合流	無

7/26	児童	嘔吐	9:30 体調不良のため、2 回嘔吐　その後帰宅	無
7/28	生徒	熱中症による転倒	21:30 リフレッシュセンター1階で倒れる。21:35 帯同看護師が OS1 を投与し様子見、体を冷やしながら休息。23:00 保護者に連絡、病院搬送の要望　23:15 長生病院に搬送 1:00 熱中症の診断　病院にて保護者に引き渡し	無
7/29	児童	嘔吐	10:25 嘔吐　腹痛あり、休憩後に活動合流	無

8/5	児童	嘔吐	13:00 食堂にて嘔吐　その他異常なく活動継続	無
8/5	児童	嘔吐	18:20 嘔吐　その他異常なく活動継続	無
8/8	児童	嘔吐	18:20 嘔吐　その他異常なく活動継続	無
8/9	児童	嘔吐	17:50 食べ過ぎにより嘔吐　その他異常なく活動継続	無
8/10	児童	嘔吐	7:40 嘔吐、その他異常なく活動継続	無
8/10	児童	発熱	17:20 発熱 37.9℃　20:10 保護者に引き渡し帰宅	無
8/10	児童	嘔吐	19:50 食べ過ぎによる嘔吐　その他異常なく活動継続	無
8/12	児童	棘	14:30 クラフト室にて工作中左手親指の爪が黒ずんで痛みを訴える。14:40 サービスセンターで相談、須田外科の受診を紹介される。16:00 保護者と連絡が取れ、外科受診し、異物（8mm くらいの木片）を取り除く。17:20 自然の家に戻り合流したが、20:00 保護者迎えにより帰宅	無
8/13	児童	寒気	14:30 ピロティーにて水遊びをしている時に寒気を感じる。その後回復	無
8/18	生徒	倦怠感	18:00～21:00 保健室を利用　熱中症と思われる症状。宿泊棟だんらん室 F に引率職員とともに宿泊	無
8/18	生徒	怪我	宿泊棟1階男子トイレの扉に足が引っかかり左足親指の爪を剥がしてしまったと 23:48 サービスセンターに連絡が入る。事故発生は 23:30 本人は裸足でトイレにいき扉に引っかかったという。23:40 看護師による手当を施す。23:50 引率の看護師の意向で救急車を要請。翌日 0:10 救急車到着、受け入れ先は菅原病院に決まり 0:20 搬送する。0:40 菅原病院に到着、診察終了 3:10。3:30 タクシーで帰所。車椅子を貸し出す。	有
8/22	児童	嘔吐	22:30 嘔吐　その他異常なく活動継続	無
8/25	児童	痙攣	12:20 炊飯場 B の椅子から倒れて全身痙攣を起こした。救急車要請。12:36 救急車到着、海浜病院に搬送された。	有
8/27	児童	嘔吐	19:15 ログ棟ヒノキ 5 にて嘔吐　その他異常なく活動継続	無

9/2	児童	嘔吐	19:55 宿泊棟で嘔吐　体温 36.4℃　活動継続	無
9/4	児童	発熱	11:30 体調不良（頭痛）体温 37℃程度　11:45 39.7℃へ上昇、保護者迎え帰宅	無
9/5	児童	体調不良	14:00 体調不良 19:00 保護者迎え帰宅	無
9/6	児童	発熱	保護者迎え帰宅	無
9/6	児童	発熱	19:45 保護者迎え帰宅	無
9/9	児童	発熱	11:00 悪心　体温 37.5℃　11:50 38.3℃、15:00 39.0℃教頭が準公用車として学校まで送り、保護者に引き渡し	無
9/13	児童	嘔吐	11:10 実習室前で嘔吐　活動継続	無
9/14	児童	嘔吐	12:45 食堂にて嘔吐　食べ過ぎによる嘔吐　活動継続	無
9/18	児童	発熱・倦怠感	18:00 体調不良（倦怠感）18:50 38.1℃、19:00 別室に待機、19:45 保護者迎え帰宅　9/2 コロナウイルス罹患連絡あり	無
9/19	児童	嘔吐	13:15 食堂にて嘔吐　昼食前に腹痛の症状あり　活動継続	無
9/19	児童	倦怠感	18:00 倦怠感、18:15 37.5℃、20:00 37.3℃、21:00 保護者へ一報をいれこのまま様子を見る。翌日 6:30 体温 37.4℃倦怠感あり。7:00 保護者迎え帰宅	無
9/24	生徒	嘔吐	8:00 朝食中に嘔吐　活動継続	無
9/25	児童	発熱	11:30 寒気 38.8℃、12:00 39.1℃、13:00 38.7℃。13:45 保護者迎え帰宅	無
9/25	児童	嘔吐	19:30 あゆみ橋にて嘔吐　腹痛あり、風邪の症状もあるが、夕食の食べ過ぎとのこと。帰宅せず、活動継続	無
9/26	児童	嘔吐	18:00 食べ過ぎにより嘔吐　活動継続	無
9/26	児童	体調不良・発熱	18:00 悪寒、食欲不振、顔色悪く、38.5℃、18:20 保護者連絡、迎え要請、18:50 下痢、19:10 保護者迎え帰宅	無
9/30	児童	発熱	16:20 頭痛 38.0℃、16:30 38.9℃、17:00　39.6℃　18:00 保護者引き渡し	無

10/1	児童	嘔吐	7:45　食堂にて嘔吐、腹痛なし、発熱なし、だるさの訴えあり	無
10/1	児童	嘔吐	8:00　食堂にて嘔吐、腹痛なし、発熱なし、風邪症状なし	無

10/3	児童	嘔吐	8:30 食堂にて嘔吐、腹痛なし、発熱なし、食欲不振、寝不足	無
10/3	児童	発熱	16:30 発熱(39.0℃)、18:30 保護者が迎えにより帰宅	無
10/4	児童	嘔吐	7:20 宿泊棟 106 にて 3 回嘔吐、体温正常(36.4℃)、体の怠さの訴えあり、寝不足、食欲なし	無
10/4	児童	腹痛・発熱	保健室にて休養(体温:37.0℃) 15:45 保護者迎え帰宅	無
10/4	児童	嘔吐	13:00 大きく咳き込みベッド上で嘔吐(36.0℃)、他体調不良なし	無
10/9	児童	頭痛・発熱	18:50 頭痛(36.9℃)寒気だるさあり、20:50 保護者迎え帰宅 翌朝合流	無
10/10	児童	嘔吐・発熱	朝(8:30 頃)宿泊棟廊下で黒ビニール袋の中に嘔吐寒気あり、 9:071 2 回、9:25 3 回目の嘔吐あり 9:30 体調回復～活動へ合流	無
10/11	児童	発熱	7:30 寒気あり、9:15 発熱(38.5℃)9:20 保健室使用、11:00 保護者迎え帰宅	無
10/18	児童	発熱・喉の痛み	17:20 喉の痛みを訴え 18:20 だるさ・頭痛 19:50 保護者迎え帰宅	無
10/18	児童	発熱・咳	18:20 食事後に発熱 19:25 保護者迎えにより帰宅	無
10/22	児童	喘息	18:30 食べ過ぎて体調不良、喘息も併発 休憩 20:00 保護者迎え帰宅。翌日 合流	無
10/24	児童	発熱	11:30 悪心あり 12:00 発熱(38.4℃) 12:45 保護者迎え帰宅	無
10/24	児童	発熱	13:00 倦怠感訴え 13:50 発熱(38.1℃)頭痛、喉の痛み 15:00 保護者迎え帰宅	無
10/27	児童	嘔吐	8:20 嘔吐(36.6℃) 特に異常なく活動合流 11:45 嘔吐 頭痛・咳あり 様子見	無
10/31	児童	発熱	13:10 発熱(38.4℃)、18:00 保護者迎え帰宅 翌日合流 13:00 発熱(37.5℃)、 15:00 検温(38.6℃)、16:00 保護者迎え帰宅	無
10/31	児童	発熱	前夜の検温(37.5℃)保護者に連絡し、別室にて様子見 翌 7:00 平熱に戻り活動合流 18:20 微熱(37.3℃→38.0℃) 20:20 保護者迎え帰宅	無
10/31	児童	喉の痛み・発熱	朝から喉の痛みを感じていた 20:30 キャンプファイアー終了後 37.6℃保護者に迎えを要請 1階ラウンジにて静養 22:40 保護者に引き渡し	無
10/31	児童	頭痛・嘔吐	16:30 頭痛・悪心(36.4℃) 17:30/18:20 2 回嘔吐あり 19:00 保護者迎え帰宅	無
11/3	児童	息苦しさパニック	8:25 清掃スタッフよりリフレッシュセンター自動販売機のところで苦しがっている子が家族とともにいると連絡が入る 8:40 保護者が救急車を要請→県立子ども病院へ搬送 15:30 スタッフが母親に聞き取り:救急車内で落ち着きを取り戻し、病院では問診のみ原因不明、異常等なく大事なし帰宅	有

11/3	児童	嘔吐・発熱	13:30 熱 38.5℃ 咳あり 帰宅	無
11/4	児童	嘔吐	9:50 嘔吐 2 回、体調不良、腹痛なし、休憩後に活動継続	無
11/6	生徒	発熱	15:30 発熱(37.3℃)・頭痛・鼻水 18:00 保護者迎え帰宅	無
11/6	生徒	発熱	17:00 発熱 37.7℃ 18:40 保護者迎え帰宅	無
11/7	生徒	貧血	16:00 本人より体調不良の訴え 16:15 自室で静養 18:05 食事 21:20 保護者迎え帰宅	無
11/9	幼児	悪寒	7:30 体調不良 保健室 8:35 担任より保護者に連絡するが繋がらず	無
11/10	児童	嘔吐	8:30 嘔吐 保健室にて休憩 11:45 体調回復し、活動合流	無
11/10	児童	嘔吐	食堂にて嘔吐、その後再度嘔吐 腹痛があり下痢気味 保護者対応	無
11/12	児童	嘔吐	21:50 嘔吐 活動継続	無
11/13	児童	発熱	12:00 発熱 14:30 保護者迎え帰宅	無
11/13	児童	発熱	20:30 発熱 21:40 保護者迎え帰宅	無
11/13	児童	発熱	22:00 発熱 38.1℃ 23:00 保護者へ連絡、翌朝の迎え 11/14 7:30 37.5℃ 保護者迎え帰宅	無
11/14	児童	嘔吐	10:00 微熱 37.2℃ 11:30 嘔吐、体温 38.8℃ 12:30 保護者迎え帰宅	無
11/14	児童	発熱	21:00 発熱 22:08 保護者迎え帰宅	無
11/15	児童	嘔吐	11:30 腹痛あり 14:50 活動中に体調不良 36.8℃ 17:50 嘔吐 保健室に移動 17:55 保護者迎え帰宅	無
11/15	児童	発熱	21:00 発熱 38.2℃ 22:30 保護者迎え帰宅	無
11/16	児童	発熱・嘔吐	18:00 体調不良 19:00 頭痛・発熱 22:00 嘔吐 22:30 体温 39.1℃ 23:00 千葉市立海浜病院へ搬送	無
11/19	児童	発熱	18:50 発熱 37.7℃ 20:00 保護者へ連絡 21:30 迎え帰宅	無
11/21	児童	嘔吐	12:20 苦手なものを食し嘔吐	無
11/28	児童	発熱	15:30 発熱 38.3℃ 17:00 38.7℃ 18:00 保護者迎え帰宅	無
11/28	児童	発熱	15:45 発熱 38.7℃ 17:00 38.9℃ 18:00 保護者迎え帰宅	無
11/28	児童	頭痛	17:20 発熱 37.7℃ 18:00 保護者連絡、同級生の保護者の車に同乗・帰宅	無

11/29	児童	発熱	6:30 発熱 37.8℃、 7:50 保健室にて休養(退所まで)	無

12/2	児童	頭痛・発熱	10:35 体調不良(発熱 38.9℃) 13:15 保護者迎えにより帰宅	無
12/2	児童	頭痛・発熱	21:00 発熱 38.6℃ 22:15 保護者迎えにより帰宅	無
12/2	児童	咳・発熱	21:40 体調不良(咳・発熱 38.5℃) 22:55 保護者迎えにより帰宅	無
12/3	児童	頭痛・喉痛	15:40 体調不良(発熱 37.7℃) 17:45 保護者迎えにより帰宅	無
12/4	児童	頭痛・貧血	9:30 体調不良 9:40 保健室にて休養 12:00 回復	無
12/4	児童	嘔吐	20:30 嘔吐(36.5℃)風邪症状等なし 活動継続	無
12/5	児童	火傷	13:15 野外炊飯時、鍋を持とうとしたところ火傷した。流水で患部(右手中指)を冷やした 16:00 保護者と茂原皮膚科を受診 18:40 活動合流	無
12/5	児童	骨折	17:20 リフレッシュセンターと宿泊棟の間でロープにて転倒 18:00 学校緊急車両でちはら台整形外科へ移送 18:30 骨折と診断 19:45 活動合流	無
12/9	児童	嘔吐	20:40 嘔吐(体調不良、発熱 37.7℃、腹痛) 21:00 保護者迎えにより帰宅	無
12/10	児童	発熱	17:30 発熱 39℃ 18:55 保護者迎えにより帰宅	無
12/11	児童	嘔吐	8:00 咽てしまい嘔吐、活動継続	無
12/17	児童	発熱	16:30 発熱 38.0℃ 18:30 保護者迎えにより帰宅	無
12/17	児童	発熱	18:20 発熱 保健室で療養 20:00 保護者迎えにより帰宅	無
12/18	児童	頭痛・嘔吐	18:00 頭痛により薬を飲む 19:00 レク大会中に頭痛がひどくなる 20:30 嘔吐 21:50 保護者迎えにより帰宅	無
12/19	児童	嘔吐	15:20 サイダーを急いで飲み嘔吐 活動継続	無
12/19	児童	発熱	20:50 発熱 38.2℃ 21:20 保護者連絡、迎えは遅くなる、だんらん B で静養 23:20 保護者迎えにより帰宅	無
12/19	児童	発熱	8:50 発熱 38.0℃ 9:20 保護者連絡、迎えは 22:30 頃になりそうとわかり、保健室で静養 22:10 保護者迎えにより帰宅	無
12/20	児童	発熱	7:00 発熱 39.1℃ 9:30 保護者迎えにより帰宅	無
12/21	児童	倦怠感	15:00 だるさを訴え(36.5℃) 17:00 36.5℃ 特に発熱はないが小学校でインフルエンザが流行しており本人もインフル陰性ではあるが看護師の判断で帰宅	無
12/26	児童	嘔吐	18:15 仲間とぶつかったときに吐き気あり、その後嘔吐 活動継続	無
12/27	児童	悪寒・発熱	6:25 悪心(36.6℃ 咳有)7:00 発熱 38.4℃ 10:55 保護者迎えにより帰宅	無
12/27	児童	発熱	6:50 発熱 39.2℃ 別室ヒノキ 5 へ移動し静養 10:10 父親と連絡がとれ仕事後に迎えに来るとのこと 夜 保護者迎えにより帰宅	無
12/27	児童	嘔吐	8:15 ふざけて食べていた 活動継続	無
12/27	児童	腹痛	13:40 食べすぎ 保健室であるヒノキ 5 で静養 16:45 活動合流	無
12/27	児童	嘔吐	13:40 嘔吐(37.1℃ 風邪症状あり) 保護者迎えにより帰宅	無
12/28	児童	嘔吐	10:30 風邪っぽい むせて嘔吐(36.3℃) 11:30 横になっていたら咳き込み再嘔吐 保護者引き渡し	無

1/9	児童	嘔吐	1:30 就寝中 布団に嘔吐 4:00 嘔吐 本人は寝不足 微熱 37.6℃ 保護者迎え帰宅	無
1/9	児童	発熱	1:00 嘔吐 4:00 嘔吐 7:00 微熱 37.6℃ 8:25 微熱 37.1℃ 保護者迎え帰宅	無
1/9	児童	発熱	6:50 微熱 37.6℃ 喉の痛み、だるさ訴え 8:30 発熱 38.0℃ 保護者迎え帰宅	無
1/9	児童	発熱	7:50 発熱 38.4℃ 保護者迎え帰宅し	無
1/10	児童	発熱	1/9 発熱 19:15 37.7℃ 19:20 37.8℃保護者連絡、22:20 37.6℃保護者連絡 1/10 6:30 発熱 39.9℃ 保護者迎え帰宅	無
1/13	児童	発熱	7:00 発熱 39.1℃ 咳鼻水あり 9:00 39.1℃ 10:00 保護者迎え帰宅	無
1/15	児童	発熱	18:00 頭痛と寒気・悪心 発熱 38.6℃ 21:00 保護者迎え帰宅	無
1/15	児童	嘔吐	消化不良により嘔吐 体のだるさは少々ある 腹痛はなし 休憩後、活動継続	無
1/16	児童	嘔吐	6:30 嘔吐 体温 37.0℃ 腹痛その他異常なし 活動継続	無
1/16	児童	発熱	7:00 発熱 38.2℃ 9:00 保護者迎え帰宅	無
1/16	児童	発熱	7:00,微熱 37.2℃ 休憩後熱は下がり活動合流 15:15 発熱 38.0℃ 保護者迎え帰宅	無
1/16	児童	発熱	7:30 発熱 38.5℃ 11:00 39.2℃ 11:35 保護者迎え帰宅	無
1/16	児童	体調不良	16:30 微熱・咽頭痛。頭痛・腹痛の訴え 21:40 保護者迎え帰宅	無
1/28	児童	発熱	17:30 発熱 37.6℃ 19:50 保護者迎え帰宅	無
1/28	児童	発熱	18:30 発熱 19:05 保護者迎え帰宅	無

1/28	児童	発熱	19:30 発熱　20:00 保護者迎え帰宅	無
1/29	児童	腹痛	9:50 往きバス中、てんかん症状の両足のけいれん、その後腹痛　10:15 腹痛が強いので、保健室にて休憩　11:00 腹痛が治まり活動合流	無

2/1	児童	嘔吐	17:00 宿泊棟2～3階の階段で嘔吐(スポーツ後疲労)、下痢気味 36.6℃、23:00 宿泊棟3階洗面所で嘔吐　体温 38.8℃、腹痛がありひどい下痢症状があり、帰宅	無
2/2	児童	嘔吐	8:20　嘔吐、平熱、活動継続　5日前に双子の兄が同様の症状であった	無
2/3	児童	転倒	17:25　浴室で転倒し後頭部を打つ。患部冷却、サービスセンターで保冷剤を貸し冷却続ける。活動継続	無
2/3	児童	発熱	20:15　微熱 37.1℃　21:45 保護者迎え帰宅	無
2/4	児童	嘔吐・発熱	23:30　嘔吐　腹痛なし　発熱 38.2℃　2/5　10:30　保護者迎え帰宅	無
2/4	児童	発熱	20:00　38.6℃　別室休憩　深夜、保護者と連絡が取れ、2/5　7:00 保護者迎え帰宅	無
2/5	児童	発熱	微熱 37.3℃　10:30　保護者迎え帰宅	無
2/6	児童	嘔吐	7:45　嘔吐、平熱、活動継続	無
2/6	児童	嘔吐	8:20　嘔吐、食事直前の嘔吐、体調不良のため保護者迎え帰宅	無
2/12	児童	バス酔い	9:30 バス酔い、微熱 37.0℃　保健室にて休養　11:15 回復し活動合流	無
2/13	児童	脱臼	14:30 転倒、ひじを痛める　15:00 学校緊急車両で病院を受診、保護者合流、脱臼と診断、18:00 帰所、医師と相談の上で活動継続	無
2/13	児童	目のかゆみ	目が充血してかゆみを訴える　この日は春一番が吹き花粉も大量に飛んだ日であった 19:30 保護者迎え帰宅	無
2/14	園児	嘔吐	18:30　食べ過ぎによる嘔吐　腹痛あり　平熱、活動継続	無
2/15	園児	嘔吐	13:00　平熱、他風邪症状あり、保健室で休養	無

3/2	児童	嘔吐	8:00　嘔吐　腹痛:なし　その後、元気	無
3/16	児童	嘔吐	7:30 宿泊棟3階女子トイレ内に嘔吐　体温 36.4℃　その後吐き気が続くため保健室利用　10:30 保護者迎えにより帰宅	無
3/16	児童	嘔吐・寒気	10:00CW 中、プレイホールにて嘔吐　寒気があり体温 37.1℃　寝不足と食べ過ぎもある　12:00 保護者に引き渡し帰宅	無
3/23	児童	嘔吐	6:50 応答　7:15 嘔吐　7:30 保健室利用開始　7:50 嘔吐　8:15 嘔吐　8:45 体温 36.6℃　入眠中　8:55 水 1 口摂取　9:40 保護者迎え	無
3/25	児童	嘔吐	食べ過ぎのためキャンプセンタートイレにて嘔吐　体温は 36.8℃　腹痛あり	無
3/25	児童	嘔吐	食べ過ぎのためキャンプセンタートイレにて嘔吐　体温は 37.1℃　体調不良あり	無
3/25	児童	嘔吐	腹痛は少しあった　風呂上がりに嘔吐　その時の体温は 38.6℃ 風邪の症状や体調不良・からだの怠さはなし	無
3/28	児童	嘔吐	9:00　嘔吐　腹痛なし　体温 36.6℃　体調不調なし	無
3/30	大人	頭痛	9:30 頭痛による体調不良にて保健室を利用して横になる　10:45 退室	無

１．３．４　火災・盗難等の事故発生時や災害発生時、需要変動、第三者への賠償

・予期しない事態により利用者・第三者への賠償責任が生じた場合に備え、事業運営、施設維持管理を行うにあたって以下の保険の加入に加入した。

- ・全国青少年教育施設保険（施設賠償責任保険＋生産物危険担保特約条項・レジャー・サービス施設費用保険）
- ・動産保険
- ・自動車保険
- ・第三者損害賠償責任保険
- ・個人情報漏えい賠償保険

１．４　その他

・所内のプログラム備品や器材等の点検を適宜実施し、劣化した消耗品等のメンテナンスや更新を行った。利用者からの指摘やスタッフによる点検により発覚した劣化プログラム用品（プログラム掲示や工具、レク教材等）のメンテナンス、在庫入れ替えを随時実施した。

各月に実施した作業

・ふるさと田んぼゾーン作業、その他農作業

月	田んぼ管理作業	畑管理作業全般	その他
4月	・湿生植物池周辺の草刈り作業～野生生物への安全対策他 ・春のわいわいフェスティバル～GWに向けたプログラム活動エリアのメンテナンス全般 ・主催事業（5/4ワンデー農業、5/5ファミリーキャンプ）で提供する「田植え」プログラムに向けた準備作業、耕運～代掻き	・畑の管理作業全般：春収穫の野菜 ・夏野菜への切り替え作業 ・野菜苗の育苗 ・イノシシの活動跡と思われる箇所の修繕（畑周辺土の掘り返しあり）継続作業	・花壇の整備、花苗等の育成～管理 ・野外活動ゾーンの林間の朽木処理、管理作業を継続（プレーパーク周辺） ・春のわいわいフェスティバルにて提供するプレーパーク周辺の安全管理
5月	・湿生植物池周辺の草刈り～葦の根切り～一部浚渫～野生生物への安全対策他 ・どろんこ遊び田んぼの葦の根切り～処理 ・主催事業（5/4ワンデー農業、5/5ファミリーキャンプ）にて「田植え」プログラムの提供を行い、プログラム実施後の管理～田のメンテナンスを適宜実施した。 ・どろんこ遊びを提供するスペースのメンテナンス（安全点検～葦繁茂管理～一部耕運機による根切り作業～水位調節）を実施した。	・畑の管理作業全般：春収穫の野菜→夏～秋野菜への移行、切り替え作業 ・野菜苗の育苗 ・イノシシの活動跡と思われる箇所の修繕（畑周辺土の掘り返しあり）継続作業	・花壇の整備、花苗植付け、種まき ・プログラム教材としての「藍」植付け～管理 ・野外活動ゾーンの林間の朽木処理、管理作業を継続（プレーパーク周辺）
6月	・湿生植物池周辺の草刈り～葦の根切り～一部浚渫～野生生物への安全対策他 ・どろんこ遊び田んぼの葦の根切り～処理（継続作業） ・どろんこ遊びを提供するスペースのメンテナンス（安全点検～葦繁茂管理～一部耕運機による根切り作業～水位調節）を実施した。	・畑の管理作業全般：夏～秋野菜への管理作業 ・イノシシの活動跡と思われる箇所の修繕（畑周辺土の掘り返しあり）作業（畦一部補修、畑裏小川補修）	・花壇の整備、花苗植付け（夏花） ・プログラム教材としての「藍」植付け～管理（プランター増設） ・野外活動ゾーンの林間の朽木処理、管理作業を継続（プレーパーク周辺）
7月	・湿生植物池周辺の草刈り～葦の根切り～野生生物への安全対策他 ・どろんこ遊び田んぼの葦の根切り～処理（継続作業） ・どろんこ遊びを提供するスペースのメンテナンス（安全点検～葦繁茂管理～一部耕運機による根切り作業～水位調節）を実施した。 ・田んぼ内の草取り作業（ファミリーキャンプ田んぼ）、追肥	・畑の管理作業全般：夏～秋野菜への管理作業 ・イノシシの活動跡と思われる箇所の修繕（畑周辺土の掘り返しあり）作業（畦一部補修、畑裏小川補修）	・花壇の整備、花苗植付け（夏花） ・プログラム教材としての「藍」植付け～管理 ・サービスセンター前グリーンカーテン（朝顔）管理 ・野外活動ゾーンの林間の朽木処理、管理作業を継続（プレーパーク周辺）
8月	・湿生植物池周辺の草刈り ・どろんこ遊びを提供するスペースのメンテナンス ・田んぼ内のイノシシ被害状況の確認、畦損壊等への一部復旧作業、田んぼプログラム今期提供不能 ・イノシシ対応としての施設巡回3回/日	・畑の管理作業全般：夏～秋野菜への管理作業 ・イノシシの活動跡と思われる箇所の修繕（畑周辺土の掘り返しあり）作業継続 （畑裏小川補修） ・除草作業、台風対策作業	・花壇の整備、花苗植付け（夏花） ・プログラム教材としての「藍」管理 ・サービスセンター前グリーンカーテン（朝顔）管理 ・野外活動ゾーンの林間の朽木処理、管理作業を継続（プレーパーク周辺
9月	・湿生植物池周辺の草刈り（継続） ・どろんこ遊びを提供するスペース	・畑の管理作業全般：夏～秋野菜への管理作業	・花壇の整備（夏～秋花） ・プログラム教材としての「藍」管

	のメンテナンス（継続） ・田んぼ内のイノシシ被害状況の確認、畦損壊等への一部復旧作業 ・イノシシ対応としての施設巡回3回/日	ワンデー農業にて提供するサツマイモ畑の管理、夏秋野菜→一部冬春野菜へ ・イノシシの活動跡と思われる箇所の修繕（畑周辺土の掘り返しあり）作業継続 （畑裏小川補修） ・除草作業、台風対策、台風後の復旧作業 ・台風10号、その後の強風により農業倉庫損傷、仮修理	理 ・サービスセンター前グリーンカーテン（朝顔）管理 ・野外活動ゾーンの林間の朽木処理、管理作業を継続（プレーパーク周辺） ・サービスセンター前グリーンカーテン撤去
10月	・湿生植物池～田んぼ周辺畦周辺の草刈り（継続） ・田んぼ内のイノシシ被害状況の確認、畦損壊等への一部復旧作業	・畑の管理作業全般：夏～秋野菜への管理作業 ・イノシシの活動跡と思われる箇所の修繕（畑周辺土の掘り返しあり）作業継続 ・除草作業、台風後の復旧作業：農業倉庫の修繕（天幕張替え）	・花壇の整備（夏～秋花） ・プログラム教材としての「藍」管理（種子作り～養生） ・野外活動ゾーンの林間の朽木処理、管理作業を継続（森の食卓～プレーパーク周辺）
11月	・湿生植物池～田んぼ周辺畦周辺の草刈り後の枯草処理 ・田んぼ内のイノシシ被害：畦損壊等への一部修繕	・畑の管理作業全般：秋→冬～春野菜への移行、管理作業 ・イノシシの活動跡と思われる箇所の修繕（畑周辺土の掘り返しあり）作業継続	・花壇の整備（冬～春へ移行） ・プログラム教材としての「藍」管理（種子採取） ・野外活動ゾーンの林間の朽木処理、管理作業を継続（森の食卓～プレーパーク周辺）
12月	・イノシシ対策：所内藪刈り作業～篠竹処理 ・田んぼ内のイノシシ被害：畦損壊等への一部修繕	・畑の管理作業全般 ・イノシシの活動跡と思われる箇所の修繕（畑周辺土の掘り返しあり）作業継続	・花壇の管理（冬～春） ・野外活動ゾーンの林間の朽木処理、管理作業を継続（森の食卓～プレーパーク周辺）
1月	・イノシシ対策：所内藪刈り作業～篠竹処理（遊歩道周辺作業兼ねる） ・田んぼ内のイノシシ被害：畦損壊等の今後の修繕を検討	・畑の管理作業全般 ・春野菜の生育管理 ・野菜苗作り	・花壇の管理（冬～春） ・野外活動ゾーンの林間の朽木処理、管理作業を継続（森の食卓～プレーパーク周辺） ・春花苗、プログラム用藍苗の育苗
2月	・イノシシ対策：所内藪刈り作業～篠竹処理（遊歩道周辺作業兼ねる） ・田んぼ内のイノシシ被害：畦損壊等の今後の修繕を検討 （畦損壊補修、湿生植物池～小川周辺土の掘り返し補修）	・畑の管理作業全般 ・春野菜の生育管理 ・野菜苗作り ・イノシシの活動跡と思われる箇所の修繕（畑周辺土の掘り返しあり）継続作業	・花壇の管理（冬～春） ・野外活動ゾーンの林間の朽木処理、管理作業を継続（森の食卓～プレーパーク周辺） ・春花苗、プログラム用藍苗の育苗継続
3月	・イノシシ対策：所内藪刈り作業～篠竹処理（遊歩道周辺の整理作業） ・田んぼ内のイノシシ被害：畦損壊等の今後の修繕 （畦損壊補修、湿生植物池～小川周辺土の掘り返し補修） ・一部浚渫作業を実施	・畑の管理作業全般 ・春野菜の生育管理 ・野菜苗作り ・菌床漉き込み作業を継続 ・プログラム用藍畑の整備	・花壇の管理（冬～春） ・野外活動ゾーンの林間の朽木処理、管理作業を継続（森の食卓～プレーパーク周辺） ・春花苗の植え込み作業

・所内遊歩道の整備作業を継続して実施した。

月	内　容
4月	・所内遊歩道の歩行面安全点検や補修を実施した。 ・路面の防滑を目的に階段部を中心に砕石を敷設した。 ・倒木リスクのある枯れ木、朽木の確認、強風による折れた枝の処理を実施した。
5月	・所内遊歩道の歩行面安全点検や一部補修を実施した。 ・路面の防滑を目的に階段部を中心に砕石を敷設した。（追加実施） ・スロープ部分の柵追加作業を行った。 ・倒木リスクのある枯れ木、朽木の確認、強風による折れた枝の処理を実施した。
6月	・所内遊歩道の歩行面安全点検や一部補修を実施した。 ・路面の防滑を目的に階段部を中心に砕石を敷設した。（追加実施） ・スロープ部分の柵追加作業を行った。 ・倒木リスクのある枯れ木、朽木の確認、強風による折れた枝の処理を実施した。

7月	・入口に案内看板を設置した。 ・所内遊歩道の歩行面安全点検や一部補修を実施した。 ・路面の防滑を目的に階段部を中心に砕石を敷設した。（泥濘防止、追加実施） ・スロープ部分の柵追加作業を行った。 ・倒木リスクのある枯れ木、朽木の確認、強風による折れた枝の処理を実施した。 ・歩道周辺、林間広場の草刈り作業
8～9月	・入口に案内看板の防腐処理～塗装 ・所内遊歩道の歩行面安全点検や一部補修を実施した。 ・主催リーダーシップキャンプ　プログラムスペース安全管理 ・スロープ部分の柵追加作業を行った。 ・倒木リスクのある枯れ木、朽木の確認、強風による折れた枝の処理を実施した。 ・台風後のコース安全点検 ・歩道周辺、林間広場の草刈り作業 ・イノシシ対応としての施設巡回　3回/日
10～3月	・所内遊歩道の歩行面安全点検や一部補修を実施した。 （遊歩道および周辺イノシシ掘り返し被害の修繕作業） ・倒木リスクのある枯れ木、朽木の確認、強風による折れた枝の処理を継続して実施した。 ・台風や強風後のコース安全点検 ・歩道周辺、林間広場の草刈り作業、イノシシ対策としての林道周辺の藪刈り込み作業（継続） ・イノシシ対応としての施設巡回　事業運営スタッフ：1回～/日、維持管理スタッフ：2回/日

・所内のプログラム備品や器材等の点検を随時実施し、劣化した消耗品等の更新を行った。

実施日	内容
4月	・野外炊飯道具のメンテナンス（器材メンテナンス：まな板漂白、鍋研磨、青カゴの洗浄） ・プロジェクトアドベンチャー用具の劣化点検、適宜メンテナンス ・所内掲示物で劣化したものの更新、所内掲示の案内看板の修正、必要に応じて追加設置 ・野外炊飯や主催事業の調理器具、器材の安全点検を実施（毎使用時に適宜実施） ・プレイホール倉庫のプログラムで使用する器具や備品の点検を随時実施した。 ・クラフト室・実習室倉庫内のプログラム備品の劣化確認、一部交換（鋸刃、カッター刃、やすり） ・学習室AB内のプログラム備品点検、テーブルゲーム類のメンテナンス ・サービスセンター前 家族クラフトスペースで使用する工具や備品の点検、更新、追加 ・所内外のハイキング、オリエンテーリング劣化看板のメンテナンス
5月	・野外炊飯道具のメンテナンス（器材メンテナンス：まな板漂白、鍋・フライパンのコゲ取り研磨、刃物類の研磨作業） ・プロジェクトアドベンチャー用具の劣化点検、適宜メンテナンス（スポットマーカー消毒洗浄等） ・所内掲示物で劣化したものの更新、所内掲示の案内看板の修正、必要に応じて追加設置 ・野外炊飯や主催事業の調理器具、器材の安全点検を実施（毎使用時に適宜実施、劣化品の交換） ・プレイホール倉庫のプログラムで使用する器具や備品の点検を実施し、適宜メンテナンスを実施 （クライミングウォール備品、バトミントンラケットガット張替え、卓球ラケット・ネットメンテナンス、バスケットボール更新、その他劣化消耗品の適宜更新等） ・クラフト室・実習室倉庫内のプログラム備品の劣化確認、一部交換 ・学習室AB内のプログラム備品点検、テーブルゲーム類のメンテナンス ・サービスセンター前 家族クラフトスペースで使用する工具や備品の点検、更新、追加 ・所内外のハイキング、オリエンテーリング劣化看板の更新
6月	・野外炊飯道具のメンテナンス（継続作業：器材メンテナンス全般：まな板漂白、鍋・フライパンのコゲ取り研磨、刃物類の研磨） ・プロジェクトアドベンチャー用具の劣化点検、適宜メンテナンス（小物器具の洗浄随時） ・所内掲示物で劣化したものの更新、所内掲示の案内看板の修正、必要に応じて追加設置（適宜実施） ・野外炊飯や主催事業の調理器具、器材の安全点検を実施（毎使用時に適宜実施、劣化品の交換） ・プレイホール倉庫のプログラムで使用する器具や備品の点検を実施し、適宜メンテナンスを実施 （クライミングウォール備品、バトミントンラケットガット張替え、卓球ラケット修理、その他劣化消耗品の適宜更新等） ・クラフト室・実習室倉庫内のプログラム備品の劣化確認、一部交換（鋸刃、カッター刃、ドリルビット、卓上ボール盤修理） ・学習室AB内のキャンドルサービス燭台修理 ・集いのホール内のキャンドルサービス用燭台メンテナンス、ドミノ収納箱更新 ・サービスセンター前 家族クラフトスペースで使用する工具や備品の点検、劣化品の一部更新、追加 （金ヤスリ、ポスターカラー、接着剤等の消耗品メンテナンス） ・所内外のハイキング、オリエンテーリング劣化看板の更新、看板周りの除草作業、コース上の枝折れ処理、倒木処理（長柄町へ連絡）等

7月	・野外炊飯道具のメンテナンス（継続作業：器材メンテナンス全般：まな板漂白、鍋・フライパンのコゲ取り研磨、刃物類の研磨、青カゴ洗浄） ・プロジェクトアドベンチャー用具の劣化点検、適宜メンテナンス（器具の洗浄随時） ・所内掲示物で劣化したものの更新、所内掲示の案内看板の修正、必要に応じて追加設置（適宜実施） ・野外炊飯や主催事業の調理器具、器材の安全点検を実施（毎使用時に適宜実施、劣化品の交換） ・プレイホール倉庫のプログラムで使用する器具や備品の点検を実施し、適宜メンテナンスを実施 （クライミングウォール備品：ヘルメット、ロープ類、管理ベルト類、バトミントンラケットガット張替え、卓球ラケット修理、その他劣化消耗品の適宜更新等） ・クラフト室・実習室倉庫内のプログラム備品の劣化確認、一部交換（鋸刃、カッター刃、ドリルビット） ・集いのホール、学習室AB内のキャンドルサービス用燭台メンテナンス ・サービスセンター前 家族クラフトスペースで使用する工具や備品の点検、劣化品の一部更新、追加 （金ヤスリ、ポスターカラー、接着剤等の消耗品メンテナンス） ・所内外のハイキング、オリエンテーリング劣化看板の更新、看板周りの除草作業、コース上の枝折れ処理、倒木処理（権現の森遊歩道：長柄町へ連絡）等
8月	・野外炊飯道具のメンテナンス（継続作業：器材メンテナンス全般：鍋・フライパンのコゲ取り研磨、刃物類の研磨） ・所内掲示物で劣化したものの更新、所内掲示の案内看板の修正、必要に応じて追加設置（適宜実施） ・野外炊飯や主催事業の調理器具、器材の安全点検を実施（毎使用時に適宜実施、劣化品の交換） ・プレイホール倉庫のプログラムで使用する器具や備品の点検を実施し、適宜メンテナンスを実施 （クライミングウォール備品：ヘルメット、ロープ類、管理ベルト類、バトミントンラケットガット張替え、卓球ラケット修理、その他劣化消耗品の適宜更新等） ・クラフト室倉庫内のプログラム備品の劣化確認、一部交換（カッター刃、ドリルビット、ヤスリ） ・集いのホール、学習室AB内のキャンドルサービス用燭台メンテナンス（トーチ焼入れ清掃） ・サービスセンター前 家族クラフトスペースで使用する工具や備品の点検、劣化品の一部更新、追加 （金ヤスリ、ポスターカラー、接着剤等の消耗品メンテナンス） ・所内外のハイキング、オリエンテーリング劣化看板の更新、看板周りの除草作業、コース上の枝折れ処理、倒木処理（権現の森遊歩道：長柄町へ連絡）、台風後の安全点検等
9月	・野外炊飯道具のメンテナンス（継続作業：器材メンテナンス全般：鍋・フライパンのコゲ取り研磨、刃物類の研磨） ・所内掲示物で劣化したものの更新、所内掲示の案内看板の修正、必要に応じて追加設置（適宜実施） ・野外炊飯や主催事業の調理器具、器材の安全点検を実施（毎使用時に適宜実施、劣化品の交換） ・イノシシ対策掲示物　更新 ・プレイホール倉庫のプログラムで使用する器具や備品の点検を実施し、適宜メンテナンスを実施 （クライミングウォール備品：ヘルメット修理、ロープ類点検、管理ベルト類点検、卓球ラケット修理、その他劣化消耗品の適宜更新等） ・クラフト室倉庫内のプログラム備品の劣化確認、一部交換（ドリルビット、ヤスリ） ・プレイホールのキャンドルサービス用燭台メンテナンス（トーチ焼入れ清掃） ・サービスセンター前 家族クラフトスペースで使用する工具や備品の点検、劣化品の一部更新、追加 （金ヤスリ、ポスターカラー、接着剤等の消耗品メンテナンス） ・所内外のハイキング、オリエンテーリング劣化看板の更新、看板周りの除草作業、コース上の枝折れ処理、倒木処理（権現の森遊歩道：長柄町へ連絡）、台風・強風後の安全点検等
10月	・野外炊飯道具のメンテナンス（継続作業：器材メンテナンス全般：鍋・フライパンのコゲ取り研磨、刃物類の研磨） ・所内掲示物で劣化したものの更新、所内掲示の案内看板の修正、必要に応じて追加設置（適宜実施） ・野外炊飯や主催事業の調理器具、器材の安全点検を実施（毎使用時に適宜実施、劣化品の交換） ・イノシシ対策掲示物　継続 ・プレイホール倉庫のプログラムで使用する器具や備品の点検を実施し、適宜メンテナンスを実施 （クライミングウォール備品：ヘルメット修理、ロープ類点検、管理ベルト類点検、卓球ラケット修理、その他劣化消耗品の適宜更新等） ・クラフト室倉庫内のプログラム備品の劣化確認、一部交換（ドリルビット、ヤスリ、のこぎり） ・集いのホール/学習室ABのキャンドルサービス用燭台メンテナンス（トーチ焼入れ清掃） ・サービスセンター前 家族クラフトスペースで使用する工具や備品の点検、劣化品の一部更新、追加 （ポスターカラー、接着剤等の消耗品メンテナンス） ・所内外のハイキング、オリエンテーリング劣化看板の更新、看板周りの除草作業、コース上の枝折れ処理、倒木処理（権現の森遊歩道：適宜長柄町へ連絡）、強風後の安全点検等 ・プログラム用テント、テント泊用寝袋の整備、点検作業を実施。不良テントについては新規テントへ更新した。（7張）
11月	・野外炊飯道具のメンテナンス（継続作業：器材メンテナンス全般：鍋・フライパン・飯ごうのコゲ取り研磨、刃物類の研磨） ・所内掲示物で劣化したものの更新、所内掲示の案内看板の修正、必要に応じて追加設置（適宜実施） ・野外炊飯や主催事業の調理器具、器材の安全点検を実施（毎使用時に適宜実施、劣化品の交換） ・イノシシ対策掲示物　継続 ・プレイホール倉庫のプログラムで使用する器具や備品の点検を実施し、適宜メンテナンスを実施 （クライミングウォール備品：ヘルメット修理、ロープ類点検、管理ベルト類点検、その他劣化消耗品の適宜更新等）

	・クラフト室倉庫内のプログラム備品の劣化確認、一部交換（筆、絵の具類、キリ） ・集いのホール/学習室ABのキャンドルサービス用燭台メンテナンス（トーチ焼入れ：定期清掃） ・サービスセンター前 家族クラフトスペースで使用する工具や備品の点検、劣化品の一部更新、追加 （ポスターカラー、接着剤等の消耗品メンテナンス） ・所内外のハイキング、オリエンテーリング劣化看板の更新、コース上の枝折れ処理、倒木処理（所内遊歩道周辺）、強風後の安全点検等 ・プログラム用新規入れ替えのテントの設営点検（7張）、テント泊用寝袋の整備、その他キャンプ用品の点検作業を実施。
12月	・野外炊飯道具のメンテナンス（継続作業：器材メンテナンス全般：鍋・フライパン・飯ごうのコゲ取り研磨、刃物類の研磨）継続作業 ・所内掲示物で劣化したものの更新、所内掲示の案内看板の修正、必要に応じて追加設置（適宜実施） ・野外炊飯や主催事業の調理器具、器材の安全点検を実施（毎使用時に適宜実施、劣化品の交換） ・イノシシ対策掲示物　継続 ・プレイホール倉庫のプログラムで使用する器具や備品の点検を実施し、適宜メンテナンスを実施 （クライミングウォール備品安全点検：ヘルメット修理、ロープ類点検、管理ベルト類点検、その他劣化消耗品の適宜更新等：学校指導サポート時、クライミングウォール活動終了時） ・クラフト室倉庫内のプログラム備品の劣化確認、一部交換（筆、絵の具類、クレヨン、ホットボンド） ・集いのホール/学習室ABのキャンドルサービス用燭台メンテナンス（トーチ焼入れ：定期清掃） ・サービスセンター前 家族クラフトスペースで使用する工具や備品の点検、劣化品の一部更新、追加 （ポスターカラー、接着剤等の消耗品メンテナンス、工具類の点検） ・所内外のハイキング、オリエンテーリング劣化看板の更新、コース上の枝折れ処理、倒木処理（所内遊歩道周辺）、強風後の安全点検等
1月	・野外炊飯道具のメンテナンス（継続作業：器材メンテナンス全般：フライパン・飯ごうのコゲ取り研磨、刃物類の研磨）継続作業 ・所内掲示物で劣化したものの更新、所内掲示の案内看板の修正、必要に応じて追加設置（適宜実施） ・野外炊飯や主催事業の調理器具、器材の安全点検を実施（毎使用時に適宜実施、劣化品の交換） ・イノシシ対策掲示物　継続 ・プレイホール倉庫のプログラムで使用する器具や備品の点検を実施し、適宜メンテナンスを実施 （クライミングウォール備品安全点検：ヘルメット修理、ロープ類点検、管理ベルト類点検、その他劣化消耗品の適宜更新等：学校指導サポート時、クライミングウォール活動終了時に実施） ・クラフト室倉庫内のプログラム備品の劣化確認、一部交換（カッター、絵の具、ポスカ、ボンド類） ・プレイホール／学習室ABのキャンドルサービス用燭台メンテナンス（トーチ焼入れ：定期清掃） ・サービスセンター前 家族クラフトスペースで使用する工具や備品の点検、劣化品の一部更新、追加 （ポスターカラー等の消耗品メンテナンス、工具類の点検、入替） ・所内外のハイキング、オリエンテーリング劣化看板の更新、コース上の枝折れ処理、倒木処理（所内遊歩道周辺）、強風後の安全点検等
2月	・野外炊飯道具のメンテナンス（継続作業：器材メンテナンス全般：フライパン・飯ごうのコゲ取り研磨、刃物類の研磨）継続作業 ・所内掲示物で劣化したものの更新、所内掲示の案内看板の修正、必要に応じて追加設置（適宜実施） ・野外炊飯や主催事業の調理器具、器材の安全点検を実施（毎使用時に適宜実施、劣化品の交換） ・イノシシ対策掲示物　継続 ・プレイホール倉庫のプログラムで使用する器具や備品の点検を実施し、適宜メンテナンスを実施 （クライミングウォール備品安全点検：ヘルメット修理、ロープ類点検、管理ベルト類点検、その他劣化消耗品の適宜更新等：学校指導サポート時、クライミングウォール活動終了時に実施） ・クラフト室倉庫内のプログラム備品の劣化確認、一部交換（カッター、絵の具、ポスカ、ボンド類） ・プレイホール／学習室ABのキャンドルサービス用燭台メンテナンス（トーチ焼入れ：定期清掃） ・サービスセンター前 家族クラフトスペースで使用する工具や備品の点検、劣化品の一部更新、追加 （ポスターカラー等の消耗品メンテナンス、工具類の点検、入替） ・所内外のハイキング、オリエンテーリング劣化看板の更新、コース上の枝折れ処理、倒木処理（所内遊歩道周辺）、強風後の安全点検等 ・令和7年度に提供する新規プログラム等の準備作業を行った。
3月	・野外炊飯道具のメンテナンス（継続作業：器材メンテナンス全般：刃物類の研磨）継続作業 ・所内掲示物で劣化したものの更新、所内掲示の案内看板の修正、必要に応じて追加設置（適宜実施） ・野外炊飯や主催事業の調理器具、器材の安全点検を実施（毎使用時に適宜実施、劣化品の交換） ・イノシシ対策掲示物　継続 ・プレイホール倉庫のプログラムで使用する器具や備品の点検を実施し、適宜メンテナンスを実施 （クライミングウォール備品安全点検：ヘルメット修理、ロープ類点検、管理ベルト類点検） ・クラフト室倉庫内のプログラム備品の劣化確認、一部交換（カッター、絵の具、ポスカ類） ・サービスセンター前 家族クラフトスペースで使用する工具や備品の点検、劣化品の一部更新、追加 （消耗品メンテナンス、工具類の点検、入替） ・所内外のハイキング、オリエンテーリング劣化看板の更新、コース上の枝折れ処理、倒木処理（所内遊歩道周辺）、強風後の安全点検等 ・令和7年度に提供する新規プログラム等の準備作業を継続

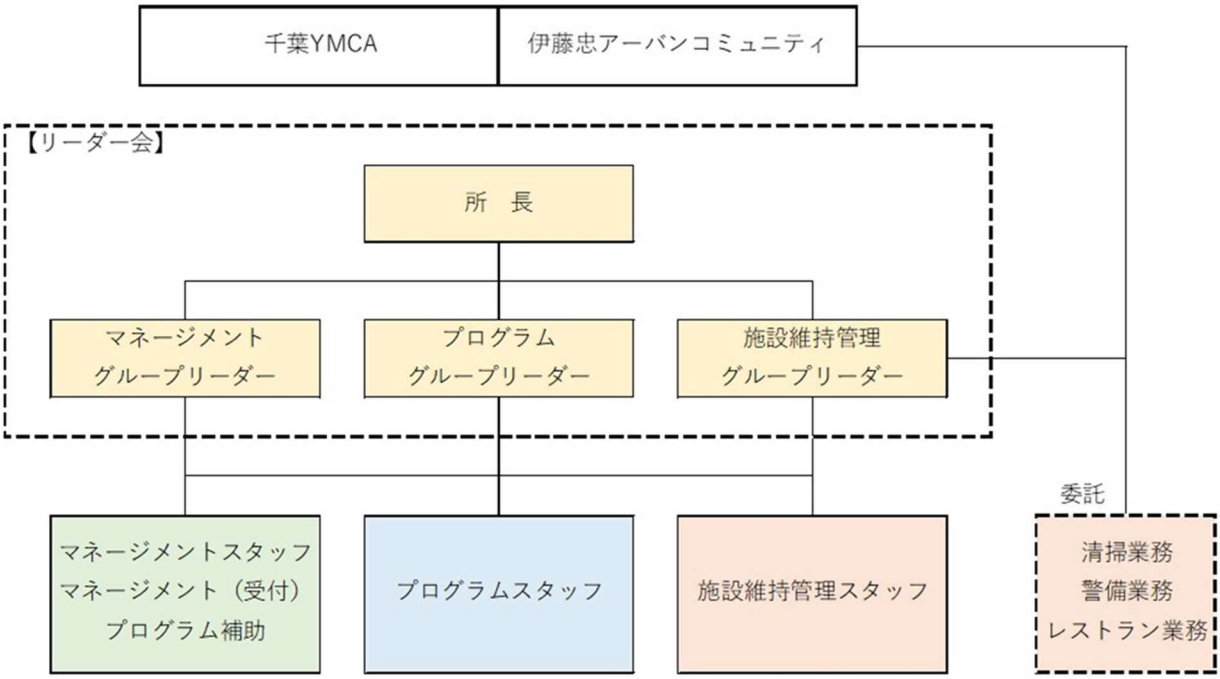
２．　施設の管理体制

２．１　組織体制

２．１．１　管理運営の執行体制

（１）全般

・「施設運営」は千葉ＹＭＣＡ、「維持管理」は伊藤忠ＵＣが担った。「清掃業務」「警備業務」「レストラン業務」は委託を行った。



（２）従事者一覧（令和7年3月末日時点）

No.	職種(職名)	人数	雇用形態	担当業務の内容
1	所長	1 名	常勤	統括責任者
2	マネージメントグループリーダー(ML)	1 名	常勤	マネージメント関係全般･庶務
3	マネージメントスタッフ	4 名	常勤	主に支援業務等
4	マネージメントスタッフ(受付)	4 名	常勤	主に受入業務等(受付)
5	プログラム補助	5 名	非常勤	主に支援業務等
6	プログラム補助(障がい者雇用)	1 名	非常勤	主に受入業務等
7	プログラムグループリーダー(PL)	1 名	常勤	プログラム関係全般･庶務
8	プログラムスタッフ	5 名	常勤	主に主催･自主事業等
9	維持管理グループリーダー	1 名	常勤	維持管理関係全般
10	維持管理スタッフ	6 名	常勤	施設維持管理等
11	維持管理スタッフ	2 名	非常勤	施設維持管理等
	計	31 名		

（３）人員配置

・施設利用者の利便性や安全性に十分に配慮するとともに、利用者の様々なニーズに対応できる人員配置（シフト）とした。また、積雪予想時等の緊急時体制を見直し、状況に合わせたスタッフ体制を構築した。

（４）諸会議

会議体(開催頻度)	実施日	備考
構成企業全体会	4 月	書面開催(千葉 YMCA、伊藤忠 UC、東洋食品、セイビ) 運営業務／維持管理業務 情報共有、運営マニュアル配布～説明
リーダー会議 (隔週または必要に応じて)	4/1	3 名:4 月予定、利用者からの指摘事項への対応、イノシシ侵入跡～対策、全体職員会の書面開催について、その他情報共有
	4/15	4 名:4～6 月の日程確認、研修、春のわいわいフェスティバル進捗状況、GW 対策検討
	5/13	3 名:5 月予定、不備チラシの回収状況確認、緊急時対応、利用者アンケート指摘事項への対応、その他情報共有
	5/27	4 名:6～7 月の日程確認、事業運営協議会、運営委員会・三社会に関する協議、その他業務進捗状況確認
	6/10	4 名:6 月予定、利用者アンケート指摘事項への対応、三社会議題、その他情報共有
	6/24	3 名: 7 月の日程確認、三社会検討事項の確認、事業運営協議会、運営委員会準備、その他業務進捗状況確認
	7/4	4 名:7～8 月予定、利用者アンケート指摘事項への対応、事業運営協議会、その他情報共有
	7/24	3 名: 夏季休業期間の日程、三社会検討事項、その他業務進捗状況、熱中症対策
	8/6	5 名: 8～9 月予定、利用者アンケート指摘事項への対応、運営～維持管理業務全般の計画履行進捗確認、夏休み対応～課題、その他情報共有
	8/23	4 名: 夏季休業期間の利用者指摘、台風10号対応、三社会検討事項、その他業務進捗状況、熱中症対策、地震等の緊急時対応
	8/26	6 名:トラスティフード 1 名含む、利用者対応への改善策検討、指定管理最終年度課題の確認、その他
	9/2	3 名: 9 月予定、台風対応、利用者アンケート指摘事項への対応、運営～維持管理業務全般の計画履行進捗確認、夏休み対応～課題、その他情報共有
	9/17	3 名: 夏季休業期間の利用者指摘、台風10号対応、三社会検討事項、その他業務進捗状況、熱中症対策
	10/8	4 名: 10 月予定、スズメバチ/イノシシ対応、利用者アンケート指摘事項への対応、運営～維持管理業務全般の計画履行進捗確認、その他情報共有
	10/14	3 名: 秋のわいわいフェスティバル進捗確認、その他業務進捗状況
	11/6	4 名: 11 月予定、イノシシ対応、運営～維持管理業務全般の計画履行進捗確認、その他情報共有
	11/22	3 名: イノシシ対応(地元猟友会への依頼、罠増設)、利用者アンケート指摘事項への対応、その他課題への対応検討
	12/9	4 名: 12～1 月予定、イノシシ対応、運営～維持管理業務全般の計画履行進捗確認、その他情報共有
	12/26	4 名: 休館日(年末年始)緊急時対応の確認、利用者アンケート指摘事項への対応、その他課題への対応検討
	1/6	3 名: 1～2 月予定、次期指定管理準備作業確認、情報共有
	1/24	3 名: 1/30 運営委員会報告内容の確認、利用者アンケート指摘事項への対応、その他課題への対応検討
	2/3	3 名: 2～3 月予定、業務進捗確認、研修確認、情報共有
	2/21	4 名:業務進捗確認、3 月研修内容共有、利用者アンケート指摘事項への対応、その他課題への対応検討
	3/13	4 名: 3～5 月予定～進捗確認、事業運営協議会課題、情報共有
	3/31	4 名:業務進捗確認、利用者アンケート指摘事項への対応、課題対応、次年度目合わせ
運営委員会 (隔月開催)	4/23 6/26	千葉市 3 名、千葉 YMCA4 名、IUC2 名 千葉市 3 名、千葉 YMCA4 名、IUC3 名
	9/19	千葉市 2 名、千葉 YMCA4 名、IUC3 名 午前:運営委員会、午後:モニタリング
	11/25	千葉市 2 名、千葉 YMCA4 名、IUC3 名
	1/30	千葉市 2 名、千葉 YMCA4 名、IUC3 名
	3/17	千葉市 2 名、千葉 YMCA5 名、IUC3 名 午前:運営委員会、午後:モニタリング

運営部門全体ミーティング(月 1 回)	4/8	16 名:諸会議記録の確認、利用者からの指摘内容、主催事業各担当者からの情報共有、業務に関する課題～改善策、研修内容確認
	5/7	15 名:諸会議記録の確認、ゴールデンウィーク利用者対応の振り返り、利用者からの指摘内容、主催事業各担当者からの情報共有、業務に関する課題～改善策、研修内容確認
	6/4	17 名:諸会議記録の確認、利用者からの指摘内容、主催事業各担当者からの情報共有、業務に関する課題～改善策
	7/4	15 名:諸会議記録の確認、利用者からの指摘内容、主催事業各担当者からの情報共有、業務に関する課題～改善策
	8 月書面開催	諸会議記録からの情報共有全般、利用者からの指摘内容ほか
	9/11	16 名:諸会議記録からの情報共有、利用者からの指摘内容ほか 令和 7 年度受付、各主催事業進捗、害獣対応への検討
	10/9	16 名:諸会議記録からの情報共有、利用者からの指摘内容ほか 令和 7 年度受付、各主催事業進捗、害獣/スズメバチ対応
	11/8	15 名:諸会議記録からの情報共有、利用者からの指摘内容ほか 各主催事業進捗、害獣対応他
	12/6	16 名:諸会議記録からの情報共有、利用者からの指摘内容ほか 各主催事業進捗、次年度計画、プログラム開発、害獣対応他
	1/10	15 名:諸会議記録からの情報共有、利用者からの指摘内容ほか 各主催事業進捗、次年度計画、プログラム開発、害獣対応他
	2/7	15 名:諸会議記録からの情報共有、利用者からの指摘内容ほか 各主催事業進捗、次年度に向けた準備作業進捗、プログラム開発、害獣対応
	3/11	12 名:諸会議記録確認、利用者からの指摘内容、次年度に向けた準備作業進捗、事業運営協議会、学校対応
維持管理部門全体ミーティング (月1回)	4/12	7 名:維持管理業務全般・諸会議記録からの情報共有、業務確認
	5/10	5 名:維持管理業務全般・諸会議記録からの情報共有、業務確認
	6/14	8 名:維持管理業務全般・諸会議記録からの情報共有、業務確認
	7/12	8 名:維持管理業務全般・諸会議記録からの情報共有、業務確認
	8/9	7 名:維持管理業務全般・諸会議記録からの情報共有、業務確認
	9/13	7 名:維持管理業務全般・諸会議記録からの情報共有、業務確認
	10/11	6 名:維持管理業務全般・諸会議記録からの情報共有、業務確認
	11/11	6 名:維持管理業務全般・諸会議記録からの情報共有、業務確認
	12/16	8 名:維持管理業務全般・諸会議記録からの情報共有、業務確認
	1/17	5 名:維持管理業務全般・諸会議記録からの情報共有、業務確認
	2/14	8 名:維持管理業務全般・諸会議記録からの情報共有、業務確認
	3/6	6 名:維持管理業務全般・諸会議記録からの情報共有、業務確認
三社会 (隔月)	6/20	9 名:7～8 月予定、利用者アンケート指摘事項の共有～対応検討、事業運営協議会、業務課題他
	8/2	8 名:～9 月予定、利用者アンケート(5～7 月)対応検討、指定管理者業務計画進捗状況確認、業務改善への検討
	8/8	6 名:指定管理最終年度における業務進捗状況、前回検討課題への対応他
	8/20	6 名:台風対応についての情報共有、前回検討課題への対応～改善案、利用者アンケート、イノシシ対応、その他
	1/9	7 名:臨時回　次期指定管理に関して
	1/21	10 名: 2～3 月日程確認、各部門報告、協議検討他
	3/6	6 名:維持管理業務全般・諸会議記録からの情報共有、業務確認

その他の会議、ミーティング等

会議体	実施日	備考
広報ミーティング	4/8	広報担当スタッフ：令和5年度広報チーム体制、ゆくっと、ホームページの確認 ・所報「ゆくっと」の今後の掲載内容、構成について検討 ・ホームページレイアウト、掲載内容等の検討 ・施設紹介、チラシ、事業広告の掲載先の確認、各進捗状況の報告 ・利用者からの問い合わせに対応した施設情報の提供について検討 （HP、主催事業の情報提供、所報内容）
	5/7	
	6/4	
	7/4	
	8/6	
	9/11	
	10/9	
	11/8	
	12/16	
	1/10	
	2/7	
	3/11	
プログラムミーティング	4/9	プログラム担当スタッフ間で主催事業などに関する業務内容を確認
	5/7	
	1/10	次年度に向けたプログラム、主催事業に関する意見交換
	2/3	
	3/11	
農業担当者ミーティング（農業委員会）	4月書面	農業委員会（農業担当スタッフ9名+外部委員：運営協力農業従事者6名） ・令和5年度報告、令和6年度計画の情報共有、害獣対策についての質疑応答
	適宜	主催事業・自主事業に向けた田畑、農作業デー作業内容、害獣対策、害獣被害によるプログラム代替案の検討ほか
学校担当ミーティング	4/9	・学校の調整担当スタッフ間でのコーディネート業務の確認
マネージメントミーティング（GW対応）	5/2	ゴールデンウィーク中の利用者へのプログラム提供方法、フリープログラムの展開、受付周りの対応全般について検討
新規プログラム検討会	1/22	次年度に向けたプログラムの新規開発、内容変更（訂正）、削除についての検討会議
ジョイントキャンプ実行委員会	6/19	教育センターとの共催事業「ジョイントキャンプ」の実行委員会に参加。事業内容について検討
	7/3	
	9/4	
	11/13	
	12/18	
	1/11、29	
	2/5	
ジョイントキャンプ引率者打合せ	10/2	教育センターとの共催事業「ジョイントキャンプ」の引率者打合せに参加
関東甲信越地区青少年教育施設協議会	7/9	令和6年度　総会へ参加
長柄町農林商工まつり実行委員会	9/5	長柄町のプログラム資源とグリーンツーリズムとのプログラム連携検討、農林商工まつり実行委員会へ参加

（５）管理運営業務の再委託

管理運営業務において再委託する作業は、添付資料２「令和６年度　維持管理業務年間実績表」参照

２．１．２　専門スタッフの配置

（１）施設維持管理業務における資格者の配置（令和7年3月末日時点）

資格	法令	人数	配置方法
防火防災管理者	消防法	1名	(常駐)所長
建築物環境衛生管理技術者	建築物における衛生的環境の確保に関する法律	1名	(常駐)維持管理
電気主任技術者	電気事業法	1名	(常駐)維持管理
電気工事士	電気工事士法	4名	(常駐)維持管理
ボイラー技士	労働安全衛生法	1名	(常駐)維持管理
1号警備現任教育修了者	警備業法	2名	(常駐)維持管理
危険物取扱者	消防法	2名	(常駐)維持管理
普通救命講習受講者	応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱	全スタッフ	(常駐)運営・維持管理
安全衛生推進者	労働安全衛生法	1名	(常駐)運営

（２）運営業務における資格者の配置（令和7年3月末日時点）

資格	法令	人数	配置方法
小学校教諭1種免許状	教員免許法	3名	(常駐)運営業務
中学校教諭1種免許状	教員免許法	7名	(常駐)運営業務
応急手当普及員	―	1名	(常駐)運営業務
キャンプディレクター1級	―	3名	(常駐)運営業務
キャンプインストラクター	―	4名	(常駐)運営業務
プロジェクトアドベンチャー指導者	―	7名	(常駐)運営業務

２．１．３　スタッフの能力向上

（１）基本研修

研修名		対象	頻度	実施日:人数
ホスピタリティ	接客接遇・マナー研修	全スタッフ	年1回	・3/7:28名　受付業務の基本となるホスピタリティ、マナー、接客動作等を学び、今後の接客に活かすことを目的として実施した。(未参加スタッフ:資料による研修を実施)
	利用者対応研修	全スタッフ	年1回	・4/8:19名　利用者対応への研修（野外炊飯対応、野炊関連施設・備品の使用、キャンプサイトの利用者対応の目合わせ) ・4/9：24名　利用者対応への研修（宿泊棟対応、退室点検時の確認内容の目合わせ)
安全	普通救命講習	全スタッフ	年1回	・3/3:27名　長生郡市広域市町村圏組合　消防本部警防課による心肺蘇生法とAEDの取り扱い、応急手当等の研修を実施
	消防訓練・避難訓練	全スタッフ	年2回	・9/17:21名　実技避難誘導訓練:通報・消火活動 ・3/7:22名　火災発報時、全スタッフが防災盤の操作・通報・初期消火・避難誘導及び消防指令センターへの通報方法を習得する。また、防災盤(サービスセンター1F)の使用方法の習得と各消防設備機器の確認、緊急時対応の流れについてのスタッフ間の目あわせをおこなった。
	個人情報保護研修	全スタッフ	年1回	・2/18:22名　当施設の個人情報の取り扱いに関する対応、情報公開事務制度と個人情報保護への理解を目的として研修をおこなった。
	食物アレルギー研修	全スタッフ	年1回	・2/18:28名　食物アレルギーへの理解と当施設の対応、緊急時のスタッフの動きとエピペンの使用方法、応急処置について研修をおこなった。

	感染症予防対策研修	全スタッフ	年1回	・4月書面開催:4/1改訂　運営マニュアル、新型コロナウイルス、感染症対応に関する資料を全スタッフへ配布し、各社ミーティング内で情報共有
専門分野	小集団理解・対象理解	運営	年1回	・8/20～23:1名　主催「リーダーシップキャンプ」 参加者(対象)年代や特性を理解し、適切なプログラムを立案し、展開することによって、グループを引率する子どもキャンプを実地体験とし、運営する研修機会とした。また、参加者への対応やプログラム指導、安全管理等の指導者としての役割を、体験を通して学ぶ機会とした。
	指導者の役割	運営	年1回	・8/20～23:1名　主催「リーダーシップキャンプ」 対象に合わせた適切なプログラム指導や安全管理等の指導者としての役割について体験を通して学んだ。 ・11/12:1名 「キャンプと防災を考える～思考編～」オンラインでの講義 主催事業を企画するにあたっての防災視点、リスクマネジメントについての研修とした。また、今年度主催事業「防災キャンプ」を実施するに辺り、参加者へ防災意識の向上へ資するイベントとするためにどのような考えが必要か学ぶことを目的とした。
	野外プログラム 指導技術研修	運営	適宜	1/27～29 市内学校指導サポート型プログラム:脱穀籾摺り精米体験～オプション ポン菓子づくり:脱穀籾摺り精米体験プログラム使用器材取り扱い、指導の流れ、オプションプログラムとしてのポン菓子作成～プログラム指導の流れ、リスクマネジメント他(OJT参加:5名)
その他	千葉市指定管理者 研修会	運営 維持管理	年1回	・2/13:千葉YMCA・伊藤忠UCグループ3名 (オンライン参加3名)
	他の青少年教育施設への訪問研修	運営 維持管理	適宜	・4/26:1名　おやこふらっとひろば西、こべっこあそびひろば西神中央（神戸市：神戸YMCA指定管理施設） あかしこども広場（明石市：神戸YMCA指定管理施設） 和泉市立青少年の家（和泉市：大阪YMCA指定管理施設） ・10/19：1名　埼玉県立小川げんきプラザへ視察研修 ・1/26：1名　栃木JIMINIE倶楽部 自然の家みかも（栃木県立みかも自然の家）視察研修 ・2/26:1名　鶴見中央地域ケアプラザを訪問
	全国・関東甲信越地区青少年教育施設協議会への研修参加	運営	年2回	・6/8:1名　国立オリンピック記念青少年総合センター訪問 ・7/9:1名　関東甲信越地区青少年教育施設協議会 第18回総会・研修会への参加。茨城県立さしま少年自然の家を訪問
	フォローアップ研修	運営 維持管理	年2回	・4/3　3名:クライミングウォールプログラム指導スキルのフォローアップ研修(クライミング指導者養成講座 研修参加) ・4/14　2名:クライミングウォールプログラム指導スキルのフォローアップ研修(クライミング指導者養成講座 研修参加) ・6/20　10:30～12:30　1名 草木染め(ビワの葉染め)ワークショップ:外部専門講師による「草木染め」ワークショップに参加し、利用学校に提供している「草木染め」プログラムの指導のためのスキルや知識を体験を通して学んだ。
	外部研修 (詳細は、専門スキルプラスワン研修参照)	運営	適宜	

・スタッフ間OJT　適宜実施

防災、害獣対策、利用者への情報提供内容、緊急時対応全般：救急車対応、夜間緊急時対応、各種提供プログラム指導法、各種提供プログラム指導法、「主催事業ワンデー農業」ポン菓子機の使用方法、脱穀籾摺り精米体験プログラム使用器材取り扱い、指導の流れ、リスクマネジメント他

（２）専門スキルプラスワン研修

＜全国YMCA 公益協働事業担当者会役員会＞

開催日及び参加者数：4/25　13：30～17：30　スタッフ1名

内 容：「神戸YMCAの公益協働事業の取組み」 講師 公益財団法人神戸YMCA　井上真二総主事

「兵庫県の指定管理者制度」 講師 兵庫県財務部県政改革課業務改革班　近藤直樹班長

＜公益社団法人日本キャンプ協会　キャンプカンファレンス＞

「これからの自然の家 ～持続可能な自然の家の未来について考える～」

開催日及び参加者数：6/26　19：00～21：00　スタッフ2名

内　容：「倉敷市自然の家」「尼崎市立美方高原自然の家」「熊本市立金峰山自然の家」の事例発表、およびそれを受けたグループディスカッションから学ぶ。

＜全国YMCA公益協働事業担当者会「YMCAが指定管理事業を行うメリットとデメリット、その意義」＞

開催日及び参加者数：6/27　13：00～15：00　スタッフ1名

内　容：全国のYMCAが指定管理・PFIで運営する施設の事例発表、およびそれを受けたグループディスカッションから学ぶ。

＜関東甲信越地区青少年教育施設協議会　研修会「LGBTと多様性の理解」＞

開催日及び参加者数：7/9　スタッフ1名

内　容：LGBTへの理解と取り組み、日本の現状と課題についての講義

＜防火・防災管理新規講習＞

開催日及び参加者数： 11/27(水)、28（木）スタッフ1名

内容：消防法施行規則第51条の7第3項に基づく、消防法施工令第3条第1項第1号の規定による甲種防火管理新規講習及び消防法施工令第47条第1項第1号の規定による防災管理新規講習

＜労務研修 「変形労働時間制について」＞

開催日及び参加者数：1/24 スタッフ1名

講　師：梶谷労務管理コンサルタント　梶谷和宏氏（社会保険労務士）

内　容：変形労働時間制の運用と留意点について学ぶ。

＜「法務から見た指定管理者」＞

開催日及び参加者数：2/25 スタッフ1名

講　師：出田・齋藤法律事務所 齋藤宙也氏（弁護士）

内　容：指定管理制度における法務について学ぶ

（３）リーダー会議　　２．１．１（４）諸会議参照

２．２　施設の維持管理

２．２．１　施設・設備の保守管理

（１）建築物【外部】

a.　作業報告

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
特殊建築物定期調査	5/22	―	特に指摘なし
サービスセンター棟 サイン柱改修工事	6/18～22	個別	※木材支柱入替（金属箱文字再利用）
あゆみ橋欄干（手摺）塗装	11/3～9	-	防腐塗料（キシラデコール）※自営補修
屋外分電盤・ソーラー外灯塗装工事	1/23～ 2/11	計画	ケレン、錆止め、仕上塗装

b.　不具合

不具合内容	日付	処理
集い棟・自然環境学習棟 各外階段エフロ汚れ	5/20	研磨、高圧洗浄清掃
あゆみ橋塗装	6/15～22	防腐塗料（キシラデコール）※自営作業完了
浴槽Ⅰ・Ⅱ屋外仕切り壁隅鉄部腐食	7/18	補修・塗装　　※自営作業完了
あゆみ橋 床板腐朽	10/13,16	床板（12 枚）交換　スリップ加工及び防腐塗装施工　　（キシラデコール）※自営修繕
南 PA モホークウォーク、ロープの弛み	3/15	ロープテンションの調整　完了

（２）建築物【内部】

a.　作業報告

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
電動リフト定期保守点検	4/5	-	異常なし
宿泊棟・リフレッシュ棟 防火シャッター蓄電池交換修繕	5/10	個別	予備電源蓄電池交換時期のため計 16 個交換
プレイホール棟　自動ドア修繕	5/31	個別	駆動モーター・レール・制御基板等取替
リフレッシュセンター棟 2F 自動ドア修繕	5/31	個別	センサー及びコントロール基板取替
サービスセンター棟 2F 各多目的トイレ自動ドア修繕	5/31	個別	センサー及びコントロール基板取替
炊飯場 A 倉庫側外壁木部塗装	6/2,3	－	防腐塗料（キシラデコール）※自営修理完了
サービスセンター棟 2F ﾛﾋﾞｰ手摺格子桟溶接剝がれ修繕	6/14	個別	※アルゴン溶接（ステンレス）
クライミングウォール安全点検	7/16	―	ロープ・カラビナ類交換
集いホール　天井ブラインド修繕	8/29	個別	5、7 番駆動モーター、コントローラー取替交換
プレイホール棟 ミニバスケットゴール板傾き調整	8/29	個別	傾き調整及び摺動部注油点検
厨房床面シート材剥離損傷修繕	8/29,30	個別	部分貼替　8 ヶ所
エレベーター定期点検	9/17,18	-	異常なし
宿泊棟玄関自動ドア外（17 番）修繕	10/16	個別	引分自動ﾄﾞｱ開閉装置、反射ｾﾝｻｰ(天井付)、光電ｾﾝｻｰﾍｯﾄﾞ交換
集い棟玄関自動ドア外（11 番）修繕	11/7	個別	開閉装置更新
集い棟玄関自動ドア外（34 番）修繕	11/20	個別	引き分け戸強化ガラス窓 1 枚交換
リフレシュシュセンター棟 宿泊側風除室自動ドア（43 番）修繕	11/29	個別	開閉装置更新

エレベーター定期点検	12/16～18	－	指摘事項なし
トイレ鉄扉・鉄部塗装工事	1/21～ 2/11	計画	ケレン・錆止め・仕上塗装
各所室内壁タイル剥がれ浮き補修	1/22	個別	プレイホール棟・宿泊棟・リフレッシュセンター棟の各室内壁タイル張替（現場在庫品使用）
宿泊棟１階倉庫室窓ガラス交換	1/23	個別	投石によるガラス破損
サービスセンター棟 ２F 風除室自動ドア（7 番）修繕	1/31	個別	自動ドア部品全交換（レール含む）
大浴場 ジャグジー グレーチング交換	2/12	個別	ジャグジー風呂周り樹脂製グレーチング入替
クライミングウォール安全点検	3/3～5	－	特になし
宿泊棟１F 各部屋引戸部品更新工事	3/4	個別	1 階 12 室について更新　完了
サービスセンター棟玄関風除室自動ドア（外側）更新工事	3/24	個別	機構部・制御部更新　完了

b. **不具合**

不具合内容	日付	処理
リフレッシュセンター棟 熱源機械室床面クラック	4/8～22	クラック箇所パテ埋め及び塗装補修
リフレッシュセンター棟 食堂売店側排煙窓操作ハンドル破損	5/6	予備品と取替修理　　※自営修理完了
サービスセンター棟 視聴覚室椅子固定ビスの外れ	5/24	取付直し
宿泊棟 202・203 部屋網戸破損	6/15	※自営修理完了
集い棟 ﾚｸﾙｰﾑ大扉ﾌﾗﾝｽ落とし金物損傷	6/22	※応急処置済み（部品取寄中）
野外炊飯場　釜戸レンガ剥がれ	7/1, 13	耐火レンガ交換　※自営修理完了
プレイホール棟　入口吊り戸脱輪	7/28	吊り戸取付直し※自営修理完了
サービスセンター棟 2F 特別室障子破れ	7/14	障子貼替　※自営修理完了
浴室Ⅱ籐カーペット腐食	8/3	2 枚部分張替え
集いホール棟 ステージ大扉フランス落とし損傷	8/29	金具部品取替　※自営修理完了
サービスセンター棟 ２F 視聴覚室メモ台スプリング破損	8/29	メモ台スプリング破損取替（18 ヶ所）　※自営修理完了
集いホール棟 正面自動ドア（11 番）閉鎖不良	9/25	内側センサー不良　※見積書取得中
宿泊側 211 号室網戸外れ	10/6	樹脂製ヒンジ交換にて復旧（部品の破損）
自然環境学習棟 2F 学習室障子破れ	10/8	障子紙貼替
リフレッシュセンター棟宿泊側風除室内側自動ドア閉鎖不良	10/9	仮処置復旧及び本復旧発注
集いホール棟　自動ドア（宿泊側 34 番）ガラス損壊	10/11	※破損原因：自然にガラスが割れた 処置：アクリル板補強及びガラス交換手配
宿泊棟　107・108 号室内窓開き調整器不良	10/23	調整器の交換にて復旧
自然環境棟 1F ｴﾚﾍﾞｰﾀｰﾎｰﾙ脇 ｼｰﾘﾝｸﾞ硬化不良	11/10	ｼｰﾘﾝｸﾞ再施工　※自営補修
大浴場 浴室Ⅱ シャワーヘッド掛け金具グラつき	11/17	取付直し　※自営補修
宿泊棟 1F 倉庫室窓ガラス投石損傷	12/16	応急処置済み（1/22 修理予定）
宿泊棟 106 号室網戸ヒンジ破損	12/20	部品交換　※自営補修

宿泊棟 206 号室網戸ヒンジ破損	12/22	部品交換　※自営補修
サービスセンター棟 2F 風除室自動ドア（6 番）自動ドア時々閉まらず	1/4	仮処置　※見積取得中
宿泊棟 202, 203 号室網戸ヒンジ破損	1/10	強風による網戸ヒンジ破損 ヒンジ部品交換　※自営補修
視聴覚室メモ台スプリング破損	2/2	スプリング外れ部品取替　※自営補修済み
リフレッシュセンター棟 １F 男子ﾄｲﾚ車椅子用ﾄﾞｱﾋﾝｼﾞ不良	2/18	折れ戸式ヒンジ止めビス取替　※自営補修済み
プレイホール棟 多機能トイレ自動ドア誤作動	2/21	点検結果コントローラー不良　※見積取得中
自然環境棟 実習室中庭出口ドアクローザー破損	2/26	応急処置及び部品手配中
宿泊棟 205 号室出入口ドア閉鎖不良	3/25	カームスライダーのワイヤーの引掛かりの ※自営補修済み　完了

（３）建築物【ログハウス】

a. 作業報告

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
ヒノキ 1 号棟～5 号棟一部軒樋取付	4/21	個別	ログ材腐朽対策
ミズキ 1 号棟玄関錠前調整	6/24	－	※シリンダ復旧
キャンプセンター棟デッキ修繕	11/27～30	個別	根太材・床材腐朽取替工事
ログハウス年次点検	11/14, 15	-	※点検報告書待ち
キャンプセンター棟 デッキ手摺塗装	12/5, 6	－	※自営補修
キャンプセンター棟 入口扉及び一部床板塗装	12/12	－	※自営補修
ログハウス年次点検指摘箇所修繕	1/28～	計画	ｸﾇｷﾞ棟・ﾋﾉｷ棟のﾉｯﾁ部、象嵌の補修完了
ログハウス外部ログ部塗装作業	1/21～31	―	ｱｶﾏﾂ 5 棟の北側外部塗装　※自営補修
ログハウス年次点検指摘箇所修繕	1/28～2/19	計画	ｸﾇｷﾞ棟・ﾋﾉｷ棟のﾉｯﾁ部、象嵌の補修完了
ログハウスアカマツ棟塗装作業	2/1～10	―	ｱｶﾏﾂ 1～5 棟の外壁塗装　※自営補修

b. 不具合

不具合内容	日付	処理
ログクヌギ 1 デッキ手摺支柱腐朽	4/10	手摺支柱交換　※自営修理完了
ログヒノキ 4 号棟網戸木枠破損	4/29	網戸枠補修及び網交換　※自営修理完了
キャンプセンター棟階段手すり塗装	5/2, 6, 26	腐朽対策
キャンプセンター棟階段手すり塗装	6/7, 9	手摺子交換後塗装
ミズキ 1 号棟玄関鍵折れ	6/21	※修理までの間、一時的にシリンダーを差替え
ログ炊飯場釜戸レンガ剥がれ	7/14	補修済み
タブノキ 1 デッキ手摺支柱腐朽	7/19	仮補強修理
キャンプセンター棟 デッキ鉄柱根元土台塗装劣化	7/21	コンクリート土台再塗装済

ログヒノキ２階段傷みあり	7/29	補修済み
クヌギ2・キャンプセンター棟2F ドア閉鎖不良	8/5	ドア枠と干渉、調整　※自営作業完了
キャンプセンター棟 変電室前、屋外床タイル剥がれ	9/8	現場在庫品　屋外タイル１枚交換
アカマツ４号棟窓桟木折損	10/25	木ビスにて補強固定
タブノキ３号棟デッキ手摺一部腐朽	11/27,28	自営補修（木材部分取替）
タブノキ３号棟デッキ手摺一部腐朽	12/9	手摺木部入替え　※自営補修
タブノキ１号棟デッキ手摺材腐朽	2/1～10	腐朽部取替修理　　※自営修理

（４）建築設備

a. 作業報告

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
冷温水発生機膨張タンク配管修繕	4/15	個別	配管交換（チャッキ弁・ゲートバルブ含む）
冷却塔水処理装置保守点検	4/17	-	指摘事項：薬品タンク及び電動弁の劣化
No,1 温水ボイラー風圧センサー修繕	4/18	個別	風圧センサー交換
印刷室エアコン修繕	4/22	個別	部品交換（膨張弁コイル・温度センサー等）
冷温水発生機保守点検	4/25	-	２号機のみ冷房へ切替
リフレッシュセンター棟 1F ゴミ置場空調機更新工事	5/16	個別	遠隔操作確認済
井水ろ過装置保守点検	5/16	―	指摘なし
建築設備定期点検	5/22	―	非常用蓄電池劣化指摘あり（20 ヶ所） ※蓄電池 手配中
上水・中水滅菌装置保守点検	6/13	–	異常なし
厨房ガス炊飯器不具合修繕	6/14	個別	左側ガス炊飯器上段釜センサー交換修理
サービスセンター棟 視聴覚室音響設備修繕	6/18	個別	ワイヤレス受信機・マルチプロセッサー各ユニット交換
No,2 冷温水発生機修繕	6/18～20	個別	冷媒ポンプ取替
宿泊棟　103 号室低温式感知器取替	6/21	個別	押入れ内感知器取替
厨房立体ガス炊飯器不具合修繕	7/23	個別	ｶﾞｽ炊飯器（左側下段）ｶﾞｽ遮断弁交換
浄化放流水の排水詰まり	8/2	個別	排水管洗浄（配管内、植栽の根繁殖の除去）
冷温水発生器シーズンオン点検	8/21	–	２号機冷却塔熱交換低下のため冷却水温度上昇度々停止（対策検討中）
消防設備定期点検	8/29,30	–	宿泊棟自動火災通報装置予備電源交換用及び消火栓ホース・消火器交換推奨
汚水槽定期清掃	9/6	-	異常なし
浴槽配管薬品消毒作業	9/16	-	異常なし
中水加圧給水ポンプユニット、オーバーホール	10/24	個別	インバーターユニット・チャッキ弁・アキュームレーター・パッキン類交換
サービスセンター棟 電気給湯器定期保守点検	10/7	–	異常なし
冷温水発生機保守点検	10/17	–	No,2 号機のみ暖房へ切替、その他異常なし

冷却塔水処理剤タンク更新工事	11/5	個別	1・2 号機薬注ポンプを含むタンク更新
温水ボイラー保守点検	11/11	-	給水電磁弁・バーナーガス遮断弁等に経年劣化の指摘（修理見積取得中）
サービスセンター棟 事務室エアコン修繕	11/13	個別	屋上室外機内制御基板及び温度センサー交換
渡り廊下地下ピット湧水ポンプ修繕	11/22	個別	No,3 湧水水中ポンプ交換
宿泊棟 火災通報装置予備電源ﾊﾞｯﾃﾘｰ交換	11/25	個別	消防設備点検指摘事項
No,2 冷温水発生機風圧ﾘﾚｰ交換	11/30	個別	11/9 故障仮処置時の本復旧
No,1 冷温水発生機点検暖房へ切替	11/30	-	暖房切替え
中水槽水位センサー取替修繕	12/11	個別	水位計正常動作
ガスメーター更新工事	12/24	計画	全 6 台のガス子メーター更新
№1 温水ﾎﾞｲﾗｰ給水減圧弁取替修繕	12/25	個別	減圧弁交換
温水ボイラー給水配管及び膨張タンク更新工事	1/24	個別	配管劣化の為、SUS 配管へ改善
浄化槽流量調整槽移送ポンプ交換	1/30	個別	1 号機移送ポンプインペラ部の破損
浴槽ろ過装置定期保守点検	2/21	―	指摘なし
消防設備定期点検	3/3,4	–	消火器・消火栓ホース10年経過の指摘あり ※見積書取得中
防火シャッター保守点検	3/3	-	厨房カウンタ中央シャッター操作ボタン引掛り、宿泊棟2F/3Fシャッター予備電源期限切れ
受水槽・各貯水槽清掃	3/3～5	-	受水槽ボールタップ腐食　次年度要交換
屋内外排水管高圧洗浄	3/3,4	-	指摘なし
受変電設備年次点検	3/6	-	低圧回路一部絶縁低下あり、高圧盤故障表示器一部引掛り有り　次年度要交換
空調設備保守点検	3/3～7	-	空気調和機Ｖベルト劣化、一部モーター異音あり指摘※見積書取得中
貯湯槽点検清掃	3/21	-	付帯膨張タンク、ダイヤフラム（ラバー隔膜）破損の懸念があり、細密点検を計画する
浴槽シャワー混合水栓更新工事	3/21	個別	浴槽Ⅱ混合水栓（9 台）、シャワーヘッド、シャワーホース全数（19 ヶ所）更新

b. **不具合**

不具合内容	実施日	処理
自然環境棟　実習室天井照明不点灯	4/4、8	安定器部品取替（2 台）　※自営修理完了
サービスセンター棟 印刷室エアコン温度調節不具合調査	4/8	指摘事項：膨張弁コイル、温度センサー不良
ｷｬﾝﾌﾟｾﾝﾀｰ棟 捕虫器ランプ不点灯	4/25	機器生産終了の為代替品交換（2 台）　※自営修理完了
No,2 冷温水発生機エラー発生停止	5/5	冷媒ポンプ不良判明する（5/8）
宿泊棟 102 号室コンセント使えず	5/11	過電流によるブレーカートリップ　投入にて復旧
宿泊棟 1 階西側非火災発報	5/11	103 号室押入れ感知器誤作動　※交換手配済み
クラフト室エアコンドレン漏れ	5/13	排水管接続フレキ管劣化取替　保守契約範囲
キャンプセンター棟 男子トイレ小便器排水洩れ	5/17	便器接続フランジ劣化取替修理　※自営修理完了
宿泊棟 1 階ファンコイル異音振動	5/25	羽根車清掃

キャンプセンター棟多目的トイレウオシュレット不良	5/26	一式更新取替　※自営修理完了
集いホール ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ照明点灯不良	6/4	予備器具と差替え ※自営修繕完了
リフレッシュセンター棟 １F 女子トイレ詰まり	6/5	利用者の眼鏡が落してしまった⇒眼鏡を取出し復旧 ※自営修繕完了
サービスセンター棟 1F 多目的ﾄｲﾚ ｳｫｼｭﾚｯﾄ作動不良	6/11	電源ブレーカ交換 ※自営修繕完了
自然環境　棟蛍光灯照明不点灯	6/21	安定器部品不良交換 ※自営修繕完了
厨房ﾌﾗｲﾔｰ電源ｺﾝｾﾝﾄﾎﾞｯｸｽ破損	7/1	コンセントボックス交換　※自営補修
厨房空調冷房が効かない	7/3	温度調節器暖房用と振替え（暖房は厨房不要）
ログミズキ２エアコン冷えない	7/4	室外機配管センサー入替　（保守契約範囲）
宿泊棟 308 号室照明蛍光灯チラツキ	7/11	安定器交換修理　※自営補修
宿泊棟各階談話コーナー電話機不通	7/11	コネクター接続接触不良手入れ
食堂男子トイレ小便器流した後異音	7/17	ダイヤフラム弁部品交換
集い棟レクルーム蛍光灯チラツキ	7/27	安定器交換修理　※自営補修
浴槽Ⅱカラン水栓水止まらない	8/1	混合水栓一式取替　※自営作業
集い棟レクルーム照明チラツキ	8/10	蛍光灯安定器取替　※自営作業
台風接近強風雨時停電発生	8/16	ボイラー・冷温水発生機各非常停止、復旧操作
自然環境棟 １F ロビーエアコンドレン漏れ	8/19	ドレンホース継手劣交換　※自営作業完了
宿泊棟 3F 西談話コーナー電話機不通	8/24	電話機の交換　※自営作業完了
リフレッシュセンター棟 厨房 ELV ホール蛍光灯不点灯	8/26	蛍光灯安定器取替　※自営作業完了
渡り廊下 地下ピット湧水満水警報発報	8/27	※見積取得中
冷温水機№2 号機　エラー停止	9/1, 11, 23	冷却塔コイルにシリカ付着による熱交換低下
サービスセンター棟 1F エレベーター前 空調ドレン漏水	9/6	9/7 ドレン管清掃にて改善　※自営修繕
宿泊棟 階段照明不点灯	9/12	安定器部品取替修理　※自営補修
厨房食器洗浄機ホース掛け部品折損	9/18	応急処置後、9/23 代替品に取替修理 ※自営補修
宿泊棟１階ラウンジ火災感知器作動	9/24	感知器作動確認（非火災）※再発なし
自然環境棟 男子トイレ小便器排水漏れ	10/3	1F 男子トイレ右から２番目小便器フランジの不良、フランジパッキンの交換にて漏水止水
厨房内天井蛍光灯　点灯不良	10/12	安定器交換（2 台）　※自営補修
野外Ｂ女子トイレ紙詰まり発生	10/24	ラバーカップ処置（詰まり解消）　※自営補修
No, 1冷温水発生器エラー停止 （高温異常）	10/29	メーカー調査依頼（10/30）
No, 1 冷温水発生器エラー 調査	10/30	外気温低い時の冷房運転は間欠運転対応とする
プレイホール棟女子トイレ詰まり	11/6	ラバーカップにて復旧
No, 2 冷温水発生機空気圧低下停止	11/9	翌日メーカーサービスにより仮復旧
宿泊棟 107 号室横廊下蛍光灯不点灯	11/9	安定器部品取替にて復旧
浴槽混合水栓吐出量不良	11/19	浴槽Ⅰ・Ⅱ各１台内部ネジ緩み・パッキン不良
機械室設置送風機ｹｰｼﾝｸﾞの発錆	11/21	ケレン、塗装　※自営補修
食堂ﾊﾞｲｷﾝｸﾞﾄﾚｰ置台不良	11/27	スプリング取付直し　※自営補修

空調機械室排気ファンＶベルト摩耗	12/13	ベルト交換　※自営修理
厨房用ガス遮断弁不良	1/4,24	バイパス弁手動操作にて対応中　※見積取得中
集いホール棟・リフレ棟 各機械室ドレンホッパー錆腐食	1/26,27	ケレン錆止め塗装　　※自営補修
宿泊棟 1F 男子トイレ清掃トラップ封水切れ	2/5	碗トラップ手入れ清掃　※自営補修
集い棟 2F 男子ﾄｲﾚ小便器洗浄水 止水不良	3/13	応急処置後　3/14 電磁弁部品取替修理　完了
機械室　給排気ファン点検	3/16	Ｖベルト劣化交換 ※自営補修
サービスセンター棟 2F 男子ﾄｲﾚ小便器洗浄水の止水不良	3/23	電磁弁部品取替 ※自営修理
厨房 食器洗浄機付帯用洗浄ﾎｰｽﾊﾞﾙﾌﾞﾘｰｸ	3/31	13A ボールバルブ部品取替 ※自営修理済み

（５）外構施設

a. 作業報告

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
外周遊歩道路面苔落とし	4/5	-	清掃完了　※自営補修
あゆみ橋床板塗装	10/25～31	-	防腐塗料（キシラデコール）※自営補修

b. 不具合

不具合内容	日付	処理
クヌギ３・ヒノキ５のＵ字溝蓋破損	4/7	コンクリート蓋取替　　※自営補修
クヌギ２号棟付近倒木根株除去	4/14	安全対策　　※自営補修
サービスセンター棟ピロティ縁石段差	4/27	コンクリート補修　※自営補修
正門付近「徐行」路面標示劣化	5/17	上書き塗装補修　　※自営補修
集い棟側溝蓋不良陥没	5/26	コンクリート蓋取替　　※自営補修
集いの広場一部石タイル剥がれ	11/28	ボンドによる再接着　※自営補修
集いの広場一部石畳み割れ剥がれ	12/6～9	ボンドによる再接着　　※自営補修
近隣湿地帯付近の外構フェンス下部に猪の痕跡あり	1/6	隣家の許可を得て下草刈り及びメッシュ鉄筋で補強
外周アルミ格子フェンスの破損	1/10	隣家の境界アルミフェンスに獣がこじ開けた様なアルミ製フェンスの格子縦桟に湾曲変形及びリベット外れが見つかり修理　　※自営補修
リフレッシュセンター棟 自然環境棟側の雨だれＵ字溝蓋陥没	3/24	浸透水コンクリート蓋劣化ため取替　※自営補修済み

（６）外構植栽

a. 作業報告

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
ログハウス浦山の倒木・枯れ木伐採と片付け	4/3	-	作業完了
ログハウス植栽内雑木除去	4/3	-	作業完了
駐車場枝垂れサクラ剪定及び施肥消毒	4/4	-	作業完了
山林ナラ枯れ伐採	4/4,5	-	作業完了
ナラ枯れ伐採後の片付け	4/8	-	作業完了
ログハウス植栽内の雑木除去及び建物周辺除草	4/10,11	-	作業完了
ログハウス建物廻り除草	4/23	-	作業完了
野外活動ゾーン及び北 PA 刈り込み	4/26	-	作業完了

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
野外炊飯場と便所 B 周辺苅込	5/2	-	作業完了
南 PA 刈り及び野外ステージ除草	5/8	-	作業完了
進入路左右及び遺跡内刈り	5/10	-	作業完了
あゆみ橋先法面及び北 PA 歩道沿い刈り込み	5/14	-	作業完了
ログハウス炊飯場法面刈り	5/15	-	作業完了
ログハウス周辺除草	5/17	-	作業完了
田んぼ畑ゾーンと町道間法面裾刈り及びプレイホール横法面刈り	5/21	-	作業完了
サービスセンター横ピラカンサス剪定及び沈砂池周辺刈り	5/22	-	作業完了
リフレシュシュセンター棟と自然環境棟間法面刈り	5/23	-	作業完了
あゆみ橋までの通路沿い左右と植栽まわり	5/24	-	作業完了
駐車場植栽周辺及びなでしこ門周辺	5/27	-	作業完了
野外活動ゾーンと町道間法面刈り	5/29	-	作業完了
隣家白い家のフェンス沿い刈り	5/30	-	作業完了

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
遺跡内及びログゾーン炊飯場苅込み	6/4	-	作業完了
北 PA 裏紫陽花周辺苅込	6/5,6	-	作業完了
森の食卓周辺及びログハウス周辺苅込	6/7	-	作業完了
町道と田んぼ畑ゾーン間法面刈り及び野外活動ゾーン刈り込み	6/11	-	作業完了
北 PA・南 PA 刈り込み及び周辺	6/12	-	作業完了
町道と田んぼ畑ゾーン間法面刈り及び野外活動ゾーン刈り込み	6/13	-	作業完了

ログハウスゾーン刈り込み	6/14	-	作業完了
野外炊飯場 A 周辺苅込	6/17	-	作業完了
調整池周辺及び通路沿い刈り込み	6/19	-	作業完了
リフレッシュ棟周辺苅込	6/20	-	作業完了
宿泊棟裏及び屋外ステージ除草	6/24	-	作業完了
あゆみ橋先法面刈り込み	6/25	-	作業完了
通路沿い枝切り及び片付け	6/26	-	作業完了
調整池柵内刈り込み	6/37	-	作業完了

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
野外炊飯場倒木片付け	7/1	-	作業完了
ログハウスゾーン刈り込み	7/2	-	作業完了
調整池柵内刈り込み	7/3	-	作業完了
野外活動ゾーン刈り込み	7/4	-	作業完了
サービスセンター棟周辺刈り込み	7/5	-	作業完了
野外炊飯場周辺刈り込み	7/8	-	作業完了
正門進入路左右刈り込み	7/9	-	作業完了
沈砂池周辺苅込	7/10	-	作業完了
各所点検及び落ち枝片付け	7/11	-	作業完了
所内全域植栽剪定及び刈り込み	7/16～18	-	作業完了
所内総点検	7/19	-	作業完了
野外活動ゾーン及びログハウスゾーン刈り込み	7/22～25	-	作業完了
調整池歩道沿い刈り込み	7/26	-	作業完了
田んぼ畑ゾーン法面裾刈り	7/29	-	作業完了
柿木・クルミ防除作業	7/30	-	作業完了
プレイホール棟横法面刈り込み	7/31	-	作業完了

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
北PA刈り込み及びクズつる切り	8/1	-	作業完了
沈砂池周辺刈り込み	8/2	-	作業完了
がすがばなー周辺刈り込み	8/5	-	作業完了
遺跡周辺刈り込み	8/6	-	作業完了
ログから紫陽花門まで刈り込み	8/7,8	-	作業完了
調整池及び進入路のつる切り	8/9	-	作業完了
各所点検と落ち枝片付け及び遊歩道倒木片付け	8/19	-	作業完了
野外炊飯場A、便所A　周辺苅込	8/20	-	作業完了

野外炊飯場Bと便所B「周辺苅込	8/21	-	作業完了
リフレシュシュセンター棟 周辺及び南PA刈り込み	8/22,23	-	作業完了
宿泊棟 周辺及び屋外ステージ刈り込み	8/26	-	作業完了
ログハウスゾーン刈り込み	8/29	-	作業完了

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
遺跡周辺刈り込み	9/2	-	作業完了
調整池遊歩道沿い刈り込み	8/4	-	作業完了
北PA・野外活動ゾーン刈り込み	9/5	-	作業完了
進入路歩道沿い刈り込み	9/6,9	-	作業完了
あゆみ橋手前とキャンプセンター側通路つる切り及び植栽内の雑木除去	9/10	-	作業完了
沈砂池階段沿い雑木切り片付け	9/11	-	作業完了
北PA藤棚剪定及び駐車場の植栽内除草	9/12,13	-	作業完了
ログハウスゾーン刈り込み	9/17,18	-	作業完了
サービスセンター棟横ピラカンサス剪定	9/19	-	作業完了
調整池遊歩道沿い刈り込み	9/20	-	作業完了
施設内ナラ枯れ伐採・高木剪定の打ち合わせ及び田んぼゾーンと町道間法面刈り	9/24	-	作業完了
田んぼ畑ゾーンと町道間法面刈り	9/26	-	作業完了

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
田んぼ畑ゾーンと町道間法面刈り	10/2	-	作業完了
野外活動ゾーン機械刈り込み	10/3	-	作業完了
野外炊飯A～野外便所B間ゾーン刈り込み	10/7	-	作業完了
野外炊飯場、町道間法面刈り	10/10,11	-	作業完了
森の食卓の枯れ木伐採・あゆみ橋橋手前通路沿い及びロゴ炊飯場周辺苅込	10/15	-	作業完了
あゆみ橋先法面と紫陽花門までの通路沿い刈り	10/16	-	作業完了

調整池通路沿い及び北PA側排水溝フェンス内刈り込み	10/17	－	作業完了
自然環境棟とリフレシュシュセンター棟間法面刈り及び野外ステージ除草	10/21	－	作業完了
隣家フェンス沿い刈り	10/22	-	作業完了
調整池周辺刈り込み	10/23,24	-	作業完了
遺跡地内刈り込み	10/31	-	作業完了

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
北PA裏紫陽花群生周辺除草	11/1～6	－	作業完了
調整池周辺刈り込み	11/7,8	－	作業完了
自然環境棟通路沿い刈り込み	11/12	－	作業完了
植栽ピラカンサス剪定	11/13,14	－	作業完了
紫陽花門周辺及びログミズキ・タブノキ棟裏刈り込み	11/19	－	作業完了
駐車場周辺刈り込み	11/22	－	作業完了
あゆみ橋下遊歩道沿い枯れ木伐採及び駐車場周辺苅込	11/25	－	作業完了
ナラ枯れ伐採・高木剪定打ち合わせ	11/26	－	作業完了
所内落ち枝片付け	11/27	-	作業完了
ログハウス廻り枝切及び進入路立ち枯れ木伐採	11/29	-	作業完了
所内落ち枝片付け及び枯れ木伐採	11/29	-	作業完了

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
所内落ち枝片付け	12/2	－	作業完了
正門進入路山側下草刈り	12/3,4	－	作業完了
野外便所A山側下草刈り	12/5	－	作業完了
野外活動ゾーン山側下草刈り	12/6,9	－	作業完了
自然環境棟横山林下草刈り	12/10	－	作業完了
遺跡地内枝払いおよびつる切り	12/11	－	作業完了
森の食卓階段右山林下草刈り	12/12,13	－	作業完了
沈砂池側山林下草刈り	12/16,17	－	作業完了
あゆみ橋下山林下草刈り	12/18 ～ 20	－	作業完了

サービスセンター棟横ピラカンサス側法面刈り込み	12/23	-	作業完了
自然環境棟手前山林下草刈り	12/24	-	作業完了
集いの広場周辺植栽剪定	12/25	-	作業完了

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
各所点検及び落ち枝片付け	1/7	―	作業完了
隣家フェンス沿い草刈り及び倒木処理	1/8～10	―	作業完了
駐車場前山林下草刈り及び枯れ木伐採・倒木処理	1/14～31	―	作業完了

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
森の食卓周り枯れ木伐採・及び落ち枝片付け	2/4	―	作業完了
ログハウスゾーン植栽内雑木除去	2/5～7	―	作業完了
ログ裏山林下草刈り及び枯れ木伐採、倒木処理	2/12～17	―	作業完了
野外ステージ・ログハウス周辺除草	2/18	―	作業完了
ログ調整池上山林下草刈り、雑木伐採	2/21, 25	―	作業完了
ログ裏山林雑木伐採及び下草刈り	2/25～28	―	作業完了

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
沈砂池側山林下草刈り	3/7～21	-	作業完了
宿泊棟南側山林下草刈り	3/24, 25	-	作業完了
防災無線基地側山林下草刈り	3/26, 27	-	作業完了

不具合内容	日付	処理
特になし		

２．２．２　備品の管理・清掃・警備等

（１）備品の調達・管理

a. 作業報告

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
宿泊棟、ログハウス 寝具クリーニング	2/12～ 3/8	－	対象寝具：掛け、敷布団、枕、ベットパッド、シュラフの洗濯、乾燥

b. 不具合

不具合内容	実施日	処理
厨房台車走行偏り	7/23	キャスター車輪交換修理
松葉杖先端滑り止めゴム劣化	8/21	先端ゴム部品交換　　※自営修理完了
プレイホール棟 バスケットゴールネット消耗劣化	9/20	バスケットコート３式・全６ヶ所ネット更新

（２）清掃業務

a. 作業報告

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
特になし			

b. 不具合

不具合内容	日付	処理
特になし		

c. 定期清掃

定期清掃箇所	清掃周期		実施日	コメント
床面	石床洗浄	３ヶ月毎	－	
	長尺木部洗浄ワックス塗布	２ヵ月毎	4/4, 5-	
	浴室内床面	１週間毎	4/1, 10, 22, 39	
カーペット床面	カーペット部分的洗浄	２ヵ月毎	－	
	カーペット全面クリーニング	１年毎	－	
壁面	壁面除塵	１年毎	-	
	吹抜部除塵	１年毎	-	
天井面	天井面除塵	６ヶ月毎	-	
	照明器具	６ヶ月毎	-	
ガラス面	ガラス面・サッシ清掃	６ヶ月毎	-	
ドレン・排水溝	ドレン排水溝	１ヵ月毎	4/19, 30	

定期清掃箇所	清掃周期		実施日	コメント
床面	石床洗浄	３ヶ月毎	5/1, 9	
	長尺木部洗浄ワックス塗布	２ヵ月毎	5/1, 9	

	浴室内床面	１週間毎	5/8, 13, 20, 27	
カーペット床面	カーペット部分的洗浄	２ヵ月毎	-	
	カーペット全面クリーニング	１年毎	-	
壁面	壁面除塵	１年毎	-	
	吹抜部除塵	１年毎	-	
天井面	天井面除塵	６ヶ月毎	-	
	照明器具	６ヶ月毎	-	
ガラス面	ガラス面・サッシ清掃	６ヶ月毎	-	
ドレン・排水溝	ドレン排水溝	１ヵ月毎	5/1, 8	

定期清掃箇所	清掃周期		実施日	コメント
床面	石床洗浄	３ヶ月毎	6/14-	
	長尺木部洗浄ワックス塗布	２ヵ月毎	-	
	浴室内床面	１週間毎	6/3, 10, 17, 24	
カーペット床面	カーペット部分的洗浄	２ヵ月毎	-	
	カーペット全面クリーニング	１年毎	-	
壁面	壁面除塵	１年毎	-	
	吹抜部除塵	１年毎	-	
天井面	天井面除塵	６ヶ月毎	-	
	照明器具	６ヶ月毎	-	
ガラス面	ガラス面・サッシ清掃	６ヶ月毎	-	
ドレン・排水溝	ドレン排水溝	１ヵ月毎	6/8	

定期清掃箇所	清掃周期		実施日	コメント
床面	石床洗浄	３ヶ月毎	7/17, 18-	
	長尺木部洗浄ワックス塗布	２ヵ月毎	7/17, 18	
	浴室内床面	１週間毎	7/1, 8, 15, 22, 29	
カーペット床面	カーペット部分的洗浄	２ヵ月毎	-	
	カーペット全面クリーニング	１年毎	-	
壁面	壁面除塵	１年毎	-	
	吹抜部除塵	１年毎	-	
天井面	天井面除塵	６ヶ月毎	-	
	照明器具	６ヶ月毎	-	
ガラス面	ガラス面・サッシ清掃	６ヶ月毎	-	
ドレン・排水溝	ドレン排水溝	１ヵ月毎	7/31	

定期清掃箇所	清掃周期		実施日	コメント
床面	石床洗浄	３ヶ月毎	-	
	長尺木部洗浄ワックス塗布	２ヵ月毎	-	
	浴室内床面	１週間毎	8/5, 12, 19, 26	
カーペット床面	カーペット部分的洗浄	２ヵ月毎	-	

	カーペット全面クリーニング	１年毎	−	
壁面	壁面除塵	１年毎	−	
	吹抜部除塵	１年毎	−	
天井面	天井面除塵	６ヶ月毎	−	
	照明器具	６ヶ月毎	−	
ガラス面	ガラス面・サッシ清掃	６ヶ月毎	−	
ドレン・排水溝	ドレン排水溝	１ヵ月毎	8/4	

定期清掃箇所	清掃周期		実施日	コメント
床面	石床洗浄	３ヶ月毎	9/17, 19	
	長尺木部洗浄ワックス塗布	２ヵ月毎	9/17, 19	
	浴室内床面	１週間毎	9/2, 9, 23, 30	
カーペット床面	カーペット部分的洗浄	２ヵ月毎	−	
	カーペット全面クリーニング	１年毎	−	
壁面	壁面除塵	１年毎	-	
	吹抜部除塵	１年毎	-	
天井面	天井面除塵	６ヶ月毎	-	
	照明器具	６ヶ月毎	-	
ガラス面	ガラス面・サッシ清掃	６ヶ月毎	-	
ドレン・排水溝	ドレン排水溝	１ヵ月毎	9/9	

定期清掃箇所	清掃周期		実施日	コメント
床面	石床洗浄	３ヶ月毎		
	長尺木部洗浄ワックス塗布	２ヵ月毎		
	浴室内床面	１週間毎	10/7, 14, 21, 28	
カーペット床面	カーペット部分的洗浄	２ヵ月毎	−	
	カーペット全面クリーニング	１年毎	−	
壁面	壁面除塵	１年毎	10/7, 12	
	吹抜部除塵	１年毎		
天井面	天井面除塵	６ヶ月毎		
	照明器具	６ヶ月毎		
ガラス面	ガラス面・サッシ清掃	６ヶ月毎		
ドレン・排水溝	ドレン排水溝	１ヵ月毎	10/20	

定期清掃箇所	清掃周期		実施日	コメント
床面	石床洗浄	３ヶ月毎	11/1, 6	
	長尺木部洗浄ワックス塗布	２ヵ月毎	11/1, 6	
	浴室内床面	１週間毎	11/4, 11, 18, 25	
カーペット床面	カーペット部分的洗浄	２ヵ月毎	−	
	カーペット全面クリーニング	１年毎	−	
	壁面除塵	１年毎	-	

壁面	吹抜部除塵	１年毎	-	
天井面	天井面除塵	６ヶ月毎	-	
	照明器具	６ヶ月毎	-	
ガラス面	ガラス面・サッシ清掃	６ヶ月毎	-	
ドレン・排水溝	ドレン排水溝	１ヵ月毎	11/26,27	

定期清掃箇所	清掃周期		実施日	コメント
床面	石床洗浄	３ヶ月毎	12/20	
	長尺木部洗浄ワックス塗布	２ヵ月毎		
	浴室内床面	１週間毎	12/2,9,16,23	
カーペット床面	カーペット部分的洗浄	２ヵ月毎	–	
	カーペット全面クリーニング	１年毎	–	
壁面	壁面除塵	１年毎		
	吹抜部除塵	１年毎		
天井面	天井面除塵	６ヶ月毎		
	照明器具	６ヶ月毎		
ガラス面	ガラス面・サッシ清掃	６ヶ月毎		
ドレン・排水溝	ドレン排水溝	１ヵ月毎	12/26	

定期清掃箇所	清掃周期		実施日	コメント
床面	石床洗浄	3ヶ月毎	1/22,23	
	長尺木部洗浄ワックス塗布	２ヵ月毎	1/22,23	
	浴室内床面	1週間毎	1/6,13,20,27	
カーペット床面	カーペット部分的洗浄	2ヵ月毎	―	
	カーペット全面クリーニング	1年毎	―	
壁面	壁面除塵	1年毎	―	
	吹抜部除塵	１年毎	―	
天井面	天井面除塵	6ヶ月毎	―	
	照明器具	6ヶ月毎	―	
ガラス面	ガラス面・サッシ清掃	6ヶ月毎	―	
ドレン・排水溝	ドレン排水溝	1ヵ月毎	1/21,22	

定期清掃箇所	清掃周期		実施日	コメント
床面	石床洗浄	3ヶ月毎		
	長尺木部洗浄ワックス塗布	２ヵ月毎	―	
	浴室内床面	1週間毎	2/3,10,17,24	
カーペット床面	カーペット部分的洗浄	2ヵ月毎	―	
	カーペット全面クリーニング	1年毎	2/1～28	
壁面	壁面除塵	1年毎	2/1～28	
	吹抜部除塵	１年毎	2/1～28	
天井面	天井面除塵	6ヶ月毎	―	

	照明器具	6ヶ月毎	ー	
ガラス面	ガラス面・サッシ清掃	6ヶ月毎	ー	
ドレン・排水溝	ドレン排水溝	1ヵ月毎	2/24	

定期清掃箇所	清掃周期		実施日	コメント
床面	石床洗浄	3ヶ月毎	3/3,4	
	長尺木部洗浄ワックス塗布	2ヵ月毎	3/3,4	
	浴室内床面	1週間毎	3/10,,17,24,31	
カーペット床面	カーペット部分的洗浄	2ヵ月毎	-	
	カーペット全面クリーニング	1年毎	-	
壁面	壁面除塵	1年毎	-	
	吹抜部除塵	1年毎	-	
天井面	天井面除塵	6ヶ月毎	-	
	照明器具	6ヶ月毎	-	
ガラス面	ガラス面・サッシ清掃	6ヶ月毎	-	
ドレン・排水溝	ドレン排水溝	1ヵ月毎	3/16,19	

（３）警備業務

a. 作業報告

作業名称	実施日	修繕種別	コメント
特になし			

b. 不具合

不具合内容	日付	処理
特になし		

３．　施設の効用の発揮

３．１　幅広い施設利用の確保

３．１．１　稼働状況・入退所・休所

（１）宿泊室稼働状況

宿泊室稼働状況		4月	5月	6月	7月	8月※2	9月	10月	11月	12月※1	1月※1	2月	3月※3	年間
宿泊棟	利用可能日数計	30	31	30	31	28	30	31	30	27	27	28	25	348
	利用日数計（実利用数）	21	23	25	30	28	24	25	24	19	15	17	21	272
	月間利用率（%）	70.0	74.2	83.3	96.8	100	80.0	80.6	80.0	70.4	55.6	60.7	84.0	78.2
ログハウス	利用可能日数計	30	31	30	31	28	30	31	30	27	27	28	25	348
	利用日数計（実利用数）	5	10	19	19	26	13	13	11	9	6	8	16	155
	月間利用率（%）	16.7	32.3	63.3	61.3	92.9	43.3	41.9	36.7	33.3	22.2	28.6	64.0	44.5
全体	利用可能日数計	30	31	30	31	28	30	31	30	27	27	28	25	348
	利用日数計（実利用数）	21	26	27	30	28	24	25	24	20	16	21	22	284
	月間利用率（%）	70.0	83.9	90.0	96.8	100	80.0	80.6	80.0	74.1	59.3	75.0	88.0	81.6

※1　12／29～1／3：休館日、1／4：安全点検日のため、日帰り・宿泊（下見・見学者除く）の利用不可

※2　8/28～30：施設集中メンテナンス日（宿泊・日帰り利用受入れ停止、施設見学可）

※3　3/2～7：施設集中メンテナンス日（宿泊・日帰り利用受入れ停止、施設見学可）

（２）時間外の入退所（事前申請による時間外の入退所）

時間外入退所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
件数	0	2	0	0	12	3	0	3	1	1	0	0	22

・交通事情、所外活動等による利用当日の入退所時間外の出入りに、随時対応した(9:00前の退所、16:00以降の入所、夜プログラム後の退所等)。入退所時間にあわせてスタッフ体制を整え、利用者の活動に沿った柔軟な対応を継続した。

・台風対応等によるプログラム再調整を実施し、できる限り利用者の希望プログラムを実現できるようにスタッフ体制を整え、時間外の入退所時間へ対応をした。(対象日の入所8:00～20:00、退所7:00～21:30　延長対応　例:夜の活動後、宿泊せずに退所22:00、朝一の退所7:00等)運営部門宿直者2名増員、維持管理部門2名増員

・主催事業「ナイトアドベンチャー」

（３）休所

	日程	備考
年末年始	12/29～1/3	
施設メンテナンスによる利用者受け入れ停止日	8/28～30 3/2～7	施設利用以外の下見・見学者の受入れ、利用者問い合わせや使用申請、プログラム調整等への事務対応、その他の通常対応を実施する施設営業日

３．１．２　利用料金・減免

（１）利用人数　・添付資料「利用人数（4～3月）」参照

（２）減免対象者数　・添付資料「減免対象者数（4～3月）」参照

・ふれあいパスポート使用減免者数

	日帰り利用市民児童・生徒数（未就学児含む）	減免申請者	ふれあいパスポート提示	備考
4 月	512	445	10	減免申請者のうち432名は春のわいわいフェスティバル参加による減免
5 月	82	9	8	
6 月	56	12	10	
7 月	289	25	6	
8 月	201	20	2	
9 月	66	8	4	
10 月	516	387	0	減免申請者のうち386名は秋のわいわいフェスティバル参加による減免
11 月	125	24	7	
12 月	32	4	2	
1 月	71	7	7	
2 月	82	9	9	
3 月	68	13	13	
合計	2,100	963	78	

・閑散期（1/15～4/15）利用の5割減免者数・おかえりなさいキャンペーン減免者数

	日帰り利用者数（大人のみ利用）			減免申請者数（大人のみ利用）			5 割減免			おかえりなさいキャンペーン		
	市民	市民以外	合計	市民	市民以外	合計	市民	市民以外	合計	市民	市民以外	合計
4 月			0			0			0			0
5 月	1		1			0			0			0
6 月			0			0			0			0
7 月			0			0			0			0
8 月			0			0			0			0
9 月			0			0			0			0
10 月		2	2		2	2		2	2			2
11 月			0			0			0			0
12 月			0			0			0			0
1 月			0			0			0			0
2 月			0			0			0			0
3 月	7	16	23	7	16	23	2	9	11	5	7	12
合計	8	18	26	7	18	25	2	11	13	5	7	12

	宿泊者数（大人のみ利用）			減免申請者数（大人のみ利用）								
							5割減免			おかえりなさいキャンペーン		
	市民	市民以外	合計	市民	市民以外	合計	市民	市民以外	合計	市民	市民以外	合計
4月	8		8	8		8	8		8			0
5月	3	13	16		8	8			0			0
6月	4	3	7			0			0			0
7月	3	1	4			0			0			0
8月	5	11	16	1	8	9			0			0
9月	28	76	104	2		2	2		2			0
10月			0			0			0			0
11月	3	2	5	1		1	1		1			0
12月	1	4	5			0			0			0
1月	15	3	18	6	2	8	6	2	8			0
2月	34	6	40	34	6	40	16	2	18	18	4	22
3月	72	279	351	72	279	351	38	263	301	34	16	50
合計	176	398	574	124	303	427	71	267	338	52	20	72

※(　):キャンプサイト利用は年間通して5割減免

（３）利用料金　添付資料「利用料金収入（4～3月）」参照

（４）目的別利用　団体・家族数（4～3月　件数）

・日帰り利用

団体・家族数(件)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
野外教育活動		1	0	2	0	0	0	0	0	2		1		6
内訳	千葉市移動教室利用													
	千葉市農山村留学利用													
	その他千葉市学校利用	1												1
	千葉市外学校利用			2						2		1		5
指導者研修		3	1	5	3	4	2	1		1		1		21
その他の研修														
視察・見学		21	19	15	24	17	17	14	12	9	6	7	10	171
余暇活動		10	22	22	24	26	10	12	15	6	8	14	15	184
合計		35	42	44	51	47	29	27	27	18	14	23	25	382

・宿泊利用

団体・家族数(件)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
野外教育活動		11	25	55	46	1	41	39	93	29	10	7		357
内訳	千葉市移動教室利用	11	18	15	5		13	7	10	13	10	6		108
	千葉市農山村留学利用			3			1	1	1					6
	その他千葉市学校利用			9	21	1	15	11	77	16		1		151
	千葉市外学校利用		7	28	20		12	20	5					92
指導者研修			1											1
その他の研修														
視察・見学														
余暇活動		47	86	34	107	180	55	42	60	29	21	32	87	780
合計		58	112	89	153	181	96	81	153	58	31	39	87	1,138

（５）目的別利用人数（4～3月　利用人数）

・日帰り利用

団体・家族数(人数)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
野外教育活動		201	72	300	74	14	97	86	131	188	37	38		1,238
内訳	千葉市移動教室利用	28	55	62	15		50	35	60	36	37	17		395
	千葉市農山村留学利用			6				1	1					8
	その他千葉市学校利用	172		4	19	14	17	19	48	13		14		320
	千葉市外学校利用	1	17	228	40		30	31	22	139		7		515
指導者研修		70	9	77	25	42	64	9		10		11		317
その他の研修														
視察・見学		244	115	230	167	122	84	104	58	31	31	60	62	1,308
余暇活動		1727	155	259	775	711	358	1486	335	179	145	187	320	6,637
合計		2242	351	866	1,041	889	603	1,685	524	408	213	296	382	9,500

・宿泊利用

団体・家族数 (利用延べ人数)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
野外教育活動		2,908	4,603	7,376	3,461	294	4,588	5,227	4,802	3,069	2,305	2,047		40,680
内訳	千葉市移動教室利用	2,142	3,993	3,509	1,075		2,358	1,810	2,344	2,622	2,305	1,746		23,904
	千葉市農山村留学利用			634			156	305	15					1,110
	その他千葉市学校利用			298	446	294	322	686	1,542	447		301		4,336
	千葉市外学校利用	766	610	2,935	1,940		1,752	2,426	901					11,330
指導者研修			32											32
その他の研修														
視察・見学														
余暇活動		1,495	1,767	1,166	5,900	9,423	2,532	1,888	2,237	2,339	1,251	1,239	4,751	35,988
合計		4,403	6,402	8,542	9,361	9,717	7,120	7,115	7,039	5,408	3,556	3,286	4,751	76,700

団体・家族数（宿泊者数）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
野外教育活動		1,878	3,032	4,323	1,914	147	2,771	3,106	2,671	1,981	1,533	1,363		24,719
内訳	千葉市移動教室利用	1,368	2,727	2,336	716		1,630	1,261	1,445	1,745	1,533	1,163		15,924
	千葉市農山村留学利用			422			104	203	10					739
	その他千葉市学校利用			149	228	147	161	384	776	236		200		2,281
	千葉市外学校利用	510	305	1,416	970		876	1,258	440					5,775
指導者研修			16											16
その他の研修														
視察・見学														
余暇活動		803	968	585	3,284	5,475	1,291	1,032	1,279	1,165	643	634	2,744	19,903
合計		2,681	4,016	4,908	5,198	5,622	4,062	4,138	3,950	3,146	2,176	1,997	2,744	44,638

（例：一人が2泊3日の場合　利用者数3人　宿泊者数2人）

※宿泊利用団体に宿泊利用者と日帰り利用者が含まれるため、（４）で日帰り件数が０でも、利用者数が発生している区分がある。

３．１．３　利用促進

（１）プレーパークエリア

・主催事業「プレパの日」開催（３．３．１ 主催事業　参照）

・主催事業の参加者、キャンプサイト利用者へプログラム提供を実施した。

・エリア内の一定の安全管理は行いながら、怪我も含めて自己責任で遊ぶことを理解・確認した団体・家族に施設を開放した。

（２）キャンプサイトにおける野外宿泊体験活動（３．３．２ 自主事業　参照）

・野外活動ゾーンの「キャンプサイト」を市民のニーズに対応できる、テントを使用した宿泊と、ＢＢＱを含むデイキャンプに対応できるエリアとして設定し、自主事業プログラムとして提供した。

・キャンプサイトは、一般的なキャンプ場に類似した形態とし、器材は原則持込みとして運営した。また、日帰りＢＢＱ等を手ぶらでも利用できるよう、一部レンタル用機材を用意し、有料で貸し出しを行った。

・キャンプサイトにおける活動すべてがセルフサービスを原則とし、全８区画の提供を行った。

（３）高校生以上の活動を目的とする利用の促進

・通年：成人を中心としたスポーツ団体の利用を受け入れた。

・自主事業「こだわりワークショップ」では、大人も対象とするプログラムを提供した。詳細は、３．３．２自主事業（１）特別イベント参照

・自主事業「キャンプサイト」では、高校生以上の大人のみの個人（ソロキャンプ）やグループキャンプ（団体）も対象として、募集を行った。また、高校生以上の大人を主体とする団体・家族の利用料金　半額キャンペーンを継続した。（通年）

・近隣施設とタイアップして利用を促進するモデルプラン、シニア団体（公民館・千葉市退職校長会等）の利用を促進するモデルプランを提供し、実施した。

・閑散期対策

「おとなじかん」：高校生以上の大人が主体の通常利用（日帰り、宿泊棟泊、ログハウス泊）に係る利用料金　1/15～4/15期間　利用料金の半額キャンペーン

「おかえりなさいキャンペーン」：「二十歳」の大人が所属する団体の通常利用（日帰り、宿泊棟泊、ログハウス泊）に係る利用料金の割引キャンペーン

（４）その他

・独立行政法人国立青少年教育振興機構事業「お外でリアル体験 そとチャレラリー2024」参加
期間：第1クール 5/1～9/30、第2クール 10/1～2/28

（５）ボランティアとの協働　（４．５ ボランティアスタッフの協働　参照）

（６）広報活動

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内　容
市政だより		1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	11	・主催イベント情報 ・令和７年度受付開始
所報 ゆくっと		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	・毎月１回発行
ホームページ	ゆくっと	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	・各月号掲載
	空室情報	7	7	7	9	9	11	12	10	13	13	14	17	129	・令和６年度分　更新 ・令和７年度分　更新
	主催イベント	19	17	21	20	16	13	15	17	14	13	12	10	187	・イベント情報頁
	その他	1			2	3	3	3	3	3	3	3	3	27	・利用制限の変更 ・プログラムシート ・食堂メニュー ・施設周辺の情報　他
Facebook		5	5	3	3	1	2	1	1	2	1	2	2	28	・主催、自主事業報告 ・ゆくっと各月号掲載 ・施設情報
Instagram		5	7	5	6	3	4	6	6	6	6	4	6	64	・所内風景写真　他
LINE 公式		5	9	3	7	2	5	8	8	3	3	2	2	57	・主催、自主事業 ・施設情報の提供
外部情報誌		3	2	4	16	3	8	12	10	1	2	13	17	91	・ぐるっとちば ・まなびの森 ・シティライフ
外部 Web サイト		15	17	18	27	24	15	11	12	7	11	10	8	175	・キャンプ場ドットコム空情報更新:随時 ・Google map 情報更新:随時 ・いこーよ ・ジモティー ・びびなび ・その他外部情報サイト
その他		5			1		1							7	・外部イベント広報出店 ・大人利用ﾁﾗｼ ・利用促進ﾎﾟｽﾀｰ ・他広報

３．２　利用者サービスの充実

３．２．１　利用者への支援

（１）利用受付業務

a．使用許可等件数

申請件数	994 件（令和 6 年度）	364 件（令和 7 年度）
許可件数	994 件（令和 6 年度）	364 件（令和 7 年度）
変更許可件数		
取消件数	105 件（令和 6 年度）	6 件（令和 7 年度）
不許可件数	0 件（令和 6 年度）	0 件（令和 7 年度）
不許可理由		
変更不許可件数	0 件（令和 6 年度）	0 件（令和 7 年度）
不許可理由		
行為制限件数	0 件（令和 6 度）	0 件（令和 7 年度）
制限内容		
制限理由		

b．使用許可件数　**内訳**　令和６年度の使用許可件数

	許可件数	利用者数				
		合計	市民		市民以外	
			子ども	大人	子ども	大人
市立小中学校	260	29,355	25,511	3,778	6	60
市内小中学校	0	0	0	0	0	0
県内小中学校(市立・市内除く)	6	567	0	0	517	50
県外小中学校	0	0	0	0	0	0
市内少年団体	64	4,903	1,900	1,207	1,681	115
県内少年団体(市内除く)	59	4,012	369	276	2,261	1,106
県外少年団体	65	7,027	248	18	5,033	1,728
市内家族	293	2,422	1,127	1,197	54	44
県内家族(市内除く)	102	915	11	6	424	474
県外家族	75	767	6	11	364	386
市内高校・大学	2	156	0	88	0	68
市内高校生以上団体	3	150	16	96	10	28
県内高校生以上団体（市内除く）	4	550	0	4	225	321
県外高校生以上団体	7	149	0	43	0	106
市内高校生以上のみ家族	38	319	0	220	0	99
県内高校生以上のみ家族(市内除く)	9	42	0	0	0	42
県外高校生以上のみ家族	7	37	0	4	0	33
合計	994	51,371	29,188	6,948	10,575	4,660

c．使用許可件数　**内訳**　令和７年度の使用許可件数

	許可件数	利用者数				
		合計	市民		市民以外	
			子ども	大人	子ども	大人
市立小中学校（市教育センター含）	4	660	480	180	0	0
市内小中学校	4	869	598	190	58	23
県内小中学校(市立・市内除く)	102	12,183	80	76	10,772	1,255
県外小中学校	1	540	0	0	510	30
市内少年団体	79	12,017	5,419	2,755	3,360	483
県内少年団体(市内除く)	36	3,722	119	49	2,436	1,118
県外少年団体	74	13,063	32	9	9,707	3,315
市内家族	37	369	162	183	12	12
県内家族(市内除く)	2	40	0	0	24	16
県外家族	14	204	0	0	106	98
市内高校・大学	1	0	0	0	0	0
市内高校生以上団体	1	160	0	80	0	80
県内高校生以上団体（市内除く）	2	1,040	0	40	0	1,000
県外高校生以上団体	2	229	0	0	0	229
市内高校生以上のみ家族	4	18	0	18	0	0
県内高校生以上のみ家族(市内除く)	1	6	0	0	0	6
県外高校生以上のみ家族	0	0	0	0	0	0
合計	364	45,120	6,890	3,580	26,985	7,665

d．使用取消件数　**内訳**　令和６年度の使用取消件数

	取消件数	利用者数				
		合計	市民		市民以外	
			子ども	大人	子ども	大人
市立小中学校	1	30	22	8	0	0
市内小中学校	0	0	0	0	0	0
県内小中学校(市立・市内除く)	1	348	0	0	330	18
県外小中学校	0	0	0	0	0	0
市内少年団体	19	1,575	674	543	278	80
県内少年団体(市内除く)	11	778	0	0	454	324
県外少年団体	29	3,181	0	0	2,405	776
市内家族	14	124	62	62	0	0
県内家族(市内除く)	14	120	0	0	48	72
県外家族	5	44	0	0	18	26
市内高校・大学	0	0	0	0	0	0
市内高校生以上団体	0	0	0	0	0	0
県内高校生以上団体（市内除く）	1	48	0	4	0	44
県外高校生以上団体	5	173	0	23	0	150
市内高校生以上のみ家族	1	12	0	12	0	0
県内高校生以上のみ家族(市内除く)	1	8	0	0	0	8
県外高校生以上のみ家族	3	23	0	0	0	23
合計	105	6,464	758	652	3,533	1,521

e．使用取消件数　**内訳**　令和７年度の使用取消件数

	取消件数	利用者数				
		合計	市民		市民以外	
			子ども	大人	子ども	大人
市立小中学校	0	0	0	0	0	0
市内小中学校	0	0	0	0	0	0
県内小中学校(市立・市内除く)	0	0	0	0	0	0
県外小中学校	0	0	0	0	0	0
市内少年団体	4	544	404	80	60	0
県内少年団体(市内除く)	0	0	0	0	0	0
県外少年団体	2	1,060	0	0	800	260
市内家族	0	0	0	0	0	0
県内家族(市内除く)	0	0	0	0	0	0
県外家族	0	0	0	0	0	0
市内高校・大学	0	0	0	0	0	0
市内高校生以上団体	0	0	0	0	0	0
県内高校生以上団体（市内除く）	0	0	0	0	0	0
県外高校生以上団体	0	0	0	0	0	0
市内高校生以上のみ家族	0	0	0	0	0	0
県内高校生以上のみ家族(市内除く)	0	0	0	0	0	0
県外高校生以上のみ家族	0	0	0	0	0	0
合計	6	1,604	404	80	860	260

（２）食事及び食材の提供業務

項目	内 容
衛生管理 日常点検	各工程別にＨＡＣＣＰ概念に基づき、従事者健康・衛生管理、施設設備、調理器具、使用水、食材、調理過程においては、原材料受け入れ時の品温測定及び下処理管理の徹底、加熱調理については中心温度の確認、二次汚染防止の徹底、温度管理の徹底、廃棄物取扱いについて日々点検・記録を実施。特に問題はなかった。
アレルギー対策と対応	1.アレルギー対策 バイキングライン各調理品上部にアレルゲン表示が義務付けられている８品目(卵/乳/エビ/カニ/落花生/小麦/そば/くるみ)と表示が推奨されている21品目の内の大豆のあわせて9品目を掲示。誤食防止を努めた。
利用者数	①　朝食　44,636 食　④　弁当　15,193 食 ②　昼食　36,931 食　⑤　野外炊飯　15,748 食(4 人前セット) ③　夕食　42,509 食

レストラン森の木　食事提供数（食堂食、弁当、野外炊飯）　途中

食種	朝食	昼食	夕食	弁当	野外炊飯	計
4 月	2,810	2,573	2,550	1,024	632	9,589
5 月	3,825	3,412	3,818	1,257	672	12,884
6 月	5,024	3,605	4,693	2,257	2,312	17,891
7 月	4,903	4,051	5,064	1,422	1,432	16,872
8 月	5,746	5,101	4,791	1,673	2,536	19,847
9 月	4,060	3,410	3,865	982	1,580	13,897
10 月	4,038	2,493	,3829	2,000	1,928	14,288
11 月	3,896	3,535	3,683	1,605	1,632	14,351
12 月	3,468	3,091	3,281	807	1,052	11,699
1 月	2,206	1,902	2,227	749	676	7,760
2 月	2,011	1,498	2,057	575	420	6,561
3 月	2,554	1,852	2,481	668	620	8,175
合計	44,441	36,523	42,339	15,019	15,492	153,814

千葉県産生鮮野菜の使用量

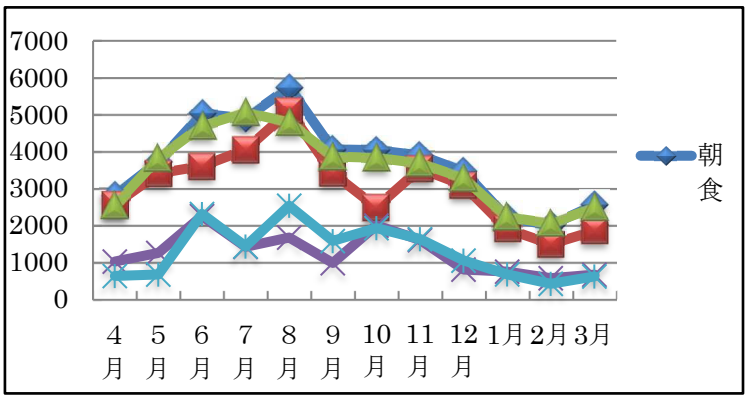
単位：kg

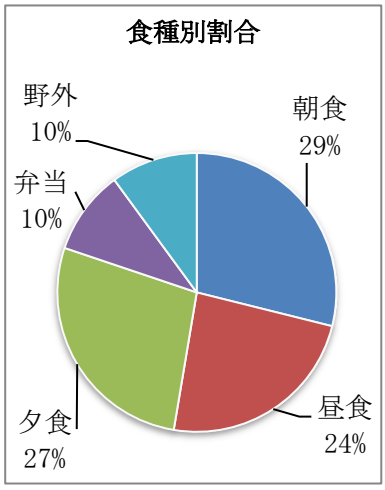
年　月	千葉県産	%	県外産	%	総使用量
2024年 4月	310.0	37.56	515.4	62.44	825
2024年 5月	320.0	38.97	501.2	61.03	821
2024年 6月	418.6	72.57	158.2	27.43	577
2024年 7月	614.0	47.91	667.6	52.09	1,282
2024年 8月	574.1	37.03	976.3	62.97	1,550
2024年 9月	195.0	21.93	694.0	78.07	889
2024年 10月	273.3	23.62	883.5	76.38	1,157
2024年 11月	518.8	54.11	439.9	45.89	959
2024年 12月	234.2	50.43	230.2	49.57	464
2025年 1月	220.5	77.64	63.5	22.36	284
2025年 2月	164.8	59.73	111.1	40.27	276
2025年 3月	195.7	47.48	216.5	52.52	412
合計	4,039	42.53	5,457	57.47	9,496

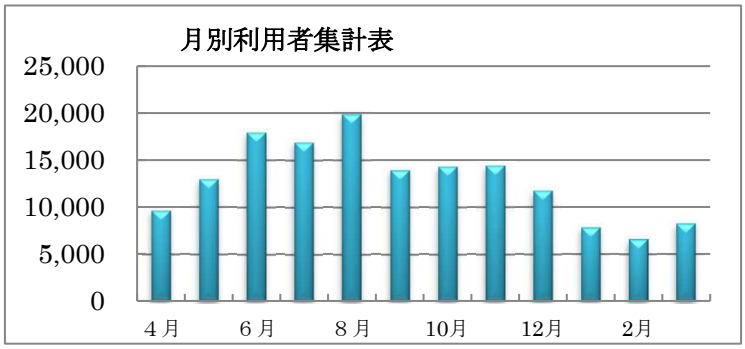
地場産物(長柄町産)の仕入量

単位：kg

年　月	塩麹	長柄みそ
2024年 4月	4	0
2024年 5月	6	10
2024年 6月	4	10
2024年 7月	6	20
2024年 8月	6	20
2024年 9月	4	20
2024年 10月	6	20
2024年 11月	4	10
2024年 12月	3	40
2025年 1月	3	
2025年 2月		10
2025年 3月	30	
合計	76	160







レストラン森の木　食事提供業務　記録（特記事項）

月	内　　容
4月	①　定期細菌検査　4/17 17名（陰性）、4/26 17名（陰性） ②　4/17　食堂業者衛生部員による衛生巡回指導 ③　4/21　春のわいわいフェスティバル内で特別書を提供 ④　4/26　夕食時に提供した献立へビニール袋片が混入する事故が発生した。 詳細は、別途 事故報告書参照 ⑤　衛生職場会　4/12 8名、4/27、28 全スタッフ（異物混入） ⑥　千葉県産の食材の使用状況4月分（重量ベース） 生鮮野菜：千葉県産37.56%（もやし、きゅうり、大根、長ネギ）
5月	⑦　5/2　夏メニュー試食会の開催 ⑧　千葉県産の食材の使用状況5月分（重量ベース） 生鮮野菜：千葉県産38.97%（もやし、にんじん、大根、トマト）
6月	⑨　千葉県産の食材の使用状況6月分（重量ベース） 生鮮野菜：千葉県産72.57%（もやし、にんじん、大根、トマト、長ネギ、じゃがいも）
7月	⑩　千葉県産の食材の使用状況7月分（重量ベース） 生鮮野菜：千葉県産47.13%（もやし、にんじん、大根、トマト、長ネギ、じゃがいも、きゅうり、キャベツ）
8月	⑪　8/2　秋メニュー試食会（千葉市2名、伊藤忠UC7名、千葉YMCA15名、トラスティフード6名 ⑫　8/1～23　学校給食部よりヘルプスタッフ2名　受入れ ⑬　千葉県産の食材の使用状況8月分（重量ベース） 生鮮野菜：千葉県産37.03%（もやし、にんじん、トマト、長ネギ、じゃがいも、きゅうり）
9月	⑭　9/25　トラスティフード本社衛生部職員による衛生巡回 ⑮　千葉県産の食材の使用状況9月分（重量ベース） 生鮮野菜：千葉県産21.93%（もやし）
10月	⑯　10/20 秋のわいわいフェスティバル　特別食の販売 （長柄みそラーメン、カツカレー、天丼、森の木シェイクうどん、ガーリックシュリンプ＆チーズパイ、完熟トマトソースのピザロール、バニラアイス、オレンジジュース、リンゴジュース） ⑰　千葉県産の食材の使用状況10月分（重量ベース） 生鮮野菜：千葉県産23.62%（もやし）
11月	⑱　11/6　冬メニュー試食会 ⑲　11/18　トラスティフード本社衛生部員による衛生巡回 ⑳　千葉県産の食材の使用状況11月分（重量ベース） 生鮮野菜：千葉県産54.11%（もやし、キャベツ、きゅうり、大根、トマト、長ネギ、サツマイモ）
12月	21　12/13　BMLフードサイエンスによる厨房衛生点検実施 22　千葉県産の食材の使用状況12月分（重量ベース） 生鮮野菜：千葉県産50.43%（もやし、大根、にんじん、トマト）
1月	23　1/30　本社衛生部職員による衛生講習会を実施。（参加者6名） 24　千葉県産の食材の使用状況1月分（重量ベース） 生鮮野菜：千葉県産77.64%（もやし、大根、にんじん、きゅうり、長ネギ）
2月	25　2/3　春メニュー試食会 26　2/4　衛生部職員による衛生巡回 27　2/15　本社衛生研修会　1名参加 28　2/18　食物アレルギー対応研修 29　千葉県産の食材の使用状況2月分（重量ベース） 生鮮野菜：千葉県産59.73%（もやし、大根、にんじん、きゅうり、長ネギ）
3月	30　千葉県産の食材の使用状況3月分（重量ベース） 生鮮野菜：千葉県産47.48%（もやし、大根、にんじん、きゅうり、長ネギ、トマト）

（３）生活用品、活動プログラムに使用する消耗品等の提供

提供件数	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計（件）
生活用品	12	22	13	17	17	8	20	12	4	5	8	15	153
活動プログラム教材	50	236	52	63	103	47	25	33	17	14	20	39	699
活動プログラム消耗品	17	20	7	22	29	16	8	15	5	6	12	12	169
その他	17	14	9	14	19	16	12	7	8	2	9	14	141
合計	96	292	81	116	168	87	65	67	34	27	49	80	1162

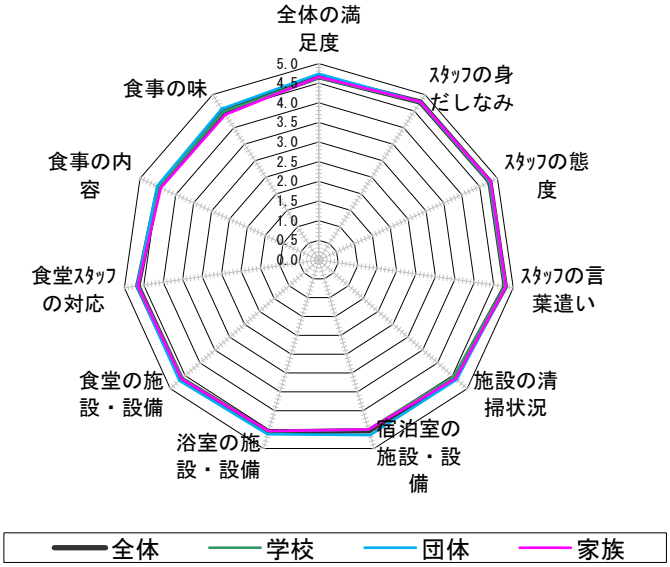
収入	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計（円）
生活用品	1,850	4,150	2,060	5,205	4,050	4,810	4,550	3,220	950	490	2,650	3,760	37,745
活動プログラム教材	28,810	72,080	19,860	53,760	67,460	24,270	8,540	17,860	10,830	6,590	12,540	25,610	348,210
活動プログラム消耗品	4,930	8,910	5,020	8,870	18,345	5,820	5,230	9,710	5,650	1,660	5,750	3,880	83,775
その他	7,380	2,650	2,120	2,365	3,840	3,700	2,290	2,330	1,830	200	2,400	2,460	33,565
合計	42,970	87,790	29,060	70,200	9,3695	38,600	20,610	33,620	19,260	8,940	23,340	35,710	503,795

３．２．２　利用者意見聴取・自己モニタリング

（１）利用者アンケート

a．アンケート結果（詳細は添付資料参照）

項目	学校	団体	家族	全体
全体の満足度	4.64	4.74	4.66	4.67
スタッフの身だしなみ	4.77	4.78	4.78	4.78
スタッフの態度	4.78	4.80	4.81	4.79
スタッフの言葉使い	4.78	4.81	4.81	4.79
施設の清掃状況	4.54	4.65	4.61	4.58
宿泊室の施設・設備	4.50	4.64	4.50	4.53
浴室の施設・設備	4.55	4.62	4.54	4.56
食堂の施設・設備	4.60	4.69	4.62	4.63
食堂スタッフの対応	4.65	4.67	4.66	4.65
食事の内容	4.48	4.52	4.42	4.48
食事の味	4.49	4.57	4.39	4.49



b．アンケートコメントおよび対応

利用者からの要望、施設やスタッフへの指摘事項とその対応は、各月次報告書を参照

（２）事業運営協議会

	開催日時	内　容
令和５年度第２回	７月 19 日（金） 14：00～16：00	1.　業務年間報告 2.　令和６年度年間計画 概要説明、進捗状況報告 3.　その他（質疑応答他）
令和６年度	３月 12 日（水） 14：00～16：00	1.　令和６年度事業運営業務報告 2.　令和７年度事業計画の概要説明 3.　質疑応答

（３）自己モニタリング（セルフモニタリング）

・随時セルフモニタリング

セルフモニタリングや改善業務の進め方として、各現場でクレームや苦情を受けた際や利用者とのやり取り、スタッフが気づいた場合等、その場で改善できると判断した場合は即時改善して実行した。業務の改善後は報告を行い、全体への情報共有を行った。その場で判断が困難な場合は、協議、検討後に改善業務にあたった。

・定期セルフモニタリング

自主モニタリング項目表を使用して月次定期セルフモニタリングを実施した。

令和6年度　管理業務の実施状況に関する自己評価（毎月ごとに月次報告項目での評価：月次モニタリング表）

評価基準　5段階評価：　A：事業計画に対し計画以上の実施　／　B：評価（C+）　／　C：事業計画どおり実施　／　D：評価（C−）　／　E：事業計画どおり実施できず

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1　市民の平等利用の確保・施設の適正管理													
1．1　市民の平等利用の確保	1　基本方針	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	2　目標	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	3　具体的な方策	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	4　使用許可及び仕様の制限等	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
1．2　関係法令等の遵守	1　個人情報の保護の取扱い、個人情報の漏洩防止	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	2　市民に対する情報提供および情報公開の取扱い	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	3　行政手続の明確化や透明化の取扱い	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	4　適正な労働条件の確保	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
1．3 リスク管理・緊急時対応	1　災害、火災、盗難等の事故・事件の防止対策および野生生物対策	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	2　避難所運営に関する長柄町との連携	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	3　利用者のけがや体調不良等への対策	C	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	4　火災、盗難等の事故・事件発生時や災害発生時、需要変動、第三者への賠償	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
2　施設の管理体制													
2．1　組織体制	1　管理運営の執行体制（役割分担、人員配置、諸会議、緊急時連絡、再委託）	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	2　専門スタッフの配置（維持管理業務資格者及び運営業務資格者の配置）	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	3 スタッフの能力向上（基本研修、会議）	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
2．2　施設の維持管理	1　施設・設備の保守管理（各施設の重点点検・補修事項、修繕、環境衛生管理）	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	2　備品の管理・清掃・警備等	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
3　施設の効用の発揮													
3．1　幅広い施設利用の確保	1　入退所時間・使用時間・休所日	B	B	B	B	B	C	C	C	C	C	C	C
	2　利用料金設定・減免	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	3　利用促進の方策 （キャンプサイト、プレーパークエリア、高校生以上の利用促進、広報活動、ボランティアとの協働）	C	C	C	C	C	C	C	C	C	B	B	B
3．2　利用者サービスの充実	1　利用者への支援（受付業務、食事・食材の提供、生活用品、P消耗品等の提供）	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	2　利用者意見聴取・自己モニタリング （利用者アンケート、事業運営協議会、セルフモニタリング、苦情等への対応）	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
3．3　施設における事業の充実	1　事業の効果的な実施（プログラム提供・開発、展示施設の運用、主催事業）	C	C	C	C	B	C	C	C	C	C	C	C
	2　自主事業（特別イベント実施、特別講座及び特別キャンプ運営事業）	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
4　その他													
4．1　市内業者の育成		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
4．2　市内・地元雇用への配慮		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
4．3　障碍者雇用の確保		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
4．4　施設スタッフの雇用の安定化への配慮		C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C

３．３　施設における事業の充実

３．３．１　事業の効果的な実施

（１）活動プログラム提供業務

	プログラム数	備考
プログラム総数	219	
学校用合計	188	うち指導サポート型 75 件 うち一時休止プログラム 1 件（令和 7 年 3 月末日） ・マダケ狩りとマダケ水煮作り：採取場所の長柄ダム外周遊歩道工事のため休止
学校用（移動教室・市外）	160	
学校用（農山村留学）	28	
団体・家族用（重複有り）	165	
団体用	139	
家族用	119	
のべプログラム数	353	

・令和６年度に利用する千葉市内小中学校に向け、千葉市教育センター内部ホームページを元に情報提供を実施した。また、千葉市外の小中学校には利用に関する施設情報一式（利用手続き～プログラム等）を収録したDVDを送付し、情報提供を行った。

（２）活動プログラム開発業務

プログラム名		内容・実施日等
遊歩道整備	随時	・安全点検、草刈り作業、整備状況の確認、階段周りの補修、草刈り ・4/1～　自然の家外周遊歩道の使用を全ルート解禁
	7 月	・林間広場の除草、枯枝処理、安全管理（8 月主催事業使用準備）
	12 月	・イノシシ対策：篠竹藪の潰し除去作業、掘り返し箇所修繕、落葉清掃
	1～3 月	・イノシシ対策：篠竹藪の潰し除去作業継続、掘り返し箇所（宿泊棟裏階段～スロープ周辺）修繕
主催・自主事業 検討	4 月	・春のわいわいフェスティバル（4/21）外部協力団体との打ち合わせ ・こだわりワークショップ企画のため外部講師と打ち合わせ ・4 月ファミリーキャンプ竹林の整備と下見 ・6 月ファミリーキャンプ外部注文の打ち合わせ ・6 月ファミリーキャンプ流しそうめんの竹台を講師と一緒に試作
	5 月	・6 月ファミリーキャンプ外部昼食注文打ち合わせ ・6 月ファミリーキャンプ流しそうめん台、竹クラフト打ち合わせ ・グローバルキャンプゲスト募集協力依頼 ・こだわりワークショップ（7/21 竹灯、7/28 フリーラック）講師打ち合わせ
	6 月	・6 月ファミリーキャンプビア缶チキン・クラフトコーラ・噴水ソーダ試作 ・グローバルキャンプゲスト募集協力依頼打合せ＠千葉県国際交流センター ・こだわりワークショップ（7/21 竹灯、7/28 フリーラック）講師打ち合わせ ・草木染め（ビワの葉染め）研修 外部専門講師によるワークショップに参加
	7 月	・秋のわいわいフェスティバル（10/20）外部依頼 ・こだわりワークショップ（竹灯・フリーラック、夏野菜ピザ）外部講師と打合せ ・グローバルキャンプ　外国人ゲスト募集協力外部団体との打合せ
	8 月	・第 149 回ファミリーキャンプ野外炊飯試作（8/5） ・第 149 回ファミリーキャンプ稲刈り外部（長柄町役場）協力依頼打ち合わせ（8/19） ・第 149 回ファミリーキャンプ稲刈り現地下見打ち合わせ（8/28） ・こだわりワークショップ（夏野菜ピザ・特別オリエンテーリング）外部講師と打合せ ・こだわりワークショップ（夏野菜ピザ）試作（8/5） ・グローバルキャンプ　外国人ゲスト募集協力外部団体との打合せ ・秋のわいわいフェスティバル外部団体出店参加依頼 ・こだわりワークショップ（クリスマスリース）講師打ち合わせ ・第 150 回ファミリーキャンプクラフト材料打ち合わせ

	9 月	・第 149 回ファミリーキャンプ野外炊飯試作（9/3） ・第 150 回ファミリーキャンプクラフト打合せ ・こだわりワークショップ（クリスマスリース）外部講師と打合せ ・グローバルキャンプ外国人ゲスト募集協力外部団体との打合せ ・グローバルキャンプ外国人ゲストとボランティア顔合わせ（ZOOM） ・グローバルキャンプ野外炊飯試作（9/10 9/14） ・秋のわいわいフェスティバル参加外部団体打合せ
	10 月	・第 150 回ファミリーキャンプ野外炊飯ハンバーグ試作（10/17） ・第 150 回ファミリーキャンプ野外炊飯シカゴピザ試作（10/27） ・第 150 回ファミリーキャンプクラフト打合せ ・こだわりワークショップ⑤（クリスマスリース）外部講師と打合せ ・こだわりワークショップ④（特別オリエンテーリング）外部講師と打合せ ・グローバルキャンプ参加外国人ゲストと打合せ ・秋のわいわいフェスティバル参加外部団体打合せ
	11 月	・第 150 回ファミリーキャンプクラフト打ち合わせ ・第 151 回ファミリーキャンプ野外炊飯試作（11/29） ・こだわりワークショップ⑤（クリスマスリース）外部講師と打合せ
	2 月	・2/27 プログラムで使用する竹林の整備 ・2/25 城西国際大学わいわいフェスティバル・グローバルキャンプ・ボランティア協力依頼 ・2/22 市原国際交流フェスティバルにてわいわいフェスティバル出店依頼（協力 JICA 千葉デスク）
	3 月	・プログラムで使用する竹林の整備 ・春のわいわいフェスティバル（4 月 20 日）外部団体打ち合わせ ・草木染め講師と打ち合わせ ・こだわりワークショップ外部依頼 ・食づくし（生産加工）講師と打ち合わせ
新規プログラム開発	4 月	・竹細工と藍染めのコラボレーションクラフトを外部講師と相談
	5 月	・6 月ファミリーキャンプビア缶チキン試作 ・6 月ファミリーキャンプクラフトコーラ試作
	6 月	・こだわりワークショップ～ウクレレレッスン＆ミニライブ～打合せ
	7 月	・こだわりワークショップウエルネスオリエンテーリング講師との打合せ ・草木染め講師依頼
	8 月	・草木染め講師依頼 ・藍染め綿生地試作
プログラム開発検討会	1 月	・次年度に向けた新規プログラム開発として、全スタッフ 2 個以上のプログラムを開発に取り組んだ。 ・1/22 プログラム検討会にて、新規プログラム及び既存プログラムの改定・削除を決定した。
農山村留学プログラム	1 月	・次年度以降、農山村留学プログラムの移動教室での実施について、1/16 に教育委員会教育指導課と協議した。 ・協議の結果、実施における諸注意を案内したうえで、移動教室でも農山村留学プログラムを実施することとなった。
既存プログラムの整理	1～3 月	・次年度へ向け、既存プログラムの整理（工程見直し、改善修正、統合、廃止）に合わせたプログラムシートの改定作業 ・近隣紹介の拡大、整備作業 ・整理（改定・統合・廃止等）した既存プログラムのプログラムシートを HP へ掲載した。
令和７年度提供プログラム	1～3 月	・令和７年度に提供するプログラムをシート化し、リリースできるよう作業を実施した。

（３）新規開発及び改良プログラム

・令和７年度　提供状況

	24 年度	25 年度				増減
			新規	改定	廃止	
プログラム総数	219	222	21	4	17	3
学校用合計	188	187	10	4	11	−1
学校用（移動教室・市外）	160	187	10	4	11	−1
学校用（農山村留学）	28					
団体・家族用（重複有り）	165	171	16	4	0	6
団体用	139	144	9	4	4	5
家族用	119	121	9	2	8	2
のべプログラム数	353	358				5

・新規

	プログラム名	対象			区分	提供方法	指導ｻﾎﾟｰﾄ型（学校のみ）
		学校	団体	家族			
1	ドミノゲーム	○	○		施設利用	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	
2	真夏の雪合戦	○				ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	
3	団体戦リバーシゲーム	○	○			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	
4	レーザーガンシューティング	○	○			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	
5	歩く EKIDEN	○	○			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	
6	ムシコレ	○	○		自然観察	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	
7	ハイキング後出しクイズ（長生き展望台 ver）	○	○	○		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	
8	スターウォッチング（星座観察タブレット Ver）	○	○			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	
9	星空ビンゴラリー	○	○			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	
10	非常時に使える！紙で作るお椀・コップ	○	○	○	野外活動	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	
11	木のマグネットキーフック	○	○		クラフト	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	有
12	ヨウセイちゃん	○	○			ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	有
13	小枝でアート	○	○	○		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	有
14	木のうちわ	○	○	○		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	
15	白せんす			○		売店	
16	落書きエコバック			○		売店	
17	篠竹オニヤンマくん			○		売店	
18	革のコースター			○		売店	
19	寄せ木細工ブローチ			○		売店	
20	ガラスタイルのフォトフレーム			○		売店	
21	ガラスタイルのコースター			○		売店	

・改良（大規模改定のみ）

	プログラム名	対象			区分	提供方法	備考
		学校	団体	家族			
1	ナイトハント（猛獣 ver・星空 ver・妖怪 ver・月 ver・危険生物 ver）	○	○		自然観察	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	危険生物 ver 追加
2	焼き板	○	○		クラフト	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	ハーフ追加
3	ぐるぐる棒巻きパン	○	○	○	食育	ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	調理過程変更
4	米粉で作るぐるぐる棒巻きパン	○	○	○		ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼｰﾄ	調理過程変更

（４）活動プログラム環境整備

プログラムエリア	月	作業内容
ふるさと田んぼゾーン	通年	・管理作業全般
	4～9 月	・湿生植物池周辺の草刈り作業他 ・ザリガニ釣りエリアのメンテナンス
田んぼ ・湿生植物池	4 月	・田んぼ管理作業全般（水位調節：代掻き、周囲の枯草処理） ・湿生植物池周辺の草刈り作業～一部耕運を実施 ・水路管理 ・ディーゼル耕運機　作業～水田車輪導入
	5 月	・田んぼ管理作業全般（水位調節：代掻き、周囲の枯草処理） ・湿生植物池周辺の草刈り作業～一部耕運を実施 ・水路管理、一部浚渫作業 ・ディーゼル耕運機　作業～水田車輪　田～湿生植物池耕運 　葦の根切り作業を兼ねる
	6～7 月	・田んぼ管理作業全般（水位調節、水田内の除草作業、枯草処理） ・湿生植物池周辺の草刈り作業 ・水路管理、一部浚渫 ・ディーゼル耕運機　作業～水田車輪　田～湿生植物池耕運 　葦の根切り作業を兼ねる（継続）
	8～2 月	・田んぼ管理作業全般 ・田んぼ～湿生植物池周辺の草刈り作業、畦除草 ・田んぼ内のイノシシ被害状況の確認、畦損壊等への一部復旧作業 ・イノシシによる畦掘り返し復旧作業
	3 月	・田んぼ周辺～畦損壊等のイノシシ被害への復旧作業 　（畦土盛り、決壊箇所補修、埋まった水路復旧ほか） ・湿生植物池、田んぼ水路の一部浚渫作業 ・畦決壊箇所（ザリガニ穴等）の補修作業 ・その他、畦不具合箇所の土盛り作業
畑	4 月	・春収穫野菜畑管理全般～ワンデー農業提供予定の収穫物管理 ・土壌改良材：菌床オガクズの搬入作業を継続 ・晩春～夏野菜苗育成～移植 ・ディーゼル耕運機　作業導入
	5 月	・春→夏秋野菜へ移行　畑管理全般～プログラム用農作物の管理 ・土壌改良材：菌床オガクズの搬入～土壌漉き込み作業を継続
	6 月	・夏秋野菜畑の管理全般～プログラム用農作物の管理 ・土壌改良材：菌床オガクズ土壌漉き込み作業を継続
	7 月	・夏秋野菜畑の管理全般～プログラム用農作物の管理 ・主催事業プログラム提供 ・土壌改良材：菌床オガクズ土壌漉き込み作業を継続 ・カラス対策：防鳥ネット、カイト設置 ・害獣ネット一部設置
	8～11 月	・夏秋野菜畑の管理全般～プログラム用農作物の管理 ・主催事業プログラム提供 ・土壌改良材：菌床オガクズ土壌漉き込み作業を継続 ・害獣ネット設置 ・イノシシの活動跡の修繕（畑周辺土の掘り返しあり）作業継続 　（畑裏小川補修） ・除草作業、台風対策作業

	10 月	・台風により損傷した農業倉庫の天幕張替え
	12 月	・野菜畑の管理全般～プログラム用農作物の管理（冬～春） ・主催事業プログラム提供
	1 月	・プログラム用藍苗の育苗
	2～3 月	・プログラム用藍苗の育苗 ・菌床漉き込み作業
キャンプサイト	通年	・キャンプサイトの安全点検（随時） ・キャンプサイトの区画内、及び周辺の安全点検 ・キャンプサイト利用中の施設巡回、利用者サポート ・利用状況に合わせて利用開始～終了時間の柔軟な対応 ・ディキャンプ（日帰りキャンプ、日帰り BBQ）に対応 ・高校生以上の大人が主体の団体・家族 利用料金半額キャンペーン
	4 月	・BBQ用品、レンタル器材の点検を実施 ・BBQグリル洗浄～メンテナンス作業を実施
	2 月～	・ボランティア自主研修テント泊随時受入れ
花壇、その他	4 月	・集いの広場周辺の環境整備、花壇の整備、灌水、除草 なの花撤去、順次入れ替えを実施中
	5 月	・集いの広場周辺の環境整備、花壇の整備、灌水、除草～耕運作業 （プログラム用の藍・花苗植付）
	6～9 月	・グリーンカーテン（朝顔）設置～管理～撤去
	10 月	・藍の管理（種子確保～管理養生）
	11～12 月	・集いの広場周辺の環境整備、花壇の整備（冬～春） ・藍の管理（種子採取）
	1 月	・花苗の育苗
	2 月	・花苗の育苗（春～夏） ・菌床漉き込み作業
	3 月	・集いの広場周辺の環境整備、花壇の整備（冬～春） 3 月 20 日に千葉市内高校生の生徒会メンバーがボランティア活動として花壇の整備を行った。 ・「春みっけ！」カードを花壇のさまざまな植物につけた。 ・花苗の育苗（春～夏） ・創立20周年を記念して花壇にマリーゴールドを植えた
野外炊飯	通年	・ログハウス野外炊飯場セット器材チェック～劣化消耗品の一部更新、包丁研ぎ（適宜実施）、まな板の漂白作業を継続、青カゴ洗浄、包丁研ぎなおし
ハイキングコース安全確認	毎月	・長生き展望台、武峯神社（コース上の安全確認） 所外周辺道路全般の安全点検、イノシシの痕跡確認 ・所内OL、ウォークラリーコース（コース上の安全確認） 所内イノシシの活動痕跡の状況、コース不具合の確認、対策 ・外周遊歩道（4/1～遊歩道上の安全確認）
	9～11 月	・長生き展望台、武峯神社（コース上の安全確認） 所外周辺道路全般の安全点検、林間コース周辺の掘り返し（イノシシ）多数あり、利用者への注意喚起を継続する。

		・所内OL、ウォークラリーコース (コース上の安全確認、害獣、スズメバチの活動点検含む)
	12～3 月	・所外周辺道路全般の安全点検、林間コース周辺にイノシシの活動痕跡が多数あり、電気柵の新規設置を確認、利用者への注意喚起強化を継続する。 ・所内OL、ウォークラリーコース(コース上の安全確認、害獣の活動点検含む)

（５）展示施設の運用

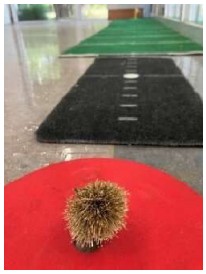
・感染症予防の対策として行ってきた展示室1階出入口のドアの開放は、利用者が気軽に施設を活用できるように継続して行った。

・ソノリウムは密閉空間となるため、保護者等大人の同伴による自然観察・星座観察等の事前学習に画像投影で使用した。

・企画展についてはアンケートと来場者への聞き取り等を通じ、ニーズに合った展示を行った。また、企画展の開催に合わせ2階窓にポスター（張り紙）を掲示しPRに努めた。

展示の運用	月	実施内容
a 自然博物館としての活用	通年	・常時開放を原則とし、利用者の利用時間帯に応じて柔軟な対応を行った。 ・顕微鏡観察コーナーに顕微鏡照明装置の設置し、土壌生物等の観察等ができるセルフスペースの設置を継続した。 ・昆虫標本の入替え、防虫剤の交換、照明器具の更新を適宜実施した。 ・解説札・掲示物等の修理・更新を適宜行った。
	4 月	・展示台蛍光管の交換を行った。
	5 月	・壁面パネル3枚の張替えと、展示台蛍光管の交換を行った。
	6～8 月	・昆虫標本の追加、入替え、防虫剤及び照明器具の交換を随時行った。 ・6/1より夏の企画展「房総 増える生きもの 消える生きもの-外来生物と変わる生態系-」を開催
	9 月	・2階学習スペースにて開催の企画展「房総 増える生きもの 消える生きもの-外来生物と変わる生態系-」を9月末で終了
	10～12 月	・双眼実体顕微鏡は企画展とリンクした対象物を用意し、併せて使い方の説明書きも更新した。 ・10/1より2階学習スペースにて企画展「生き物に学ぶバイオミメティクスの世界」を開催。展示物に触れることのできるハンズオン型の展示
	2 月	・2階学習スペースに「気(木)になる冬の顔」というテーマで敷地内に生える樹木の葉痕を写真展示した。 ・1階の双眼鏡置き場に惑星の紹介コーナーを設置した。
b 学習室＋図書室としての活用	4 月	・展示室2階の学習スペースの利用を継続し、蔵書(図鑑類)の補修を行った。 ・双眼実体顕微鏡をエントランスホールに設置した。対象物は季節に応じて加減する。
	5～6 月	・夏の企画展のため、会場となる展示室2階学習スペースの模様替えを行った ・双眼実体顕微鏡をエントランスホールに設置した。対象物は季節に応じて加減する。 ・図鑑・書籍の補修を都度行っている。
	8 月	・展示室内に設置していた双眼鏡を一部更新した。
	9 月	・夏の企画展終了に伴い、2階学習スペースのレイアウトを変更
	10 月	・2階学習スペースのレイアウトを変更。天文コーナーを整理し元の位置に戻した。
	11 月	・1階自由研究スペースに調べ学習用のPCを設置し、デジタル図鑑(昆虫・鳥・植物)をセッティングした。
	12～3 月	・1階自由研究スペースに調べ学習用のPCを設置した。また、過去に撮られた画像を整理し、自然の家の野鳥図鑑をつくりデジタル図鑑と併せて調べられるようにした ・図鑑の修理を行った。
c 自然の家ギャラリーとしての活用	4～5 月	・展示室に「春のうた」クイズコーナーを継続して設置 ・展示室1階「自然の家に春が来た」の展示を5月末まで設置
	6～7 月	・展示室 1 階に夏の花と星の紹介コーナーを設置した。
	9 月	・展示室 1 階に秋の花とクイズコーナーを設置した。 ・9 月からの展示に向け準備を行った。
	10 月	・展示室1階に秋の花とクイズコーナーは「秋のわいわいフェスティバル」終了後一部変更した。

	11～2 月	・展示室 1 階に秋の花とクイズコーナーを 11 月末で終了。冬期は季節にちなんだ「冬を楽しもう」を展示
	2～3 月	・展示室 1 階に季節にちなんだクイズ形式の「春が来た」を展示した。
d 多目的シアターとしての活用	通年	・ソノリウムでは、前年度 9 月より保護者等大人の同伴による自然観察・星座観察等の事前学習に DVD を投影し使用した。
e生態展示コーナーとしての活用 f.その他	通年	・飼育槽は適宜給餌、苔除去、浄化ポンプのフィルター洗浄・交換を実施。
	4 月	・2月に卵を採集したトウキョウサンショウウオの飼育記録を掲示した。 ・県重要保護生物のニホンアカガエルは順調に成長し、一部はテラリウムに移した。
	5 月	・ニホンアカガエルはオタマジャクシから成体になり、2匹をテラリウムに移した。
	6 月	・夏の企画展に合わせ、1階エントランスホールに外来種のクワガタムシ、カミキリムシの成虫を展示した。
	7 月	・ニホンアカガエル、アマガエルの成長に合わせ、変化(成長)が分かるよう展示した。
	8 月	・成体になったニホンアカガエル・アマガエル等カエル類は野外に放した。(テラリウムは当面休止とする)
	9 月	・カエル類の野生復帰に伴い、水槽の清掃と入替えを行った。 ・ザリガニについては数が減ってきたため、時機を見て田んぼゾーンから数個体移す予定。
	10 月	・カズサヨシノボリ・メダカ・モツゴを田んぼゾーンにて採集し、水槽に追加した。 ・ザリガニについては数が減ってきたため、「秋のわいわいフェスティバル　ザリガニ釣り」で採集した6個体を移した。
	11 月	・メダカはヤゴの捕食にあったため田んぼゾーンにて採集し、水槽に追加した。
	12 月	・メダカ・モツゴ・カズサヨシノボリなどのほか、生態系の変化に関心を持ってもらうためにスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)・アメリカザリガニ・タイリクバラタナゴといった外来種も飼育展示している。
f.その他	通年	・企画展の開催に合わせ2階窓にポスター(張り紙)を掲示した。
	7 月～	・エントランスホールに「ゴキブリチョロQ」のゲーム(カーリング)を設置した。
	9 月	・エントランスホールに「どんぐりコロコロ」のゲームを設置した。
	10 月	・エントランスホール横の「イガグリゴルフ」を手直し
	11 月	・2階学習スペースのPCはサーバー(今日の星空)・本体とも修理不能と判明したため完全撤去した。教育委員会の備品のため抹消する場合は教委が行う。
	12 月	・ベースボールチャレンジゲームをエントランスホールに設置
	2 月	・水の表面張力を利用したゲーム「ウニ坊主」をエントランスホールに設置



（６）主催事業

① 教育的課題対応

事業名	日程		募集 【目標人数】	参加	備考
リーダーシップキャンプ	8/20～23		24 人【20 人】	24 人	
長柄ジョイントキャンプ	第１回	10/16～18		56 人	千葉市教育センター共催 募集は市教育センター
	第２回	2/14～16		69 人	
グローバルキャンプ	10/12～14		60 人【40 人】	46 人	
ドキドキ１泊キャンプ	12/21～22		40 人【30 人】	46 人	

＜リーダーシップキャンプ＞
対　象：千葉市在住の小学5・6年生
ねらい：子どもたちの課題解決能力、リーダーシップ能力の育成
内　容：野外炊飯、テント泊、10ｋｍハイキング、プール遊び、キャンプファイアーなど

＜長柄ジョイントキャンプ＞
対　象：ライトポートやグループ活動等に通う小学生、中学生
ねらい：野外活動・宿泊体験活動を通して、参加者の自立を目指す。
内　容：各ライトポート、教育センターに通級する児童・生徒が集まり、野外活動・宿泊体験活動を実施。教育センターとの連携事業。
第1回　施設内ウォークラリー、野外炊飯（ピザづくり）、キャンプファイアー等
第2回　交流ゲーム、野外炊飯（創作料理）、キャンドルサービス、フリーチョイス等

＜グローバルキャンプ＞
対　象：千葉県内在住の小学4年生～6年生
ねらい：外国人ゲストとの交流を通して、グローバルな視点を育む機会を作る。
集団宿泊活動を通じて、異年齢の子どもが交流する機会を作る。
内　容：オリエンテーリング、ナイトハント、野外炊飯（インドネシア料理・ケニア料理）、交流プログラム～文化・生活編～（ゲストから六カ国の紹介・子ども達から日本にまつわる物紹介）、交流プログラム～レクリエーション＆スポーツ編～（中国のジェンズ体験・日本のザリガニ釣り体験）、キャンプファイアーなど

＜ドキドキ1泊キャンプ＞
対　象：千葉市在住の小学4年生
ねらい：5年生で移動教室に参加するための自信につなげる
内　容：交流ゲーム、施設の使い方（食堂、お風呂、野外炊飯場、宿泊部屋など）、木のペンダント作り、夜・朝散歩、焚き火でマシュマロ焼き

②野外活動・体験活動

事業名	日程		募集 【目標人数】	参加	備考
ウインターキャンプ	12/26～28		80 人【60 人】	61 人	
スプリングキャンプ	3/23～25		60 人【40 人】	63 人	
マンスリー ウイークエンド	第 1 回	4/13～14	各 36 家族 【104 人】	117 人(34 家族)	
	第 2 回	5/11～12		120 人(35 家族)	
	第 3 回	6/10～11		85 人(24 家族)	
	第 4 回	1/18～19		121 人(32 家族)	
	第 5 回	2/15～16		110 人(33 家族)	
ファミリーキャンプ	第 1 回	4/6～7	各 18 家族 【48 人】	66 人(18 家族)	
	第 2 回	5/5～6		78 人(18 家族)	
	第 3 回	6/22～23		56 人(18 家族)	
	第 4 回	9/7～8		62 人(17 家族)	
	第 5 回	11/16～17		57 人(17 家族)	
	第 6 回	12/7～8		65 人(16 家族)	
星空キャンプ	第 1 回	9/22～23	各 18 組【48 人】	67 人(16 家族)	
	第 2 回	2/1～2		61 人(18 家族)	
防災キャンプ	3/1～2		10 家族【5 家族】	8 人(3 家族)	
はじめてのテント泊	第 1 回	5/18～19	各 10組 【30人】	21 人(6 組)	
	第 2 回	7/6～7		39 人(10 組)	
	第 3 回	10/5～6		25 人(8 組)	
	第 4 回	11/9～10		28 人(7 組)	
こどもデイキャンプ	第 1 回	4/27	48人 【40人】	47 人	年 4 回の通年プログラム
	第 2 回	7/15		44 人	
	第 3 回	11/10		43 人	
	第 4 回	2/24		41 人	
スポーツクライミング 体験会	第 1 回	4/29	各 35 人 【ｸﾗｲﾏｰ21人】	22 人	クライマー、見学者含む
	第 2 回	5/3		30 人	
	第 3 回	5/6		19 人	
	第 4 回	5/26		15 人	
	第 5 回	6/30		33 人	
	第 6 回	7/28		55 人	
	第 7 回	8/25		41 人	
	第 8 回	9/29		45 人	
	第 9 回	10/27		5 人	
	第 10 回	11/24		22 人	
	第 11 回	12/22		23 人	
	第 12 回	1/26		9 人	
	第 13 回	2/24		28 人	
	第 14 回	3/30		49 人	
ワンデー農業体験	第 1 回	5/4	各 30 人 【20人】	38 人	
	第 2 回	6/30		21 人	
	第 3 回	7/27		7 人	
	第 4 回	8/5		6 人	追加回
	第 5 回	8/10		17 人	追加回
	第 6 回	8/21		2 人	追加回
	第 7 回	8/31		12 人	
	第 8 回	9/23		31 人	
	第 9 回	10/27		28 人	
	第 10 回	11/3		14 人	追加回
	第 11 回	11/4		4 人	追加回
	第 12 回	12/8		21 人	追加回
	第 13 回	1/19		16 人	追加回
藍の生葉染め ワークショップ	第 1 回	8/4	各 40 人 【30 人】	27 人	
	第 2 回	8/10		34 人	
	第 3 回	8/12		20 人	
	第 4 回	8/18		26 人	
	第 5 回	8/24		10 人	
	第 6 回	9/23		19 人	追加回

ナイトアドベンチャー	第１回	7/20	各 30 人 【25 人】	42 人	
	第２回	7/27		40 人	
	第３回	8/10		42 人	
	第４回	9/14		56 人	
	第５回	11/2		35 人	
	第６回	1/25		10 人	
	第７回	3/15		20 人	
プレパの日	第１回	11/3	各 30 人 【20 人】	41 人	
	第２回	12/1		7 人	
	第３回	1/12		10 人	
	第４回	2/2		27 人	
	第５回	3/2		30 人	

＜マンスリーウィークエンド＞
対　象：3歳以上中学生以下の子どもを含む家族
ねらい：家族の交流・自然体験（アウトドア初心者向き）

4月）春のおとずれ♪
内　容：クライミングウォール、ヨモギ団子作り、手作りせっけん、春を感じて展望台ハイキング、キャンプファイアー、星空さんぽ、シネマ

5月）新緑パワー
内　容：クライミングウォール、棒巻きパン、ザリガニ釣り、バンダナ作り、キャンプファイアー、アニマルカードハンティング、シネマ

6月）さわやか初夏キャンプ
内　容：クライミングウォール、パイナップルの丸焼き、草花の紙すき、田んぼで生き物探し、レクゲーム、ナイトハント、シネマ

1月）開運！年始めキャンプ
内　容：クライミングウォール、初詣ウォークラリー、焼き板絵馬、あんまん作り、ドミノ倒し、星空さんぽ、シネマ

2月）自然の家でバレンタイン
内　容：クライミングウォール、チョコブラウニー作り、チョコ入りクッキー作り、木のカレンダー作り、葉脈アート、アヒルホッケー、シネマ

＜ファミリーキャンプ＞
対　象：小学生、中学生を含む家族
ねらい：家族同士の交流・自然体験（アウトドア経験者向き）

4月）たけのこ掘り＆旬を味わうたけのこ飯
内　容：交流ゲーム、たけのこ掘り体験、竹の飯ごう作り、野外炊飯たけのこ炊き込みご飯

5月）チャレンジ！田植え＆アウトドアクッキング
内　容：交流ゲーム、田植え体験、食材ナイトハント、野外炊飯骨付きもも肉カレー作り

6 月）ビア缶チキン＆流しそうめん
内　容：交流ゲーム、竹細工作り（竹のお椀、流しそうめんの台、竹紙灯り）、夕食野外炊飯（ビア缶チキン、クラフトコーラ等）、昼食野外炊飯（サイダー噴水で白玉フルーツポンチ、流しそうめん）

9月）稲刈り体験　田んぼの恵みとパエリアの香り
内　容：交流ゲーム、稲刈り体験（所外）、小枝のスプーン作り、昼食野外炊飯（パエリア、たまごスープ）

11 月）みんな一緒に！まんぷくキャンプ♪
内　容：交流ゲーム、レザークラフト、夕食野外炊飯場（シカゴピザ、サラダ）、昼食野外炊飯（ハンバーグ、スモアーズ）

12 月）自然の中で★クリスマス
内　容：交流ゲーム、バウムクーヘンのクリスマスケーキ作り、木のメッセージボード作り、昼食野外炊飯（クリームパスタ作り）

＜はじめてのテント泊＞
対　象：どなたでも(内容は家族向け)
ねらい：キャンプサイトの利用促進。キャンプ入門のきっかけにする。
内　容：テント設営撤収、野外炊飯（カレー作り、ホットドッグ作り）、テント泊

＜こどもデイキャンプ＞

対　象：千葉市在住の小学生2～4年生

ねらい：年間プログラムを通して、自然の中で季節を感じる。
縦割りグループでの活動のなかで、コミュニケーション能力を培う。

内　容：

春）木の名札づくり、所内自然探検、夏野菜の苗植え、生き物観察

夏）野菜の収穫体験、泥んこ遊びなどの、自然の中で季節を感じながら楽しめるプログラム

秋）落ち葉集め、焚き火で焼き芋、秋のネイチャーオリエンテーリング

冬）森でアニマルカードハンティング、枝拾い、七輪で焼きマシュマロ、思い出のアルバム作り、スライドショー鑑賞

＜スポーツクライミング体験会＞

内　容：家族や個人、大人から子どもまで日帰り利用でも参加を可能するイベントとして実施

対　象：ボルダリング：3歳以上　トップロープ：小学生以上
（身長115㎝以上、ウエスト52㎝～107㎝）※小学生までは保護者同伴

ねらい：初心者向けにクライミングウォールを登る体験の場を提供し、スポーツクライミングの普及を図る。

＜ワンデー農業体験＞

対　象：誰でも

ねらい：食への関心を高める「食育」としての農業体験を提供する。

内　容：第1回　田植え、時期の農作物収穫
第2回　農作物収穫（ジャガイモ等）
第3回　農作物収穫（ナス・ピーマン・ミニトマト等）
第4～7回　農作物収穫（夏野菜等）
第8回　農作物収穫（サツマイモ・ナス・ピーマン等）
第9回　稲の脱穀・籾摺り・精米・ポン菓子
第10～11回　農作物収穫（里芋）
第12～13回　農作物収穫（ダイコン）

＜藍染めワークショップ＞

対　象：誰でも

ねらい：日帰りの利用促進、自然体験や染め物体験の提供

内　容：藍の生葉を摘んで、シルクのスカーフを藍の生葉でしぼり染めにする。

＜ナイトアドベンチャー＞

対　象：誰でも(内容は家族向け)
ねらい：夜の自然を楽しむ。
内　容：第１回　昆虫探検隊!!
第２回　夏の星空ハイキング
第３回　夏の星空ハイキング
第４回　星空観察＋キャンプファイアー
第５回　ランタン作り＆キャンプファイアー
第６回　ファイアースターターで着火!!＆みんなでキャンプファイアー
第７回　星空ナイトツアー

＜プレパの日＞

対　象：誰でも(内容は家族向け)
ねらい：プレーパークを利用して、創造的に遊ぶ場を提供する。
内　容：第１回　焼き芋つくり、プレパ遊び
第２回　シャボン玉、プレパ遊び
第３回　弓矢作り、プレパ遊び
第４回　忍者修行、プレパ遊び
第５回　基地作り、プレパ遊び

＜星空キャンプ＞

対　象：小学生以上、中学生以下の子どもを含む家族
ねらい：千葉市科学館との共催により、星に関する専門的なプログラムと自然の家スタッフによる野外活動が体験できる。
内　容：星空をテーマに1泊2日のキャンプを行う。

＜防災キャンプ＞

対　象：小・中学生を含む家族
ねらい：被災時に役立つプログラムを行い、日頃の備えを見直すきっかけとする。
内　容：災害時の避難所体験を想定し、体育館（プレイホール）で宿泊する。

＜ウィンターキャンプ＞

対　象：千葉県内在住の小学4年生～6年生

ねらい：集団宿泊活動を通じて、異年齢の子どもが交流する機会を作る。
生活のルールを学び、健康のための知識と経験を与える機会とする。

内　容：オリエンテーリング、紙すき、クレープ作り、クライミングウォール、ミニ門松作り、キャンドルサービスなど

＜スプリングキャンプ＞

対　象：千葉市に居住する小学6年生

ねらい：小学校卒業から中学校入学までの期間の有効活用し、6年生最後の春休みに体験活動を通じて様々な学校の児童同士が交流する。

内　容：オリエンテーリング、ナイトハント、クライミングウォール、クラフト、キャンプファイアー、野外炊飯

③青少年指導者育成

事業名	日程		参加	備考
クライミング指導者養成講座	第1回	4/3	39人	学校担当者向けに開催
	第2回	4/14	24人	
	第3回	5/12	9人	
	第4回	6/2	21人	
	第5回	6/9	29人	学校担当者向けに開催
	第6回	6/22	12人	
	第7回	7/7	10人	
	第8回	8/19	34人	学校担当者向けに開催
	第9回	9/1	16人	
	第10回	10/6	11人	
	第11回	12/15	10人	
	第12回	2/9	11人	
自然の家プログラム体験会	第1回	4/3	8人	
	第2回	6/5	6人	
	第3回	8/19	6人	
キャンプインストラクター養成講習会	実技編:5/25～26 理論編:オンデマンド配信		10人	千葉県キャンプ協会共催
野外活動指導力向上講座	7/24		11人	千葉市教育センター共催
ボランティアサンクスデイ	3/9		23人	

＜クライミング指導者養成講座＞

対　象：千葉市少年自然の家の利用申し込みを行い、クライミングウォールの実施を希望する団体の指導者(高校生不可)、学校の教職員

ねらい：利用者に安全管理、器具の取り扱い方や指導法について講習する。（修了者は、当所のクライミングウォールを利用することができる）

内　容：クライミングウォールの安全管理、器具の取り扱い方法、指導法

＜自然の家プログラム体験会＞

対　象：高校生以上で、指導者または野外活動指導に興味がある方

ねらい：千葉市少年自然の家の活動プログラムを体験し、野外活動のスキルアップやプログラム実施上の安全管理等を学ぶ。

内　容：野外炊飯指導法（焼き板の実施を体験しながら）、クラフト指導法

＜キャンプインストラクター養成講習会＞

対　象：キャンプ活動および指導に関心を持つ満18歳以上の方

ねらい：キャンプの理論やキャンプ生活に関する基礎実技、野外活動種目などの応用実技を学ぶ。講習会修了者は、日本キャンプ協会公認のキャンプインストラクター資格を受けられる。

内　容：キャンプ理論、テント設営、野外炊飯、ロープワーク、キャンプファイアー、救急法、ウォークラリー　等

＜野外活動指導力向上講座＞

対　象：千葉市教員（千葉市教育センター共催）

ねらい：千葉市教員における野外活動の指導力を向上する。

内　容：カレー作りを通した野外炊飯指導法、キャンプファイアーの意義と指導法

＜ボランティアサンクスデイ＞

対　象：自然の家登録ボランティアとその関係者

ねらい：ボランティア同士、ボランティアと関係者やスタッフが交流し、ボランティアのモチベーションを確保・維持する。

内　容：令和6年度の活動報告、令和7年度活動予定連絡、ボランティアと自然の家スタッフで行う交流会。BBQ等を行いながら、親睦を深める。

④少年自然の家開放事業

事業名	日程		参加人数	備考
わいわい フェスティバル	春	4/21	1,612 人	事前申込み制
	秋	10/20	1,143 人	

＜わいわいフェスティバル＞

対　象：誰でも（事前申し込み、空きプログラムは当日受付可）利用料金無料

ねらい：オープンデーとして自然の家を開放し、市民や近隣の方に自然の家を知ってもらう。

内　容：クライミング、火起こし体験＆スモワーズ、ザリガニ釣り、各種オリエンテーリング、ボッチャ、卓球、モルック、レーザーシューティングゲーム、協力団体による各種クラフト体験教室、ステージプログラム、出店、シネマ、長柄町の生産組合や商工会による野菜・加工品等の特産品販売、ピクニックエリア（デイキャンプサイト）

⑤説明会・体験会

事業名	日程		参加人数	備考
使用団体説明会	第１回	4/6	44 人	団体説明会後、市外学校説明会を実施
	第２回	4/14	39 人	
	第３回	5/6	36 人	
	第４回	5/12	45 人	
	第５回	6/2	116 人	
	第６回	6/8	51 人	
	第７回	6/22	45 人	
	第８回	7/7	33 人	
	第９回	7/13	25 人	
	第 10 回	9/1	23 人	
	第 11 回	9/7	18 人	
	第 12 回	10/6	14 人	
	第 13 回	11/9	9 人	
	第 14 回	12/15	19 人	
	第 15 回	1/13	18 人	令和７年度説明会を兼ねて実施
	第 16 回	2/9	15 人	
	第 17 回	3/9	18 人	
市立学校担当者 下見･相談会	第１回	4/3	37 人	
	第２回	6/9	22 人	
	第３回	8/19	29 人	
市外学校利用説明会	第１回	4/3	33 人	
	第２回	6/9	44 人	
	第３回	8/19	40 人	
市外学校見学会	第１回	7/23	２人	次年度利用を検討している学校向け
	第２回	8/5	３人	
	第３回	8/27	２人	
次年度市立学校説明	3/1～		－	オンデマンド配信

＜使用団体説明会＞
対　象：令和６年度の利用申し込みをした団体の引率者
ねらい：よりよく自然の家を利用するための説明会を行う。
内　容：利用に際して、手続き方法・利用時当日の注意を説明し、利用相談を行う。

＜市立学校担当者　下見・相談会＞
対　象：市立学校の利用担当者（打ち合わせ開始時期を考慮し、利用日により参加日を指定）
ねらい：よりよく自然の家を利用するための説明会を行う。
内　容：施設を有効に活用するための下見とプログラム相談会とする。（利用説明会はオンライン配信）

＜市外学校担当者　利用説明会＞
対　象：市外学校の引率者
内　容：利用に際して、プログラム立案・手続き方法・利用時当日の注意を説明し、利用相談を行う。

＜市外学校　見学会＞
対　象：令和７年度の利用を検討している学校
内　容： 施設・プログラムの案内、申し込み方法等について案内し、申し込み相談を行う。

＜次年度市立学校利用説明会　オンデマンド配信＞
内　容：令和７年度に自然の家を移動教室、げんきキャンプ等で使用する場合の諸手続き、プログラム立案に係る説明、諸注意等の情報提供を実施
対　象：千葉市立学校の引率教員

⑥その他

事業名	日程	参加人数	備考
絵手紙コンテスト	4/1～2/14（募集期間）	419 人（応募数）	7 校・個人応募 3 人

＜絵手紙コンテスト＞
対　象：令和6年度に自然の家を利用した小学生
ねらい：利用の振り返りを促す。作品を掲示することで、利用促進を図る。

３．３．２　自主事業

（１）特別イベント実施事業

①　事業名	日程		参加	備考
キャンプサイト	4月		115人	・デイキャンプ ・日帰りＢＢＱ ・テント宿泊 延べ利用者数 （主催事業参加者は集計外）
	5月		224人	
	6月		159人	
	7月		127人	
	8月		212人	
	9月		77人	
	10月		128人	
	11月		151人	
	12月		17人	
	1月		45人	
	2月		53人	
	3月		47人	
地元農家での体験活動・収穫物紹介	4/21		－	わいわいフェスティバルで実施
	5/5			
	8/30～9/2			
	10/20			わいわいフェスティバルで実施
こだわりワークショップ	第1回	7/21　午前	28人(8組)	竹灯り
	第2回	7/21　午後	13人(5組)	竹灯り
	第3回	7/28	21人(11組)	木工作
	第4回	8/31	34人(11組)	ピザ
	第5回	10/20	66人	わいわいフェスティバルで実施
	第6回	11/23	26人(8組)	
	第7回	12/1	7人(3組)	

＜キャンプサイト（テント泊エリア）＞

対　象：家族単位での使用、団体使用可、デイキャンプ（日帰りBBQ等の利用）可

内　容：テントを使用した野外宿泊体験活動の場（フリーサイト8区画+予備2区画）を施設の休所日を除く土日祝日、長期休業日に提供。天候に左右される施設のため、当日キャンセルを可能として運営

＜地元農家での体験活動・収穫物紹介＞

対　象：誰でも

内　容：地元長柄町の農家や生産組合、道の駅や直売所等（ながらグリーンツーリズム）と連携して、地元産の路地野菜や加工品の紹介する機会とした。

＜こだわりワークショップ＞

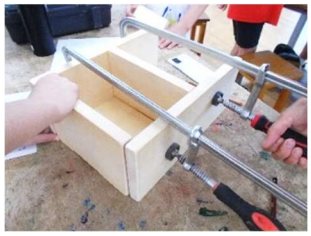
対　象：誰でも

ねらい：日帰り施設利用の促進、大人のみでの利用など新たな利用者の促進

内　容：外部講師による特別クラフトや特別なアウトドア料理等

第１回　竹灯り

第２回　竹灯り
第３回　一枚板から木工作！フリーラック
第４回　もりもり夏野菜ピザ！
第５回　特別オリエンテーリング～ゾンビからの脱出～
第６回　ピラフ入りローストチキン
第７回　フレッシュ素材の X'mas リース～革のオーナメントつき～



（２）特別講座運営事業

事業名	日程	参加	備考
プロジェクトアドベンチャー指導者体験会	7/6	７人	

＜プロジェクトアドベンチャー指導者養成講座＞

対　象：18歳以上の方、教職員、一般団体の指導者
内　容：千葉市少年自然の家スタッフによる学校や団体でプロジェクトアドベンチャー（PA）設備を利用する際のPA指導に役立つ実践講座を開催した。既存のPA施設の活用や指導者を増やすことで、PA設備の利用を促進する。また、大人の施設利用率の向上を促す。

４．　その他

４．１　市内業者の育成

・市内業者の受注機会の確保及び育成、地域経済の活性化を図るため、関係法令を遵守しつつ適正な競争原理のもとに、公平性を確保しながら、業務を確実に遂行する千葉市内業者、準市内業者の委託先を率先して選定した。

・業務の委託に伴い雇用する従業員についても、千葉市内、長柄町内を優先採用するよう委託企業へ指導した。

４．２　市内・地元雇用への配慮

・総スタッフ数に対する千葉市民・長柄町民の割合は５割以上を雇用するよう努めた。

・委託先のスタッフについても、できる限り千葉市民・長柄町民を雇用するよう働きかけた。

総スタッフ数に対する千葉市民・長柄町民の割合（令和7年3月末日時点）

No.	グループ	総数	千葉市民	長柄町民
1	所長	1名	0名	1名
2	マネージメントグループ	15名	7名	2名
3	プログラムグループ	6名	3名	1名
4	維持管理グループ	9名	2名	2名
合計		31名	12名	6名
			58.1%（18/31）	

委託先の千葉市民・長柄町民の割合（令和7年3月末日時点）

No.	委託先	総数	千葉市民	長柄町民
1	食事及び食材提供業務	19名	0名	3名
2	清掃業務	8名	0名	6名
3	警備業務	2名	0名	0名
合計		29名	0名	9名
			31.0%（9/29）	

４．３　障害者雇用の確保

職種（職名）	人数	障害の区分	障害の程度	週所定労働時間
庶務スタッフ	1名	身体	1級	5時間

４．４　施設スタッフの雇用の安定化への配慮

・業務日報をもとに、毎朝ミーティングを実施し、前日からの申し送り事項（運営、施設管理、警備）、当日の受入・退出団体・家族の確認、注意事項等の情報を共有、確認し、全員の共通理解を図った。

・業務月報を作成し、運営業務、維持管理業務（施設点検、修繕、食堂、清掃、整備）の月

予定の情報を共有し、スタッフの共通理解を図った。月報の記録は、ML・PL・維持管理Lが月末のミーティングまでに翌月の予定を記入し、リーダーミーティングで確認した。

４．５　ボランティアスタッフとの協働

・ボランティアスタッフの活動を受け入れ、利用者のプログラム指導や活動のサポートをスタッフとともに行った。

	活動人数	内 容
4月	343名	・春のわいわいフェスティバル、こどもデイキャンプ、ファミリーキャンプ、マンスリーウィークエンドの準備・運営サポート ・竹林整備サポート ・ボランティア野外炊飯自主研修
5月	17名	・ファミリーキャンプ、マンスリーウィークエンドの準備・運営サポート ・GWお客様対応サポート
6月	22名	・ファミリーキャンプ、マンスリーウィークエンドの準備・運営サポート
7月	68名	・ファミリーキャンプ、こどもデイキャンプ、ナイトアドベンチャー、はじめてのテント泊準備・運営サポート ・リーダーシップキャンプのテスト泊、遊歩道整備サポート ・リーダーシップキャンプ、グローバルキャンプのリーダートレーニング ・教材準備、夏休み利用者対応サポート ・ICCPJ
8月	52名	・藍染ワークショップ、ナイトアドベンチャー、リーダーシップキャンプ準備・運営サポート ・教材準備、夏休み利用者対応サポート ・ICCPJ
9月	34名	・星空キャンプ、ナイトアドベンチャー、ファミリーキャンプ準備・運営サポート ・グローバルキャンプ事前打合せ グローバルキャンプの外国人ゲストとボランティアの顔合わせも含めて事前打合せをZOOMで実施した。外国人ゲスト8名も上記ボランティア活動数に含む ・教材準備、週末利用者対応サポート
10月	413名	・はじめてのテント泊、グローバルキャンプ、秋のわいわいフェスティバル準備・運営サポート ・グローバルキャンプ事前打合せ ・教材準備、週末利用者対応サポート ・グローバルキャンプ外国人ゲスト参加について、近隣大学・専門学校や外部団体と連携し、事業を実施した。実数については上記ボランティア活動数に含む ・秋のわいわいフェスティバルは、外部協力団体と連携して実施した。実数については上記ボランティア活動数に含む
11月	39名	・こどもデイキャンプ、ファミリーキャンプ準備・運営サポート ・ウィンターキャンプ、ドキドキ1泊キャンプ事前打合せ ・教材準備、週末利用者対応サポート ・ボランティア自主研修(キャンプサイト利用)
12月	81名	・ファミリーキャンプ準備・運営サポート ・ウィンターキャンプ、ドキドキ1泊キャンプ事前打合せ ・ドキドキ1泊キャンプZOOMミーティング ・ドキドキ1泊キャンプ、ウィンターキャンプ最終事前打合せ、参加者保護者へ電話がけ ・ドキドキ1泊キャンプ、ウィンターキャンプ準備・運営サポート ・ボランティア自主研修(キャンプサイト利用)
1月	32名	・主催イベント準備・運営サポート(プレパの日、マンスリーウィークエンド、ナイトアドベンチャー、スポーツクライミング体験会) ・ボランティア自主研修(キャンプサイト利用)
2月	19名	・主催イベントの準備・運営サポート(星空キャンプ、マンスリーウィークエンド、こどもデイキャンプ
3月	58名	・主催イベント準備・運営サポート(スプリングキャンプ、防災キャンプ、ナイトアドベンチャー) ・お客様対応サポート ・施設整備サポート(花壇整備など)

・千葉大学教育学部とのタイアップ事業として、インターンシップ（実習生）の受入れを行った。実数については上記ボランティア活動数に含む

・千葉大学ボランティア学生サークル団体と連携し、事業を実施した。実数については上記